

大津小学校南東舎外壁改修工事

図面番号	図面名
A - 1	改修特記仕様書 (1)
A - 2	改修特記仕様書 (2)
A - 3	改修特記仕様書 (3)
A - 4	改修特記仕様書 (4)
A - 5	改修特記仕様書 (5)
A - 6	付近見取図, 配置図兼仮設計図図
A - 7	1階平面図, 2階平面図【参考図】
A - 8	3階平面図, 屋上平面図【参考図】
A - 9	北面立面図
A - 10	東面立面図, 西面立面図
A - 11	南面立面図
A - 12	矩計図 (1)
A - 13	矩計図 (2), 給食棟詳細図
A - 14	天井伏図
A - 15	建具配置図
A - 16	建具リスト (1) 【参考図】
A - 17	建具リスト (2) 【参考図】
A - 18	建具リスト (3) 【参考図】
A - 19	耐震ブレース詳細図【参考図】
A - 20	南側渡り廊下平面図
A - 21	南側渡り廊下軸組図
A - 22	南側渡り廊下架構図
A - 23	南側渡り廊下断面図 (1)
A - 24	南側渡り廊下断面図 (2)
A - 25	西側渡り廊下矩計図, 小屋伏図
A - 26	北側渡り廊下平面図
A - 27	北側渡り廊下断面図
A - 28	給食棟矩計図
A - 29	給食棟平面図【参考図】

2024.04			
大津小学校南東舎外壁改修工事 特記仕様書			
I 工 事 概 要			
1. 工事場所 高知市大津乙972番地			
2. 工事種目 【大津小学校南東舎】 鉄筋コンクリート造 3階建て 延べ面積1,151㎡ 1) 外壁改修 一式			
3. 関連工事等 ・電気設備工事 ・機械設備工事 ・ガス設備工事 ・昇降機設備工事 ・植栽工事 ・合併処理装置設置工事 ・外構工事			
4. 概成工期 ・完成期限の()日前 (令和 年 月 日)			
5. 部分使用(工事請負契約書第34条第1項) 令和 年 月 日からは、全ての室内部分を使用する。			
II 建 築 工 事 仕 様			
1. 特記仕様 1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。 2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。○印のつかない場合は、※印の付いたものを適用する。 ○印と※印の付いた場合は、共に適用する。 3) 特記事項に記載の()内表示番号は、「公共建築工事標準仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。 特記事項に記載の[]内表示番号は、「公共建築改修工事標準仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。 特記事項に記載の< >内表示番号は、「建築物解体工事共通仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。			
2. 適用基準等 図面及び特記事項に記載されていない事項は、全て国土交通省(建設)大臣官庁官庁営繕部監修の以下による。 ・公共建築工事標準仕様書(建築工事編) (令和4年版) ※公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編) (令和4年版) ※建築工事標準詳細図 (令和4年版) ・敷地調査共通仕様書 (令和4年版) ・建築物解体工事共通仕様書 (令和4年版)			
3. 「週休2日制モデル工事」の実施について ○対象 (・発注者指定型) (○受注者希望型) 本工事は、工事着手日から工事完成日までの間の土曜日及び日曜日を現場の休工日の基本とする 「週休2日制モデル工事」の対象工事である。実施にあたっては高知市「週休2日制モデル工事」 実施要領(営繕工事編)による。 (https://www.city.kochi.kochi.jp/soshiki/123/syukyuhutsuka.html) ・対象外(理由:)			
項 目 特 記 事 項			
一般共通事項			
①	工事実績情報サービス(CORINS)への登録(請負金額500万円以上)(受注、変更、完成時)	登録の手続きについては、(一財)日本建設情報総合センターの「建設実績情報のコリンズテクリス登録等に関する規約」による。	[1.1.4]
2	総合工程表	原則、工事の着手に先立ち、別契約関連工事の受注者と協議し、受注者及び別契約関連工事の受注者連名による総合工程表を監督職員に提出する。	
3	総合図	工事の施工に先立ち別契約関連工事の受注者と調整のうえ、総合図を作成し、監督職員の承諾を受ける。	[1.2.3]
④	工事日誌	週ごとに工事の全般的な経過及び次週の工事予定を記載した日誌を監督職員に提出する。また、工事の経過が明確にわかる写真を貼付すること。	[1.2.4]
⑤	工事写真	工事写真は1版程度とし、工事の内容、日付等必要事項を記入し1部提出する。(A4版台紙)撮影方法は、「営繕工事写真撮影要領(令和5年版)」による。 デジタル工事写真の黒板情報電子化の実施をする場合は、監督職員の承諾を受ける。 なお、実施については、国営建技第14号(令和5年3月1日付)「デジタル工事写真の黒板情報電子化について」による。	[1.2.4]
⑥	下請負者の報告	各下請負者については下請負契約前に監督職員に報告する。	
7	電気保安技術者	適用する。	[1.3.3]
⑧	施工条件	施工日及び施工時間 ※1.3.5(1)(7)による。 ・ 施工順序 ・ 図示 工事用車両の駐車場所及び資機材の置場所 ※ 仮囲内 ・ 図示 その他の施工条件 ○資機材の搬入時には、専任の誘導員を配置する。その他の場合でも、工事関係車両(乗用車も含む)が敷地内を通行する際には必ず誘導するものをつけ、公道まで徐行する。 ○登下校時間帯や休み時間等は車両の通行を中止する等必要な配慮をする。 ○A-6(図示)	[1.3.5]
⑨	交通誘導警備員	交通誘導警備員を配置する場合は、原則として警備業法(昭和47年法律第117号)第4条による認定を受けた警備業者の警備員を配置することとし、建設作業員等の他職種の者を従事させないこととする。ただし、一時的な作業等で、安全確保に処でできると監督職員が認めたものについては、この限りでないものとする。 配置人員等 ・令和 年 月 日から令和 年 月 日までの間は 名常駐する。 ・作業日は 名常駐する。その他監督職員と協議し、適宜配置する。 ○監督職員と協議し、適宜配置する。	
項 目		特 記 事 項	
⑩	工事安全計画書	建設工事公衆災害防止対策要綱及び建築工事安全施工技術指針を参考に、工事安全計画書を監督職員に提出する。	
11	統括安全衛生管理義務者の指名	労働安全衛生法第30条第2項に基づき指名をする。	
⑬	発生材の処理	産業廃棄物の運搬、処分等については、1.3.12により適切に処分するものとし、事前に監督職員に処理計画書を提出する。 産業廃棄物の運搬、あるいは処分を他業者に委託する場合は、書面による委託契約を行い、処理計画書にその写しを添付する。 自己処分場でも処分する場合は、その処分場が関係法令の規定に適合する旨の資料を提出し、監督職員の現地立会を受けたうえで承諾を得る。(積替 保管についても同様とする) 産業廃棄物の収集・運搬に当たっては、廃棄物の処理及び清掃に関する法律(以下廃棄物処理法という)施行令に基づく車両への表示及び書面の備え付けを行うこと。 また、産業廃棄物を搬出する車両について、処分場ごとに1台のみ写真撮影(現場搬出時及び処分場到着時)し、随時監督職員に報告する。 廃棄物処理法を遵守し、工期限内に最終処分(埋立処分、海洋投入処分又は再生)を終了しなければならない。 また、産業廃棄物管理票(以下マニフェストという)により適正に処理されていることを確認するとともに、監督職員にそのE票の写しを提出する。 ただし、廃棄物処理法を遵守した上で、工期限内に産業廃棄物の最終処分を終了することが困難な場合でも、監督職員が認める場合においては、工期限内に中間処理業者への搬入が終了すればよいものとする。この場合、マニフェストにより適正に中間処理業者に搬入されていることを確認するとともに、監督職員にそのB2票の写しを提出する。また、最終処分終了後速やかにE票の写しを提出する。 なお、廃棄物処理法に定める電子情報処理組織を使用する場合は別途協議する。 ・引渡しを要するもの () ・現場再利用を図るもの () ○再資源化を図るもの (※コンクリート ※コンクリート及び鉄から成る建設資材 ※木材 ※アスファルトコンクリート) 特別管理産業廃棄物の施工計画調査 ※行う ・行わない 分析調査 ※施工計画調査の結果により、監督職員と協議する。 ・行う () ・行わない () ・PCBを含む機器類 ・変圧器 ・コンデンサ ・蛍光灯、HID灯器具の安定器 ・その他 () ・PCB含有シーリング材 ・廃油 ・廃酸 廃アルカリ ・臭化リチウム水溶液 ・電池の溶解液 ・ダイオキシン類	
⑭	再生資源利用(促進)計画書及び実施書の提出(請負金額100万円以上)	再生資源利用(促進)計画書及び実施書を、建設副産物情報交換システム(COBRIS)により作成し、提出は以下による。 a) COBRISについては、建設副産物情報センターのホームページ(http://www.recycle.jacic.or.jp)より、利用申請等を行うことができる。 b) 建設資材の利用量の大小や有無に関らず、紙に出力した再生資源利用計画書及び実施書(建設リサイクルガイドライン様式1)を、完成資料として監督職員に提出する。 c) 建設副産物の発生量及び搬出量の大小や有無に関らず、紙に出力した再生資源利用促進計画書及び実施書(建設リサイクルガイドライン様式2)を、完成資料として監督職員に提出する。 d) 受注者は再生資源利用(促進)計画書(現場揭示用様式)を工事現場の見やすい場所に掲げること。 e) 受注者は作成したデータを含め、再生資源利用(促進)計画書及び実施書を工事完成後5年間保存する。	
⑮	工事の保険	工事請負契約後、速やかに工事目的物、工事材料等に生じる損害、第三者に及ぼした損害を補償する保険を締結する。保険期間は、工事着工のときから完成期限より24日後以降までの期間とする。	
⑯	契約保証	※ 金銭的保証方式 ・ 有 ○ 無	
⑰	前払金支出割合区分補正		
⑱	証明書の提出(グリーン購入法)	「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」(グリーン購入法)及び「高知県グリーン購入基本方針及び実施計画」に基づき、重点調達品目については、積極的に利用すること。なお、重点調達品目の中で木材・木材製品等においては、その原料とされる原木が生産された国における森林に関する法律に照らして合法なものを使用する。 木材・木材製品等については、県産木材納入証明書、県外産合法木材納入証明書を監督職員に提出すること。	[1.4.2]
⑳	石綿含有建材の調査	事前調査の報告 一定規模以上の工事は労働基準監督署と高知市に報告が必要となる 事前調査範囲 ※ 改修範囲 貸与資料 ※ 有 (○既存の設計図書 ○石綿分析結果報告書) (外壁複層塗材E、軒天複層塗材E、軒天外装薄塗材E(含有無)) 分析調査 ※ 書面調査及び現地での目視調査の結果により、監督職員と協議する。 ・ 行う (調査建材使用部位 調査建材名 検体数) 分析方法 ※ 定性分析 定性分析の結果により、定量分析を行う場合は監督職員と協議する。	[1.5.1]
㉑	施工数量調査	調査範囲 ※ 図示 ○ 改修建築物の外壁、軒天、パラペット 調査方法 ※ 外部足場を使用した目視及び打診 破壊部分の補修方法 ※ 現状に復旧 外壁調査は、外壁改修フローに対する外壁面のひび割れ、浮き、欠損部、内部まで貫通したひび割れ及び雨漏りの有無についての位置及び数量(幅、長さ、面積)の調査を行う。 また、その調査の結果を立面図等に記載し集計表を添えて電子データと共に、監督職員に報告する。(必要に応じ写真等を添付する)	[1.6.2]
㉒	技能士及び技能資格者	※ 適用する (○：一級、●：二級) 工 事 種 別 技 能 検 定 の 作 業 の 種 別 ○ 仮設工事 ※ ●とび作業(又は足場組立作業主任者) ・ 鉄筋工事 ※ ○鉄筋組立作業 ・ コンクリート工事 ・ ○コンクリート圧送工事作業 ・ ○型枠工事作業 ・ 鉄骨工事 ※ ●とび作業 ・ ブロック・ALCパネル工事 ・ ○コンクリートブロック工事作業 ・ (単一)エーエルシーパネル工事作業 ○ 防水工事 ・ ○アスファルト防水工事作業 ・ ○ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・ ○アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・ ○合成ゴムシート防水工事作業 ・ ○塩化ビニルシート防水工事作業 ・ ○セメント系防水工事作業 ○ ○シーリング防水工事作業 ・ ○改良アスファルトシートトーチ工法防水工事作業 ・ ○FRP防水工事作業 ・ 石工事 ※ ○石張り作業 ・ タイル工事 ※ ○タイル張り作業 ・ 木工事 ※ ○大工工事作業 ・ 屋根及びとい工事 ・ ○かわらぶき ・ ●スレート工事作業 ・ ○内外装板金作業 ・ 金属工事 ・ ○鋼製下地工事作業 ・ (単一)金属製バルコニー工事作業 ・ 左官工事 ※ ○左官作業 ・ 建具工事 ・ ○ビル用サッシ施工作業 ・ ○木製建具製作 ・ ○ガラス工事作業 ・ カーテンウォール工事 ※ ○金属製カーテンウォール工事作業 ○ 塗装工事 ※ ○建築塗装作業 ・ 内装工事 ・ ○プラスチック系床仕上げ工事作業 ・ ○壁装作業 ・ ○カーペット系床仕上げ工事作業 ・ ○畳装作業 ・ ○ボード仕上げ工事作業 ・ 植栽工事 ※ ○造園工事作業 ○ その他 ○ ○樹脂接着剤注入工事作業(エポキシ樹脂注入工事) 又は(単一)樹脂接着剤注入工事作業(エポキシ樹脂注入工事) ・ ○家具手加工作業	[1.7.2][1.7.3]
21	化学物質の室内濃度の測定	化学物質の室内濃度を測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し、報告書を監督職員に提出する。 ただし、完成検査前に報告書の提出が困難な場合は、事前に信頼のおける連報等の資料を監督職員に提出する。この場合、後日に正式な報告書を速やかに監督職員に提出しなければならない。 測定する業者の選定にあたっては、あらかじめ監督職員に報告すること。 測定方法 ※ 厚生労働省「室内空气中化学物質の室内濃度指針値及び標準的測定方法について」による。 測定対象化学物質 ※ ホルムアルデヒド ※ トルエン ※ キシレン ※ エチルベンゼン ※ スチレン ※ パラジクロロベンゼン 測定箇所 ()箇所 施工前・施工後(計 回測定) 測定対象室 () なお、測定結果が厚生労働省の定める指針値を超えている場合は、原則として本工事の引き渡しを行わないこととする。ただし、次のいずれかに該当する場合は除く。 1 何らかの対策が施された結果、揮発性有機化合物の濃度が厚生労働省の定める指針値以下となることが確認された場合。 2 濃度測定の結果が、本工事の施工により生じたものでないことが明確である場合。 3 濃度測定が、使用開始後(備品の搬入等を含む)に行われた場合。 本工事の引き渡し後、あるいは、使用開始後に室内の揮発性有機化合物(VOC)の濃度測定が行われ、測定結果が厚生労働省の指針値を超えている場合については、受注者は、工事引き渡し後であっても、その原因究明に当たって協力しなければならない。 また、本工事の施工が原因となっており、化学物質の濃度が厚生労働省の定める指針値を超えたものであることが判明した場合は、受注者の負担により、その対策を講じなければならない。 内部養生に合板又は構造用パネルを使用する場合、その合板または構造用パネルのホルムアルデヒド放散量はF☆☆☆☆、又はそれと同等と認められる製品を使用する。 本工事に使用する材料等のうち、特定のものが特記された場合は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等のものとする。(記載順序は不同)また、「評価名簿による」と特記されたものについては、(一社)公共建築協会発行の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿」によるもの、又は評価の内容についてこれらと同等と認められるものとする。 ただし、同等とする場合は、監督職員の承諾を受ける。 県内産資材の優先使用 本工事に使用する資材は、機能、品質、価格等が同等であれば、県内産資材を優先して使用するものとする。なお、県外産資材を使用する場合は、使用理由を施工計画書の打合せ事項に記載し、監督職員の確認を受けること。 注1：県内産資材とは、高知県内で産出した原材料を用いて、高知県内で製造、加工した資材、又は高知県外で産出した原材料を用いて、高知県内で製造、加工された資材をいう。 ただし、①木材は、高知県内の森林から生産されたもの、②生コンクリートの細骨材に配合する海砂は、高知県内で産出されたものとする。 注2：県外産資材とは、県内産資材以外の資材をいう。 公共建築工事標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、監督職員の承諾を受けて当該材料製造所の指定する工法による。 本工事に使用する材料及び工法は、建築基準法に基づき定まる風圧力に対応したのとし、速度圧を求める場合の風速(Vo)及び地表面粗土区分は、次の数値とする。 風速(Vo)： ※ 38m/sec ・ 36m/sec 地表面粗土区分： ※ Ⅲ ・ Ⅱ 内外部とも仕上出隅で利用者の手の届く範囲は、図示が無くとも原則として全て面取りを施す。 木部(家具を含む) 6mm程度 コンクリート、モルタル部 20mm程度 鉄部、金属部 3mm程度 建具類等、上記により難しい場合は、監督職員と協議する。	[1.7.9]
㉔	直接仮設の養生		
㉕	建築材料等		
㉖	特別な材料の工法		
25	風圧力		
26	仕上面の出隅処理		
工 事 名		係 係 長 課 長 補 佐 課 長 図 面 番 号	
高知市 都市建設部 公共建築課		大津小学校南東舎外壁改修工事	
図 面 名 改修特記仕様書(1) 2024.04 縮 尺 1/		作 図 年 月 日	
		A-1	

項目

特記事項

27 事業損失補償

※現場説明書による。

28 完成時の提出図書

・ 完成図(作成範囲 ・ 配置図 ・ 平面図 ・ 立面図 ・ 断面図 ・ 仕上表) [1.9.1][1.9.2]
・ 完成図(CADデータの提出 ※する(CD-R等) ・ しない) [1.9.3]
・ 保全に関する資料(提出部数 ※2部 ・ 部)
上記のほか、使用材料のメーカー名、品番、色(マンセル値等)をCADデータ等で監督職員に提出する。
また、工種別下請負者の一覧表を提出する。
① 施工図、施工計画書 [1.9.2]
提出した施工図及び施工計画書の著作に係る当該建物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。

29 完成写真

下表のものを監督職員に提出する。

位置	分類・規格	撮影枚数	部数	原版の大きさ(mm)
・ 各室	手札版(L版)	※2枚 ・ 枚	※1部 ・ 部	・ 100 × 125以上
・ 外部	キャビネ版	※4枚 ・ 枚	※1部 ・ 部	・ 24 × 36以上
・ 外部	半切パネル(・ 木製枠※アルミ枠	※1枚 ・ 枚	※1部 ・ 部	
・	スライド		※1部 ・ 部	

カラー ・ 電子データ化(CD-R等)し、すべて提出する。
撮影箇所は監督職員と協議する。
上表のほか、監督職員指示の箇所をデジタルカメラにて撮影し、CD-R等に提出する。
画像形式等 フォーマット: JPEG 画質: 標準 画像サイズ: 1024×768ピクセル程度

30 別途設備工事との取合い

施工範囲
・ 貫通孔、開口部の補強 ※ 下表 ・ 図示
・ 壁、天井の仕上材、下地材の切込み及び下地材の補強 ※ 下表 ・ 図示
・ 駆動装置が電動による建具類の2次配線及び操作スイッチ
・ 自動閉鎖装置取付け箇所の切込み及び補強
・

補強種別	内容	
貫通孔、開口部の補強	梁	
	壁	
	スラブ	
壁切込み及び補強		
天井切込み及び補強		

31 撤去部分

コンクリート、モルタル等の撤去部分の境目は、原則としてダイヤモンドカッター切りとする。

32 不当要求等への対応

暴力団又は暴力団関係者からの不当要求又は工事妨害(以下この文において「不当介入」という。)の排除については次による。
a) 受注者は、暴力団又は暴力団関係者からの工事の施工に関して不当介入を受けたときは、その旨を直ちに監督職員に報告し、所轄の警察署に届出なければならない。
b) 受注者は、不当介入による被害を受けたときは、その旨を直ちに監督職員に報告し、所轄の警察署に届出なければならない。
c) 受注者は、監督職員及び所轄警察署と協力して、不当介入の排除処理を講じなければならない。
d) 受注者が、不当介入の報告を怠った場合は、「高知市競争入札指名停止措置要綱」に基づき、指名停止措置を行うものとする。

33 消防計画

工事の着手にあたり、火災等の災害の予防や、使用部分と工事中の部分の安全を確保するため、別契約の関連工事業者と協議の上、「工事中の消防計画書」を作成し、当該施設の防火管理者の承諾を得て届出を行う。

34 工事特性等

受注者は、自ら立案した工事特性、創意工夫、社会性等のそれぞれの評価項目について、実施しようとする場合は、事前に計画内容を所定の様式で監督職員に提出する。
また、実施後、工事完成時までに所定の様式に実施状況の分かる図面や状況写真等を添付して監督職員に提出する。

仮設工事(改修)

① 足場その他

内部足場 ※ きゃたつ、足場板等 [2.1.3][2.2.1][表2.2.1]
外部足場 ※ 本足場
外部足場の養生 ※ 図示 ・ 防護シート ①メッシュシート ・ 防音シート ・ 防音パネル
②高さH=1.8m以下の範囲は金網養生も行い、関係者以外が侵入できないように施設すること。
材料、撤去材の運搬方法 ・ A種 ※ B種 ・ C種 ・ D種 ③E種
C種の場合 利用可能なエレベーター(※図示)
D種の場合 利用可能な階段(※図示)
・ 屋上防水作業の端部には、墜落防止手摺等墜落の危険を防止する措置を講ずる。
本足場を設ける場合は、公共建築改修工事標準仕様書2.2.1(2)によるほか、足場の組立、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」により行うこと。

② 養生

① 既存部分の養生 ※ ビニルシート、合板等 [2.3.1]
・ 既存家具、既存設備等の養生 ※ ビニルシート等
・ 既存ブラインド、カーテン等の養生、保管場所 ※ 図示
② 固定された備品等の移動 ※ 図示
③ 開口部養生 窓等の破損の危険がある工事を行う場合は、施工を行う周辺及びその下部の窓等には、室内に破損物等が飛散しない様、堅固な養生を行う。

3 仮設間仕切り(屋内)

設置箇所 ※ 図示 [2.3.2][表2.3.1]
間仕切り種別 ・ A種 ・ B種 ※ C種
A種、B種の場合
仕上りの材種 ※せっこうボード 厚さ9.5mm ・ 合板(普通合板) 厚さ9.0mm
塗装仕上げ等 ・ 行う ※ 行わない
仮設扉設置箇所 ※ 図示
仮設扉種別 ・ 合板張り木製扉程度 ・ 図示

④ 監督職員事務所

・ 設ける(m程度) ※設けない

項目

特記事項

5 監督職員の備品等

備品の種類	机・椅子	書棚	黒板	PC	掛時計
数	組	台	枚	台	個
備品の種類	温度計	ゴム長靴	雨がっぱ	保護帽	懐中電灯
数	個	足	着	個	個
備品の種類	衣類ロッカー	冷暖房機器	消火器	湯沸器	加入電話付風器
数	人用	台	個	台	台
備品の種類	掃除具				
数	個				

構内既存の施設(用水) ①利用できる (※有償 ・ 無償) ※利用できない
構内既存の施設(電力) ②利用できる (※有償 ・ 無償) ※利用できない
構内既存の施設を利用できる場合で、無償の場合は、下記a)～c)による。
a) 既存設備の水栓等から直接水を使用する場合は、監督職員と協議する。
b) 既存のコンセントから直接電力を使用する場合は、監督職員と協議する。
c) 工用電源を既存建築物から分岐する場合は、原則、既設分電盤の共用回路のコンセントからとする。なお、接続する回路の負荷状態等を確認し、既設負荷への波及がないようにする。
また、漏電遮断器付コンセント等を使用し、安全の確保を図る。
構内既存の施設を利用できる場合で、有償の場合は、上記a)～c)に下記d)～e)を加える。
d) 工用用水は、既存設備に量水器を設けて、仮設配管を施し使用するものとする。
e) 工用電力は、原則、既存設備に電力計を設けて、仮設配電盤を設置し、使用するものとする。
四国電力送配電網などの架空線に防護管の設置が必要な場合は、監督職員と協議する。
※ 図示
※ 原形の復旧
・ 良土にて設計地盤まで盛土整地する。 範囲(図示) 厚さ() [2.5.1]

⑥ 工事用水・電力

⑦ 仮囲い

⑧ 仮設物撤去後の整地・跡片付け

防水改修工事

① 降雨等に対する養生方法

※3.1.3(5)による

2 既存下地の処理

既存下地の補修箇所、範囲、数量等 ※ 図示 [3.2.6]
設備機器架台、配管受部、バラベント、貫通パイプ回り、手すり・丸環の取付け部、塔屋出入口部、防水層末端部等の納まり部の処理 ※ 図示(図示のない場合は監督職員と協議による)
・ 製造所の仕様による

3 アスファルト防水

屋根保護防水
防水層の種別 [3.3.2][3.3.5][表3.3.3～表3.3.6]

工法	種別	施工箇所	断熱材の厚さ	絶縁用シート	立上り部の保護
・ P2A	・ A-1 ※A-2 ・ A-3		/	※ポリエチレンフィルム 厚さ0.15mm以上 ・ フラットヤンクロス (70g/m ² 程度)	・ 乾式保護材 ・ れんがが押え ・ コンクリート 押え
・ P1B	・ B-1 ※B-2				
・ P2AI	・ AI-1 ※AI-2 ・ AI-3		厚さ: ・ mm ・ 図示	※フラットヤンクロス (70g/m ² 程度)	
・ P1BI	・ BI-1 ※BI-2				

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ [3.3.2]
※表3.3.5及び表3.3.6による
絶縁工法のルーフィングの材料 [3.3.2]
・ 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシート
種類及び厚さ
※表3.3.3及び表3.3.4による
・ 砂付あなきルーフィング
押え金物の材質及び形状 ※ 図示 ・ アルミニウム製、L-30×15×2.0(mm)程度 [3.3.2]
乾式保護材 ・ 鋼業系パネル (・ I種 ※II種) ・ 金属複合板 [3.3.5]
製造所 評価名簿による
立上り部への断熱材及び絶縁用シートの設置 [表3.3.4][表3.3.5]
・ 適用する
・ 適用しない
平場の保護コンクリート [3.3.5]
こて仕上げの場合 ※80mm以上
床タイル張り等仕上げの場合 ※60mm以上
コンクリートの仕上りの平たんさ [3.3.5][表8.1.5]
※a種 ・ b種 ・ c種
屋上排水溝 ・ 図示

屋根露出防水

防水層の種別 [3.3.2][表3.3.7～表3.3.9]

工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料	備考
				種類	使用量
・ M4C	・ C-1 ※C-2 ・ C-3 ・ C-4			・ 高日射 反射率 塗料の 適用	※製造 所の 指定 による
・ M3D ・ P0D	・ D-1 ※D-2			・ 高日射 反射率 塗料の 適用	※製造 所の 指定 による
・ P0DI ・ M3DI ・ M4DI	・ DI-1 ※DI-2		JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 種類: ※硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号 厚さ: ・ mm ・ 図示	・ 高日射 反射率 塗料の 適用	改修用ドレン ・ 設ける ・ 設けない

立上り部等の防水層撤去 ・ 行う ・ 行わない [表3.1.1]
立上り部等の保護層撤去 ・ 行う ・ 行わない
露出防水層表面の仕上げ塗装除去 ・ 行う ・ 行わない [3.2.6]
脱気装置の種類及び設置数量 ※製造所の指定とする
屋根露出防水絶縁断熱工法の場合で、ルーフトレイン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 ※ 図示

項目

特記事項

4 改質アスファルトシート防水

絶縁工法のルーフィングの材料 [3.3.2]
・ 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシート
種類及び厚さ
※表3.3.3及び表3.3.4による
・ 砂付あなきルーフィング
押え金物の材質及び形状 ※ 図示 ・ アルミニウム製、L-30×15×2.0(mm)程度 [3.3.2]
屋上防水
防水層の種別 [3.3.3][表3.3.10]

工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料	備考
				種類	使用量
・ P1E ・ P2E	・ E-2 ※E-2			・ 高日射 反射率 塗料の 適用	※製造 所の 指定 による
・ M3AS ・ P0AS	・ AS-T3 ・ AS-T4 ・ AS-J1 ・ AS-J3			・ 高日射 反射率 塗料の 適用	※製造 所の 指定 による
・ M3ASI ・ M4ASI ・ P0ASI	・ ASI-T1 ・ ASI-J1		JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 種類: ※硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号 厚さ: ・ mm ・ 図示	・ 高日射 反射率 塗料の 適用	改修用ドレン ・ 設ける ・ 設けない

露出防水層表面の仕上げ塗装除去 ・ 行う ・ 行わない [3.2.6]
改質アスファルトシートの種類及び厚さ [3.4.2]
※表3.4.1から表3.4.3による
粘着層付改質アスファルトシート及び部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ [3.4.2]
※表3.4.1から表3.4.3による
押え金物の材質及び形状 ※ 図示 ・ アルミニウム製、L-30×15×2.0(mm)程度 [3.4.2]
脱気装置の種類及び設置数量 ※製造所の指定とする [3.4.3]

5 合成高分子系ルーフィングシート防水

工法	種別	施工箇所	厚さ(mm)	仕上塗料		高日射反射率塗料の適用	備考
				種類	使用量		
・ P0S ・ S4S	・ S-F1 ・ S-F2		※1.2 ※2.0 ・ 1.5	※製造所の仕様による	・	改修用ドレン ・ 設ける ・ 設けない	
	・ S-M1 ・ S-M2		※1.5 ※1.5	※製造所の仕様による	・		
・ S3S	・ S-F1 ・ S-F2		※1.2 ※2.0 ・ 1.5	※製造所の仕様による	・	改修用ドレン ・ 設ける ・ 設けない	
・ M4S	・ S-M1 ・ S-M2		※1.5 ※1.5	※製造所の仕様による	・	改修用ドレン ・ 設ける ・ 設けない	
・ P0SI ・ S3SI ・ S4SI	・ SI-F1 ・ SI-F2		※1.2 ※2.0 ・ 1.5	※製造所の仕様による	・	改修用ドレン ・ 設ける ・ 設けない	
・ M4SI	・ SI-M1 ・ SI-M2		※1.5 ※1.5	※製造所の仕様による	・		
・ P1S	・ S-C1		※1.0			立上り保護 モルタルの塗厚 ・ 図示 ・ 7mm	

断熱工法に用いる断熱材(SI-F1、SI-F2、SI-M1、SI-M2の場合) [3.5.2]

工法	材 料	厚さ
機械的固定工法	JIS A 9521(建築用断熱材)に基づく発泡プラスチック断熱材 種類: ※硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号	・ ・ 図示
接着工法	JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 種類: ※硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号	・ ・ 図示

S-M2及びSI-M2の立上り面の工法及びシートの厚さ
工法: ※ 図示 ・ 接着工法(厚さ mm) ・ 機械固定工法(厚さ mm) [表3.1.1]
立上り部等の防水層撤去 ・ 行う ・ 行わない
立上り部等の保護層撤去 ・ 行う ・ 行わない
P0S工法及びP0SI工法(機械的固定工法)の立上り部等の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした場合の既存防水層の処理 ※3.2.6(ウ)(g)による
固定金具の材質及び形状 [3.5.2]
材質 ※ 防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板またはそれらの鋼板の片面及び両面に樹脂を積層加工したもの
厚さ(mm) ※0.4以上
S-M1及びSI-M2の絶縁用シート及び可塑剤移行防止用シートの材質 [3.5.2]
※発泡ポリエチレンシート
脱気装置の種類及び設置数量 ※製造所の仕様による [3.5.3]
SI-M1及びSI-M2の防湿用フィルムを設置 ※設けない ・ 設ける [表3.5.2]
プレキャストコンクリート下地の目地処理(接着工法の場合) [3.5.4]
・ 行う (・ 図示) ・ 行わない
S-F1及びSI-F1のプレキャストコンクリート下地の入隅部増張り [3.5.4]
・ 行う (・ 図示) ・ 行わない
一般部のルーフィングシートの張付けで機械的固定工法の場合
建築基準法に基づく風圧力の(※1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法

工 事 名

大津小学校南東舎外壁改修工事

保 係 長 課 長 課 長 課 長 課 長 課 長

図 面 番 号

A-2

高知市 都市建設部 公共建築課

改修特記仕様書(2) 2024.04 縮 尺 1 /

図 面 名

項目

特記事項

⑥塗膜防水

防水層の種類

工法	種別	施工箇所	仕上塗料	高日射反射率塗料の適用	備考
・POX	・X-1 ・X-1H		※2成分形777シリコン樹脂系	※製造所の仕様による	改修用トレン ・設ける ○設けない
○L4X	○X-2 ・X-2H		・ふっ素樹脂系 ・777シリコン樹脂系		
・PIY ・P2Y	※Y-2				保護層 ・設ける ・設けない

絶縁工法における脱気装置の種類及び設置数量
ウレタン防水材 ※化学物質MOCAを含有しないもの

7FRP防水

ガラスマット
表面の仕上げ
押え金物の材質
押え金物の寸法

・1層タイプ
・2層タイプ
・平滑
・粗面
※アルミニウム
※図示

⑧シーリング

シーリング改修工法の種類
・シーリング充填工法
・ブリッジ工法
ボンドブレイカー張り
エッジング材張り

○シーリング再充填工法
・拡張シーリング再充填工法

シーリング材の種類、施工箇所
※下表による(下表以外は表3.7.1による)

種類(記号)	主成分による区分	施工箇所
・SR-1	シリコーン系	
・SR-2		
○MS-2	変成シリコーン系	図示
・PS-2	ポリサルファイド系	
・PU-2	ポリウレタン系	

仕上げを行わない箇所

シーリング材の目地寸法
箇所 打継ぎ/ひび割れ誘発目地 ガラス回りの目地 左記以外の目地
幅(mm) ※20以上 ○図示 ※幅及び深さ5以上[5.13] ※10以上 ○図示
深さ(mm) ※10以上 ○図示 ※10以上 ○図示

接着性試験
※簡易接着性試験 引張接着性試験

材料
材 種 寸 法 施 工 箇 所
・硬質ポリ塩化ビニル管(VP) ※たてどい
○硬質ポリ塩化ビニル管カラー(ﾀｰVP) ϕ75 ※たてどい
○硬質塩化ビニル雨どい W120 ※軒どい たてどい

とい受金物及び足金物の材種、形状及び取付け間隔
材種: ※ステンレス製 溶融亜鉛めっき その他: ※表3.8.2による
防露材のホルムアルデヒド放出量 ※F☆☆☆☆
既存のといその他の撤去 ※図示
降雨等に対する養生方法 ※監督職員と協議による 図示
銅管製といの防露巻き ※表3.8.4による
たてどい受金物の取付け 図示
ルーフドレンの取付け 水はけがよく、床面より下げ、周囲の隙間にモルタルを充填する。

10アルミニウム製笠木

種類
・オープン形式(押出250形 押出300形 押出350形)
・板材折曲げ形(ーオープン形式 シール形式)
本体幅()mm 板厚(※2.0)mm
表面処理 種別 表5.2.2による()種
色合い等 ※標準色
既存の笠木等の撤去 行う(範囲 ※図示) 行わない 一時取外し再取付け[3.9.3]
新規アルミニウム製笠木の下地の補修工法 ※図示
板材折曲げ形笠木の取付方法 ※図示
笠木の固定金具の固定工法
建築基準法に基づく風圧力の(※1 1.15 1.3)倍の風圧力に対応した工法

11保証書
(シーリング除く)

受注者、施工者、材料製造所連名による 10年保証(完成届提出日より15日後から)

12高日射反射率塗料塗り

JIS K 5675(屋根用高日射反射率塗料)に適合するもの、または、グリーン購入法の高日射反射率防水に適合する保護塗料とする。

外壁改修工事(共通事項)

①材料品質

可とう性エポキシ樹脂
JIS A 6024による。

比重	押出し性(秒)	スランプ(Mm)	質量変化率(%)	引張り強さ(MPa)	破断時伸び(%)	引張り接着性
				標準 1.0以上	標準 30.0以上	最大引張強さ 1.0MPa以上
表示値 ±0.10	60以下	3.0以下	5.0以下	低温 1.0以上 加熱劣化1.0以上	低温 30.0以上 加熱劣化30.0以上	破断時の伸び 10.0%以上

1)均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
2)対象とする被着体を侵さず、かつ周囲を汚損しないこと。
3)常温常温(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造所の指定する期間又は製造後6ヶ月保存した後であっても、品質・性能が上記の各項目に適合していること。

バテ状エポキシ樹脂
JIS A 6024による。

初期硬化性(MPa)	接着強さ(MPa)	圧縮強さ(MPa)	曲げ強さ(MPa)	硬化収縮率(%)
標準2.0以上	標準6.0以上	50.0以上	30.0以上	3.0以下

1)均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
2)対象とする被着体を侵さず、かつ周囲を汚損しないこと。
3)常温常温(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造所の指定する期間又は製造後6ヶ月保存した後であっても、品質・性能が上記の各項目に適合していること。
4)試験方法は、JIS A 6024(建築補修用注入エポキシ樹脂)に準じる。

項目

特記事項

③外壁改修工事
タイル張り仕上げ

1タイル材料

タイルの形状、寸法等

施工箇所	形状寸法(mm)	吸水率の区分		うわぐすり		色	耐凍害性	耐滑り性	役物の適用	品質(公表単価(円/m2))
		I類	II類	III類	施釉					
		・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	

標準的な曲がりの役物は一体成形とする。
タイルの試験張り ※行わない 行う
タイルの見本焼き ※行わない 行う

2ひび割れ部改修工法

※樹脂注入工法

種 類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(mL/m)
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上1.0未満	※200～300	※製造所の仕様 ・130
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	・50～100	※40
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	・100～200	※70
	0.5以上1.0以下	・150～250	※130

コア抜き検査 ※行わない
行う(長さ500mごと及びその端数につき1個。補修方法は図示による)

3欠損部改修工法

・タイル部分張替え工法
張付け材料の種類
・ポリマーセメントモルタル
・有機系接着剤 ※JIS A 5557による一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系

4浮き部改修工法

・タイル張替え工法
張付けモルタル 現場調合モルタル 既調合モルタル
伸縮調整目地及び、ひび割れ誘発目地の位置 ※表4.4.2による 図示
外装タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整塗材塗りの接着剤試験
行う 行わない
セメントモルタルによるタイル張り
タイル張りの工法
外装タイル 密着張り 改良圧着張り 改良積上げ張り
ユニットタイル マスク張り モザイクタイル張り
・有機系接着剤によるタイル張り
タイルの種類 ()
目地詰め 行う 行わない ()
下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 ※目荒し工法

②外壁改修工事
モルタル塗り仕上げ

①ひび割れ部改修工法

※樹脂注入工法

種 類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(mL/m)
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上1.0以下	※200～300	※製造所の仕様 ・130
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	・50～100	※40
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	・100～200	※70
	0.5以上1.0以下	・150～250	※130

コア抜き検査 ※行わない
行う(長さ500mごと及びその端数につき1個。補修方法は図示による)

2欠損部改修工法

・ウカットシール材充填工法
・シーリング材
充填材料 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系
ポリマーセメントモルタルの充填 ※行う 行わない
可とう性エポキシ樹脂

3欠損部改修工法

・ウカットシール材充填工法
・シーリング材
充填材料 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系
ポリマーセメントモルタルの充填 ※行う 行わない
可とう性エポキシ樹脂

4欠損部改修工法

・シーリング材
バテ状エポキシ樹脂
可とう性エポキシ樹脂

5欠損部改修工法

※充填工法
※エポキシ樹脂モルタル
・ポリマーセメントモルタル

6欠損部改修工法

・モルタル塗替え工法
仕上げ厚又は全塗り厚が25mmを超える場合の処置
※ステンレス製アンカーピン縦横φ200打込、ステンレス製ラス等張り 図示

項目

特記事項

③浮き部改修工法

改修工法の種類
・アンカーピンニング
部分エポキシ樹脂注入工法
・アンカーピンニング
全面エポキシ樹脂注入工法
・アンカーピンニング
全面ポリマーセメントスラリー注入工法
・注入口付アンカーピンニング
部分エポキシ樹脂注入工法
○注入口付アンカーピンニング
全面エポキシ樹脂注入工法
・注入口付アンカーピンニング
全面ポリマーセメントスラリー注入工法
アンカーピン
※ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの。
注入口付アンカーピン
※ステンレス鋼(SUS304)呼び径6mm
・充填工法
材料 ※エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル
・モルタル塗替え工法
仕上げ厚又は全塗り厚が25mmを超える場合の処置
※ステンレス製アンカーピン縦横φ200打込、ステンレス製ラス等張り 図示

④外壁改修工事
タイル張り仕上げ

1タイル材料

タイルの形状、寸法等

施工箇所	形状寸法(mm)	吸水率の区分		うわぐすり		色	耐凍害性	耐滑り性	役物の適用	品質(公表単価(円/m2))
		I類	II類	III類	施釉					
		・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	

標準的な曲がりの役物は一体成形とする。
タイルの試験張り ※行わない 行う
タイルの見本焼き ※行わない 行う

2ひび割れ部改修工法

※樹脂注入工法

種 類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(mL/m)
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上1.0未満	※200～300	※製造所の仕様 ・130
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	・50～100	※40
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	・100～200	※70
	0.5以上1.0以下	・150～250	※130

コア抜き検査 ※行わない
行う(長さ500mごと及びその端数につき1個。補修方法は図示による)

3欠損部改修工法

・タイル部分張替え工法
張付け材料の種類
・ポリマーセメントモルタル
・有機系接着剤 ※JIS A 5557による一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系

4浮き部改修工法

・タイル張替え工法
張付けモルタル 現場調合モルタル 既調合モルタル
伸縮調整目地及び、ひび割れ誘発目地の位置 ※表4.4.2による 図示
外装タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整塗材塗りの接着剤試験
行う 行わない
セメントモルタルによるタイル張り
タイル張りの工法
外装タイル 密着張り 改良圧着張り 改良積上げ張り
ユニットタイル マスク張り モザイクタイル張り
・有機系接着剤によるタイル張り
タイルの種類 ()
目地詰め 行う 行わない ()
下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 ※目荒し工法

項目

特記事項

③外壁改修工事
モルタル塗り仕上げ

①ひび割れ部改修工法

※樹脂注入工法

種 類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(mL/m)
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上1.0以下	※200～300	※製造所の仕様 ・130
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	・50～100	※40
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	・100～200	※70
	0.5以上1.0以下	・150～250	※130

コア抜き検査 ※行わない
行う(長さ500mごと及びその端数につき1個。補修方法は図示による)

2欠損部改修工法

・ウカットシール材充填工法
・シーリング材
充填材料 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系
ポリマーセメントモルタルの充填 ※行う 行わない
可とう性エポキシ樹脂

3欠損部改修工法

・ウカットシール材充填工法
・シーリング材
充填材料 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系
ポリマーセメントモルタルの充填 ※行う 行わない
可とう性エポキシ樹脂

4欠損部改修工法

・シーリング材
バテ状エポキシ樹脂
可とう性エポキシ樹脂

5欠損部改修工法

※充填工法
※エポキシ樹脂モルタル
・ポリマーセメントモルタル

6欠損部改修工法

・モルタル塗替え工法
仕上げ厚又は全塗り厚が25mmを超える場合の処置
※ステンレス製アンカーピン縦横φ200打込、ステンレス製ラス等張り 図示

項目

特記事項

③外壁改修工事
モルタル塗り仕上げ

①ひび割れ部改修工法

※樹脂注入工法

種 類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(mL/m)
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上1.0以下	※200～300	※製造所の仕様 ・130
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	・50～100	※40
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	・100～200	※70
	0.5以上1.0以下	・150～250	※130

コア抜き検査 ※行わない
行う(長さ500mごと及びその端数につき1個。補修方法は図示による)

2欠損部改修工法

・ウカットシール材充填工法
・シーリング材
充填材料 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系
ポリマーセメントモルタルの充填 ※行う 行わない
可とう性エポキシ樹脂

3欠損部改修工法

・ウカットシール材充填工法
・シーリング材
充填材料 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系
ポリマーセメントモルタルの充填 ※行う 行わない
可とう性エポキシ樹脂

4欠損部改修工法

・シーリング材
バテ状エポキシ樹脂
可とう性エポキシ樹脂

5欠損部改修工法

※充填工法
※エポキシ樹脂モルタル
・ポリマーセメントモルタル

6欠損部改修工法

・モルタル塗替え工法
仕上げ厚又は全塗り厚が25mmを超える場合の処置
※ステンレス製アンカーピン縦横φ200打込、ステンレス製ラス等張り 図示

項目

特記事項

③外壁改修工事
モルタル塗り仕上げ

①ひび割れ部改修工法

※樹脂注入工法

種 類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(mL/m)
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上1.0以下	※200～300	※製造所の仕様 ・130
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	・50～100	※40
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	・100～200	※70
	0.5以上1.0以下	・150～250	※130

コア抜き検査 ※行わない
行う(長さ500mごと及びその端数につき1個。補修方法は図示による)

2欠損部改修工法

・ウカットシール材充填工法
・シーリング材
充填材料 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系
ポリマーセメントモルタルの充填 ※行う 行わない
可とう性エポキシ樹脂

3欠損部改修工法

・ウカットシール材充填工法
・シーリング材
充填材料 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系
ポリマーセメントモルタルの充填 ※行う 行わない
可とう性エポキシ樹脂

4欠損部改修工法

・シーリング材
バテ状エポキシ樹脂
可とう性エポキシ樹脂

5欠損部改修工法

※充填工法
※エポキシ樹脂モルタル
・ポリマーセメントモルタル

6欠損部改修工法

・モルタル塗替え工法
仕上げ厚又は全塗り厚が25mmを超える場合の処置
※ステンレス製アンカーピン縦横φ200打込、ステンレス製ラス等張り 図示

項目

特記事項

③外壁改修工事
モルタル塗り仕上げ

①ひび割れ部改修工法

※樹脂注入工法

種 類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(mL/m)
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上1.0以下	※200～300	※製造所の仕様 ・130
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	・50～100	※40
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	・100～200	※70
	0.5以上1.0以下	・150～250	※130

コア抜き検査 ※行わない
行う(長さ500mごと及びその端数につき1個。補修方法は図示による)

2欠損部改修工法

・ウカットシール材充填工法
・シーリング材
充填材料 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系
ポリマーセメントモルタルの充填 ※行う 行わない
可とう性エポキシ樹脂

3欠損部改修工法

・ウカットシール材充填工法
・シーリング材
充填材料 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系
ポリマーセメントモルタルの充填 ※行う 行わない
可とう性エポキシ樹脂

4欠損部改修工法

・シーリング材
バテ状エポキシ樹脂
可とう性エポキシ樹脂

5欠損部改修工法

※充填工法
※エポキシ樹脂モルタル
・ポリマーセメントモルタル

6欠損部改修工法

・モルタル塗替え工法
仕上げ厚又は全塗り厚が25mmを超える場合の処置
※ステンレス製アンカーピン縦横φ200打込、ステンレス製ラス等張り 図示

項目

特記事項

③外壁改修工事
モルタル塗り仕上げ

①ひび割れ部改修工法

※樹脂注入工法

種 類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(mL/m)
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上1.0以下	※200～300	※製造所の仕様 ・130
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	・50～100	※40
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	・100～200	※70
	0.5以上1.0以下	・150～250	※130

コア抜き検査 ※行わない
行う(長さ500mごと及びその端数につき1個。補修方法は図示による)

2欠損部改修工法

・ウカットシール材充填工法
・シーリング材
充填材料 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系
ポリマーセメントモルタルの充填 ※行う 行わない
可とう性エポキシ樹脂

3欠損部改修工法

・ウカットシール材充填工法
・シーリング材
充填材料 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系
ポリマーセメントモルタルの充填 ※行う 行わない
可とう性エポキシ樹脂

4欠損部改修工法

・シーリング材
バテ状エポキシ樹脂
可とう性エポキシ樹脂

5欠損部改修工法

※充填工法
※エポキシ樹脂モルタル
・ポリマーセメントモルタル

6欠損部改修工法

・モルタル塗替え工法
仕上げ厚又は全塗り厚が25mmを超える場合の処置
※ステンレス製アンカーピン縦横φ200打込、ステンレス製ラス等張り 図示

項目

特記事項

③外壁改修工事
モルタル塗り仕上げ

①ひび割れ部改修工法

※樹脂注入工法

種 類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(mL/m)
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上1.0以下	※200～300	※製造所の仕様 ・130
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	・50～100	※40
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	・100～200	※70
	0.5以上1.0以下	・150～250	※130

コア抜き検査 ※行わない
行う(長さ500mごと及びその端数につき1個。補修方法は図示による)

2欠損部改修工法

・ウカットシール材充填工法
・シーリング材
充填材料 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系
ポリマーセメントモルタルの充填 ※行う 行わない
可とう性エポキシ樹脂

3欠損部改修工法

・ウカットシール材充填工法
・シーリング材
充填材料 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系
ポリマーセメントモルタルの充填 ※行う 行わない
可とう性エポキシ樹脂

4欠損部改修工法

・シーリング材
バテ状エポキシ樹脂
可とう性エポキシ樹脂

5欠損部改修工法

※充填工法
※エポキシ樹脂モルタル
・ポリマーセメントモルタル

6欠損部改修工法

・モルタル塗替え工法
仕上げ厚又は全塗り厚が25mmを超える場合の処置
※ステンレス製アンカーピン縦横φ200打込、ステンレス製ラス等張り 図示

項目

特記事項

③外壁改修工事
モルタル塗り仕上げ

①ひび割れ部改修工法

※樹脂注入工法

種 類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(mL/m)
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上1.0以下	※200～300	※製造所の仕様 ・130
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	・50～100	※40
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	・100～200	※70
	0.5以上1.0以下	・150～250	※130

コア抜き検査 ※行わない
行う(長さ500mごと及びその端数につき1個。補修方法は図示による)

2欠損部改修工法

・ウカットシール材充填工法
・シーリング材
充填材料 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系
ポリマーセメントモルタルの充填 ※行う 行わない
可とう性エポキシ樹脂

3欠損部改修工法

・ウカットシール材充填工法
・シーリング材
充填材料 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系
ポリマーセメントモルタルの充填 ※行う 行わない
可とう性エポキシ樹脂

4欠損部改修工法

・シーリング材
バテ状エポキシ樹脂
可とう性エポキシ樹脂

5欠損部改修工法

※充填工法
※エポキシ樹脂モルタル
・ポリマーセメントモルタル

6欠損部改修工法

・モルタル塗替え工法
仕上げ厚又は全塗り厚が25mmを超える場合の処置
※ステンレス製アンカーピン縦横φ200打込、ステンレス製ラス等張り 図示

項目

特記事項

③外壁改修工事
モルタル塗り仕上げ

①ひび割れ部改修工法

※樹脂注入工法

種 類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(mL/m)
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上1.0以下	※200～300	※製造所の仕様 ・130
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	・50～100	※40
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	・100～200	※70
	0.5以上1.0以下	・150～250	※130

コア抜き検査 ※行わない
行う(長さ500mごと及びその端数につき1個。補修方法は図示による)

2欠損部改修工法

・ウカットシール材充填工法
・シーリング材
充填材料 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系
ポリマーセメントモルタルの充填 ※行う 行わない
可とう性エポキシ樹脂

3欠損部改修工法

・ウカットシール材充填工法
・シーリング材
充填材料 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系
ポリマーセメントモルタルの充填 ※行う 行わない
可とう性エポキシ樹脂

4欠損部改修工法

・シーリング材
バテ状エポキシ樹脂
可とう性エポキシ樹脂

5欠損部改修工法

※充填工法
※エポキシ樹脂モルタル
・ポリマーセメントモルタル

6欠損部改修工法

・モルタル塗替え工法
仕上げ厚又は全塗り厚が25mmを超える場合の処置
※ステンレス製アンカーピン縦横φ200打込、ステンレス製ラス等張り 図示

項目

特記事項

③外壁改修工事
モルタル塗り仕上げ

①ひび割れ部改修工法

※樹脂注入工法

種 類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(mL/m)
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上1.0以下	※200～300	※製造所の仕様 ・130
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	・50～100	※40
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	・100～200	※70
	0.5以上1.0以下	・150～250	※130

コア抜き検査 ※行わない
行う(長さ500mごと及びその端数につき1個。補修方法は図示による)

2欠損部改修工法

・ウカットシール材充填工法
・シーリング材
充填材料 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系
ポリマーセメントモルタルの充填 ※行う 行わない
可とう性エポキシ樹脂

3欠損部改修工法

・ウカットシール材充填工法
・シーリング材
充填材料 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系
ポリマーセメントモルタルの充填 ※行う 行わない
可とう性エポキシ樹脂

4欠損部改修工法

・シーリング材
バテ状エポキシ樹脂
可とう性エポキシ樹脂

5欠損部改修工法

※充填工法
※エポキシ樹脂モルタル
・ポリマーセメントモルタル

6欠損部改修工法

・モルタル塗替え工法
仕上げ厚又は全塗り厚が25mmを超える場合の処置
※ステンレス製アンカーピン縦横φ200打込、ステンレス製ラス等張り 図示

項目

特記事項

③外壁改修工事
モルタル塗り仕上げ

①ひび割れ部改修工法

※樹脂注入工法

種 類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(mL/m)
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上1.0以下	※200～300	※製造所の仕様 ・130
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	・50～100	※40
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	・100～200	※70
	0.5以上1.0以下	・150～250	※130

コア抜き検査 ※行わない
行う(長さ500mごと及びその端数につき1個。補修方法は図示による)

2欠損部改修工法

・ウカットシール材充填工法
・シーリング材
充填材料 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系
ポリマーセメントモルタルの充填 ※行う 行わない
可とう性エポキシ樹脂

3欠損部改修工法

・ウカットシール材充填工法
・シーリング材
充填材料 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系
ポリマーセメントモルタルの充填 ※行う 行わない
可とう性エポキシ樹脂

4欠損部改修工法

・シーリング材
バテ状エポキシ樹脂
可とう性エポキシ樹脂

5欠損部改修工法

※充填工法
※エポキシ樹脂モルタル
・ポリマーセメントモルタル

6欠損部改修工法

・モルタル塗替え工法
仕上げ厚又は全塗り厚が25mmを超える場合の処置
※ステンレス製アンカーピン縦横φ200打込、ステンレス製ラス等張り 図示

項目

特記事項

③外壁改修工事
モルタル塗り仕上げ

①ひび割れ部改修工法

※樹脂注入工法

種 類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(mL/m)
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上1.0以下	※200～300	※製造所の仕様 ・130
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	・50～100	※40
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	・100～200	※70
	0.5以上1.0以下	・150～250	※130

コア抜き検査 ※行わない
行う(長さ500mごと及びその端数につき1個。補修方法は図示による)

2欠損部改修工法

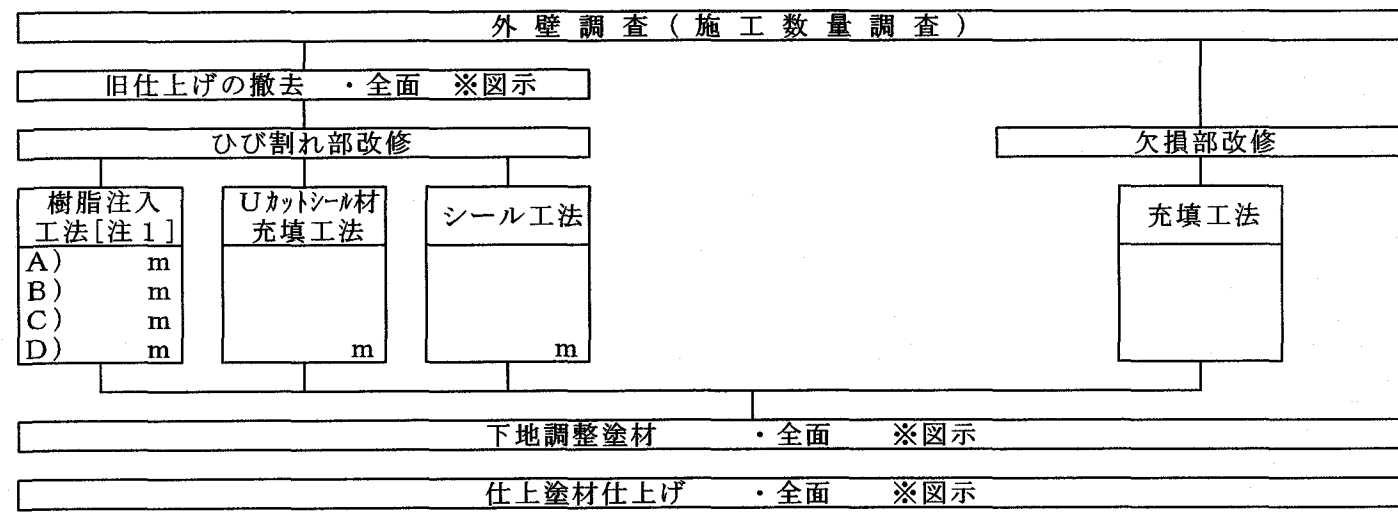
・ウカットシール材充填工法
・シーリング材
充填材料 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系
ポリマーセメントモルタルの充填 ※行う 行わない
可とう性エポキシ樹脂

3欠損部改修工法

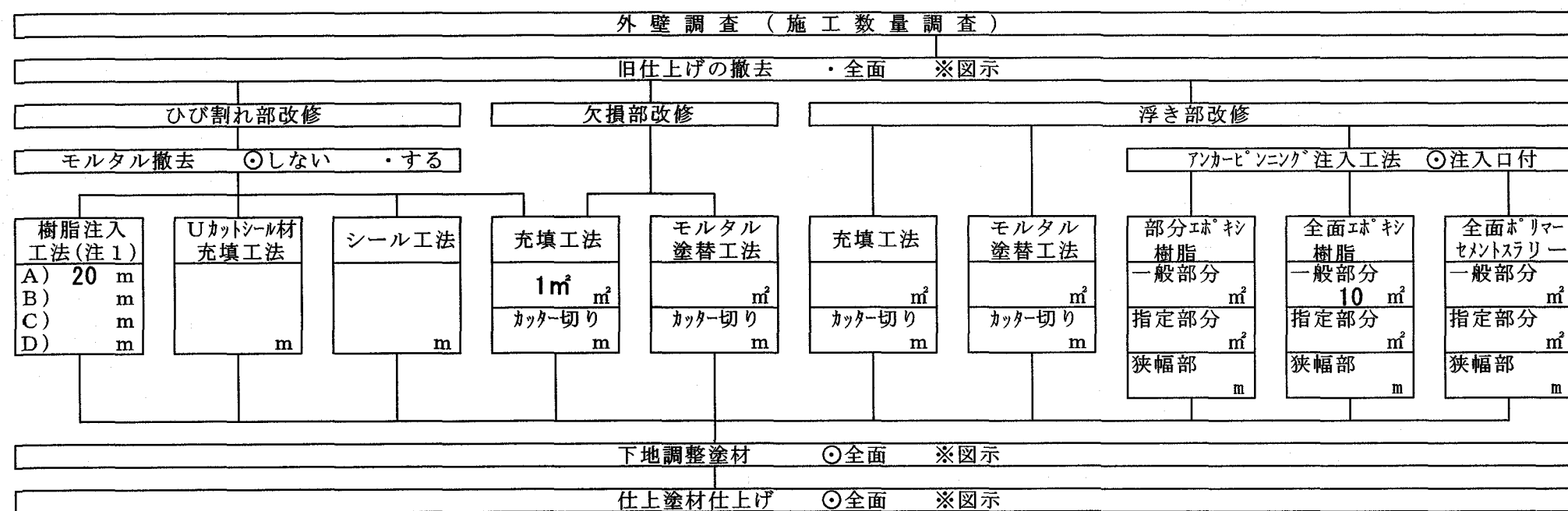
・ウカットシール材充填工法
・シー

項 目		特 記 事 項		項 目		特 記 事 項																																																																																																																												
		・セメントモルタルによるタイル張り タイル張りの工法 外装タイル ・密着張り ・改良圧着張り ・改良横上げ張り ユニットタイル ・マスク張り ・モザイクタイル張り ・有機系接着剤によるタイル張り ・下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 ※目荒し工法		3 素地ごしらえ		[7.3.2～7.3.7][表7.3.1～表7.3.7]																																																																																																																												
5 目地改修工法		・目地ひび割れ部改修工法 [4.4.16] ・伸縮調整目地改修工法 [4.4.16] 伸縮調整目地の位置及び寸法 ※図示																																																																																																																																
外壁改修工事 仕上げ塗材仕上げ		既存塗膜の劣化部の除去及び下地の処理の工法 [4.5.4]		④ 錆止め塗料の種類別		[7.3.3, 7.4.2～7.4.3][表7.3.3, 表7.4.1～表7.4.6]																																																																																																																												
① 既存塗膜等の除去及び 下地処理		<table border="1"><thead><tr><th>工法</th><th>処理範囲</th></tr></thead><tbody><tr><td>・サンダー工法</td><td>※既存仕上面全体 ・図示 ・</td></tr><tr><td>・高圧水洗工法</td><td>※既存仕上面全体 ・図示 ・</td></tr><tr><td>・塗膜はく離削工法</td><td>※既存仕上面全体 ・図示 ・</td></tr><tr><td>※水洗い工法</td><td>◎既存仕上面全体 ○図示 ・ ・他工法の処理範囲以外の既存仕上面全体</td></tr></tbody></table> 石綿含有仕上塗材の除去は、環境配慮改修工事による。		工法	処理範囲	・サンダー工法	※既存仕上面全体 ・図示 ・	・高圧水洗工法	※既存仕上面全体 ・図示 ・	・塗膜はく離削工法	※既存仕上面全体 ・図示 ・	※水洗い工法	◎既存仕上面全体 ○図示 ・ ・他工法の処理範囲以外の既存仕上面全体																																																																																																																					
工法	処理範囲																																																																																																																																	
・サンダー工法	※既存仕上面全体 ・図示 ・																																																																																																																																	
・高圧水洗工法	※既存仕上面全体 ・図示 ・																																																																																																																																	
・塗膜はく離削工法	※既存仕上面全体 ・図示 ・																																																																																																																																	
※水洗い工法	◎既存仕上面全体 ○図示 ・ ・他工法の処理範囲以外の既存仕上面全体																																																																																																																																	
② 下地調整材		材料 ◎C-1(コンクリート面, モルタル面) ・C-2() [4.5.2～4.5.4] ○反応形成樹脂シーラー（押出成形セメント板） 工法 ※製造所の仕様による [4.5.4]																																																																																																																																
③ 仕上塗材仕上げ		薄付け仕上塗材 [4.1.5][4.5.2][4.5.6][表4.5.1]		⑤ 塗装の種類別		[7.3.2, 7.5.2～7.13.2][表7.5.1～表7.13.1]																																																																																																																												
		<table border="1"><thead><tr><th>呼 び 名</th><th>仕 上 げ の 形 状</th><th>工 法</th><th>備 考</th></tr></thead><tbody><tr><td>・外装薄塗材Si</td><td>・砂壁状 ・ゆず肌状</td><td>吹付け</td><td rowspan="2"></td></tr><tr><td>・ゆず肌状</td><td>・さざ波状</td><td>ローラー</td></tr><tr><td>・可とう形外装薄塗材Si</td><td>・砂壁状 ・ゆず肌状</td><td>吹付け</td><td rowspan="2"></td></tr><tr><td>・ゆず肌状</td><td>・さざ波状</td><td>ローラー</td></tr><tr><td>○外装薄塗材E</td><td>○砂壁状 ・ゆず肌状</td><td>吹付け</td><td rowspan="4"></td></tr><tr><td>・平たん状</td><td>凹凸状</td><td>こて塗り</td></tr><tr><td>・ゆず肌状</td><td>・さざ波状</td><td>ローラー</td></tr><tr><td>・着色骨材砂壁状</td><td></td><td>吹付け</td></tr><tr><td>・可とう形外装薄塗材E</td><td>・砂壁状 ・ゆず肌状</td><td>吹付け</td><td rowspan="2"></td></tr><tr><td>・平たん状</td><td>凹凸状</td><td>こて塗り</td></tr><tr><td>・ゆず肌状</td><td>・さざ波状</td><td>ローラー</td><td rowspan="2">増塗材 ・適用する</td></tr><tr><td>・防水形外装薄塗材E</td><td>・ゆず肌状 ・さざ波状</td><td>ローラー</td></tr><tr><td>・外装薄塗材S</td><td>・凹凸状</td><td>吹付け</td><td rowspan="2"></td></tr><tr><td>・砂壁状</td><td></td><td>吹付け</td></tr></tbody></table> <table border="1"><thead><tr><th>呼 び 名</th><th>仕 上 げ の 形 状</th><th>工 法</th><th>備 考</th></tr></thead><tbody><tr><td>・外装厚塗材C</td><td>・吹放し ・凸部処理</td><td>吹付け</td><td>ワトコ以外の上塗材</td></tr><tr><td>・平たん状</td><td>凹凸状</td><td>こて塗り</td><td rowspan="2">上塗材 ・適用する</td></tr><tr><td>・ひき起こし</td><td>掻き落とし</td><td>こて塗り</td></tr><tr><td>・外装厚塗材Si</td><td>・吹放し ・凸部処理</td><td>吹付け</td><td rowspan="2">上塗材 ・適用する</td></tr><tr><td>・外装厚塗材E</td><td>・平たん状 ・凹凸状</td><td>・こて塗り ・ローラー</td></tr></tbody></table> <table border="1"><thead><tr><th>呼 び 名</th><th>仕 上 げ の 形 状</th><th>工 法</th><th>備 考</th></tr></thead><tbody><tr><td>・複層塗材CE</td><td rowspan="2">・ゆず肌状</td><td>ローラー</td><td rowspan="2">耐候性 ※耐候形3種 ・</td></tr><tr><td>・複層塗材Si</td><td rowspan="2">凸部処理 ○凹凸状</td><td rowspan="2">吹付け</td></tr><tr><td>○複層塗材E</td><td rowspan="2">上塗材の種類[表4.5.2] ※水系アクリルつやあり</td></tr><tr><td>・複層塗材RE</td><td rowspan="2"></td></tr><tr><td>・可とう形複層塗材CE</td><td>・ゆず肌状</td><td>ローラー</td><td rowspan="2">増塗材 ・適用する</td></tr><tr><td>・凸部処理</td><td>凹凸状</td><td>吹付け</td></tr><tr><td>・防水形複層塗材CE</td><td>・ゆず肌状</td><td>ローラー</td><td rowspan="2">増塗材 ・適用する</td></tr><tr><td>・防水形複層塗材E</td><td>凸部処理</td><td>凹凸状</td><td>吹付け</td></tr><tr><td>・防水形複層塗材RE</td><td>凸部処理</td><td>凹凸状</td><td>吹付け</td></tr></tbody></table> <table border="1"><thead><tr><th>呼 び 名</th><th>仕 上 げ の 形 状</th><th>工 法</th><th>備 考</th></tr></thead><tbody><tr><td>・可とう形改修塗材E</td><td>・平たん状 ・さざ波状</td><td>ローラー</td><td rowspan="2"></td></tr><tr><td>・可とう形改修塗材CE</td><td>・ゆず肌状</td><td>吹付け</td></tr><tr><td>・可とう形改修塗材RE</td><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table> 防火材料の指定 ※なし ・あり (※図示) [4.5.2]		呼 び 名	仕 上 げ の 形 状	工 法	備 考	・外装薄塗材Si	・砂壁状 ・ゆず肌状	吹付け		・ゆず肌状	・さざ波状	ローラー	・可とう形外装薄塗材Si	・砂壁状 ・ゆず肌状	吹付け		・ゆず肌状	・さざ波状	ローラー	○外装薄塗材E	○砂壁状 ・ゆず肌状	吹付け		・平たん状	凹凸状	こて塗り	・ゆず肌状	・さざ波状	ローラー	・着色骨材砂壁状		吹付け	・可とう形外装薄塗材E	・砂壁状 ・ゆず肌状	吹付け		・平たん状	凹凸状	こて塗り	・ゆず肌状	・さざ波状	ローラー	増塗材 ・適用する	・防水形外装薄塗材E	・ゆず肌状 ・さざ波状	ローラー	・外装薄塗材S	・凹凸状	吹付け		・砂壁状		吹付け	呼 び 名	仕 上 げ の 形 状	工 法	備 考	・外装厚塗材C	・吹放し ・凸部処理	吹付け	ワトコ以外の上塗材	・平たん状	凹凸状	こて塗り	上塗材 ・適用する	・ひき起こし	掻き落とし	こて塗り	・外装厚塗材Si	・吹放し ・凸部処理	吹付け	上塗材 ・適用する	・外装厚塗材E	・平たん状 ・凹凸状	・こて塗り ・ローラー	呼 び 名	仕 上 げ の 形 状	工 法	備 考	・複層塗材CE	・ゆず肌状	ローラー	耐候性 ※耐候形3種 ・	・複層塗材Si	凸部処理 ○凹凸状	吹付け	○複層塗材E	上塗材の種類[表4.5.2] ※水系アクリルつやあり	・複層塗材RE		・可とう形複層塗材CE	・ゆず肌状	ローラー	増塗材 ・適用する	・凸部処理	凹凸状	吹付け	・防水形複層塗材CE	・ゆず肌状	ローラー	増塗材 ・適用する	・防水形複層塗材E	凸部処理	凹凸状	吹付け	・防水形複層塗材RE	凸部処理	凹凸状	吹付け	呼 び 名	仕 上 げ の 形 状	工 法	備 考	・可とう形改修塗材E	・平たん状 ・さざ波状	ローラー		・可とう形改修塗材CE	・ゆず肌状	吹付け	・可とう形改修塗材RE							
呼 び 名	仕 上 げ の 形 状	工 法	備 考																																																																																																																															
・外装薄塗材Si	・砂壁状 ・ゆず肌状	吹付け																																																																																																																																
・ゆず肌状	・さざ波状	ローラー																																																																																																																																
・可とう形外装薄塗材Si	・砂壁状 ・ゆず肌状	吹付け																																																																																																																																
・ゆず肌状	・さざ波状	ローラー																																																																																																																																
○外装薄塗材E	○砂壁状 ・ゆず肌状	吹付け																																																																																																																																
・平たん状	凹凸状	こて塗り																																																																																																																																
・ゆず肌状	・さざ波状	ローラー																																																																																																																																
・着色骨材砂壁状		吹付け																																																																																																																																
・可とう形外装薄塗材E	・砂壁状 ・ゆず肌状	吹付け																																																																																																																																
・平たん状	凹凸状	こて塗り																																																																																																																																
・ゆず肌状	・さざ波状	ローラー	増塗材 ・適用する																																																																																																																															
・防水形外装薄塗材E	・ゆず肌状 ・さざ波状	ローラー																																																																																																																																
・外装薄塗材S	・凹凸状	吹付け																																																																																																																																
・砂壁状		吹付け																																																																																																																																
呼 び 名	仕 上 げ の 形 状	工 法	備 考																																																																																																																															
・外装厚塗材C	・吹放し ・凸部処理	吹付け	ワトコ以外の上塗材																																																																																																																															
・平たん状	凹凸状	こて塗り	上塗材 ・適用する																																																																																																																															
・ひき起こし	掻き落とし	こて塗り																																																																																																																																
・外装厚塗材Si	・吹放し ・凸部処理	吹付け	上塗材 ・適用する																																																																																																																															
・外装厚塗材E	・平たん状 ・凹凸状	・こて塗り ・ローラー																																																																																																																																
呼 び 名	仕 上 げ の 形 状	工 法	備 考																																																																																																																															
・複層塗材CE	・ゆず肌状	ローラー	耐候性 ※耐候形3種 ・																																																																																																																															
・複層塗材Si		凸部処理 ○凹凸状		吹付け																																																																																																																														
○複層塗材E	上塗材の種類[表4.5.2] ※水系アクリルつやあり																																																																																																																																	
・複層塗材RE																																																																																																																																		
・可とう形複層塗材CE	・ゆず肌状		ローラー	増塗材 ・適用する																																																																																																																														
・凸部処理	凹凸状	吹付け																																																																																																																																
・防水形複層塗材CE	・ゆず肌状	ローラー	増塗材 ・適用する																																																																																																																															
・防水形複層塗材E	凸部処理	凹凸状		吹付け																																																																																																																														
・防水形複層塗材RE	凸部処理	凹凸状	吹付け																																																																																																																															
呼 び 名	仕 上 げ の 形 状	工 法	備 考																																																																																																																															
・可とう形改修塗材E	・平たん状 ・さざ波状	ローラー																																																																																																																																
・可とう形改修塗材CE	・ゆず肌状	吹付け																																																																																																																																
・可とう形改修塗材RE																																																																																																																																		
4 マスチック塗材塗り		種類別 ・A種 ・B種 [4.6.2][表4.6.1]																																																																																																																																
5 外壁用塗膜防水材料塗り		仕上げの形状及び工法 [4.1.5][4.7.2～3][表4.7.1] 仕上塗材の耐候性 ・ 地下挙動緩衝材 ・適用する ・適用しない 模様材の種類 ・ 仕上げを砂壁状、じゅらく状等とする場合の模様材の種類 ・ 仕上塗料の種類 ・																																																																																																																																
塗装改修工事		① 一般事項		⑦ 下地調整		⑧ 養生																																																																																																																												
① 一般事項		屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆とする [7.1.3] 防火材料 ・屋内の壁及び天井の塗装仕上げは、防火材料とする。 [7.1.3] ・次の箇所を除き防火材料とする。(箇所：)		⑦ 下地調整		⑧ 養生																																																																																																																												
② 下地調整		塗替えR B種の既存塗膜の除去範囲 ※劣化部分は除去し、活膜部分は残す [7.2.1] [7.2.2～7.2.7][表7.2.1～表7.2.7]																																																																																																																																
		<table border="1"><thead><tr><th>下地面の種類</th><th>下地調整の種類</th><th>ひび割れの補修</th></tr></thead><tbody><tr><td>木 部</td><td>不透明塗料塗り</td><td>※R B種 ・</td></tr><tr><td></td><td>透明塗料塗り</td><td>・ R B種 ・</td></tr><tr><td>鉄鋼面</td><td></td><td>※R B種 ・</td></tr><tr><td>亜鉛めっき鋼面</td><td></td><td>※R B種 ・</td></tr><tr><td>モルタル面, プラスター面</td><td></td><td>※R B種 ・</td></tr><tr><td>コンクリート面(DP以外)・ALCパネル面</td><td></td><td>※R B種 ・</td></tr><tr><td>コンクリート面(DP)・押出成形セメント板面</td><td></td><td>・</td></tr><tr><td>せっこうボード面・その他ボード面</td><td></td><td>※R B種 ・</td></tr></tbody></table>		下地面の種類	下地調整の種類	ひび割れの補修	木 部	不透明塗料塗り	※R B種 ・		透明塗料塗り	・ R B種 ・	鉄鋼面		※R B種 ・	亜鉛めっき鋼面		※R B種 ・	モルタル面, プラスター面		※R B種 ・	コンクリート面(DP以外)・ALCパネル面		※R B種 ・	コンクリート面(DP)・押出成形セメント板面		・	せっこうボード面・その他ボード面		※R B種 ・																																																																																																				
下地面の種類	下地調整の種類	ひび割れの補修																																																																																																																																
木 部	不透明塗料塗り	※R B種 ・																																																																																																																																
	透明塗料塗り	・ R B種 ・																																																																																																																																
鉄鋼面		※R B種 ・																																																																																																																																
亜鉛めっき鋼面		※R B種 ・																																																																																																																																
モルタル面, プラスター面		※R B種 ・																																																																																																																																
コンクリート面(DP以外)・ALCパネル面		※R B種 ・																																																																																																																																
コンクリート面(DP)・押出成形セメント板面		・																																																																																																																																
せっこうボード面・その他ボード面		※R B種 ・																																																																																																																																
		⑨ 養生		⑩ 撤去		⑪ 清掃																																																																																																																												
		⑫ 撤去		⑬ 清掃		⑭ 養生																																																																																																																												
		⑮ 撤去		⑯ 撤去		⑰ 撤去																																																																																																																												
		⑱ 撤去		⑲ 撤去		⑳ 撤去																																																																																																																												
		㉑ 撤去		㉒ 撤去		㉓ 撤去																																																																																																																												
		㉔ 撤去		㉕ 撤去		㉖ 撤去																																																																																																																												
		㉗ 撤去		㉘ 撤去		㉙ 撤去																																																																																																																												
		㉚ 撤去		㉛ 撤去		㉜ 撤去																																																																																																																												
		㉝ 撤去		㉞ 撤去		㉟ 撤去																																																																																																																												
		㊱ 撤去		㊲ 撤去		㊳ 撤去																																																																																																																												
		㊴ 撤去		㊵ 撤去		㊶ 撤去																																																																																																																												
		㊷ 撤去		㊸ 撤去		㊹ 撤去																																																																																																																												
		㊺ 撤去		㊻ 撤去		㊼ 撤去																																																																																																																												
		㊽ 撤去		㊾ 撤去		㊿ 撤去																																																																																																																												
		㋀ 撤去		㋁ 撤去		㋂ 撤去																																																																																																																												
		㋃ 撤去		㋄ 撤去		㋅ 撤去																																																																																																																												
		㋆ 撤去		㋇ 撤去		㋈ 撤去																																																																																																																												
		㋉ 撤去		㋊ 撤去																																																																																																																														

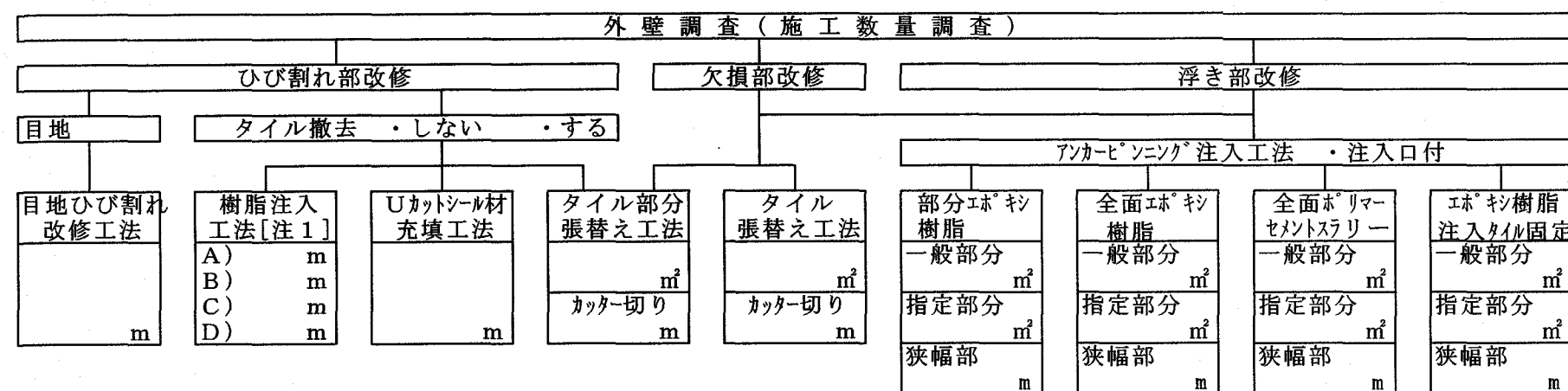
- ・コンクリート打放し仕上げ外壁の場合



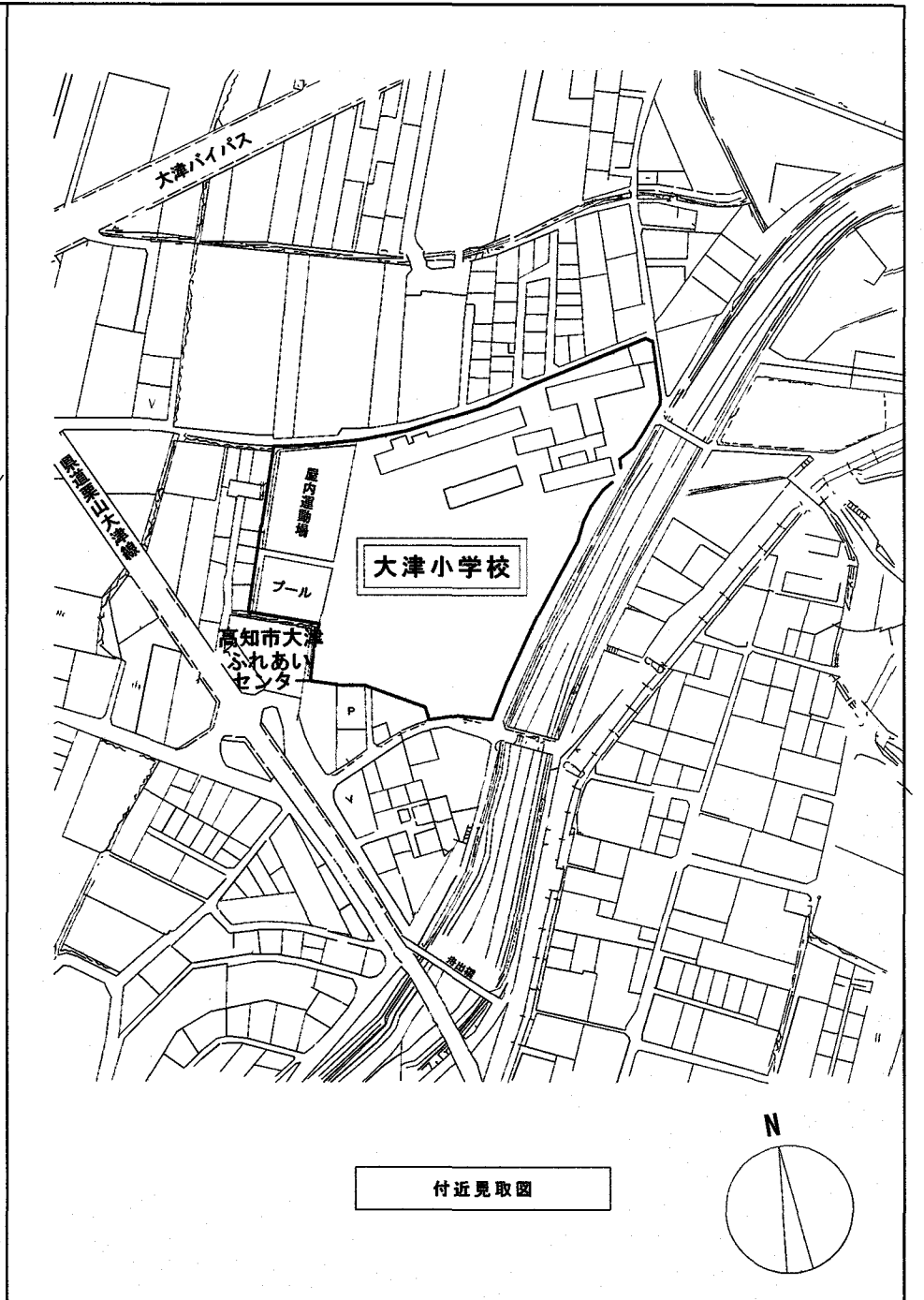
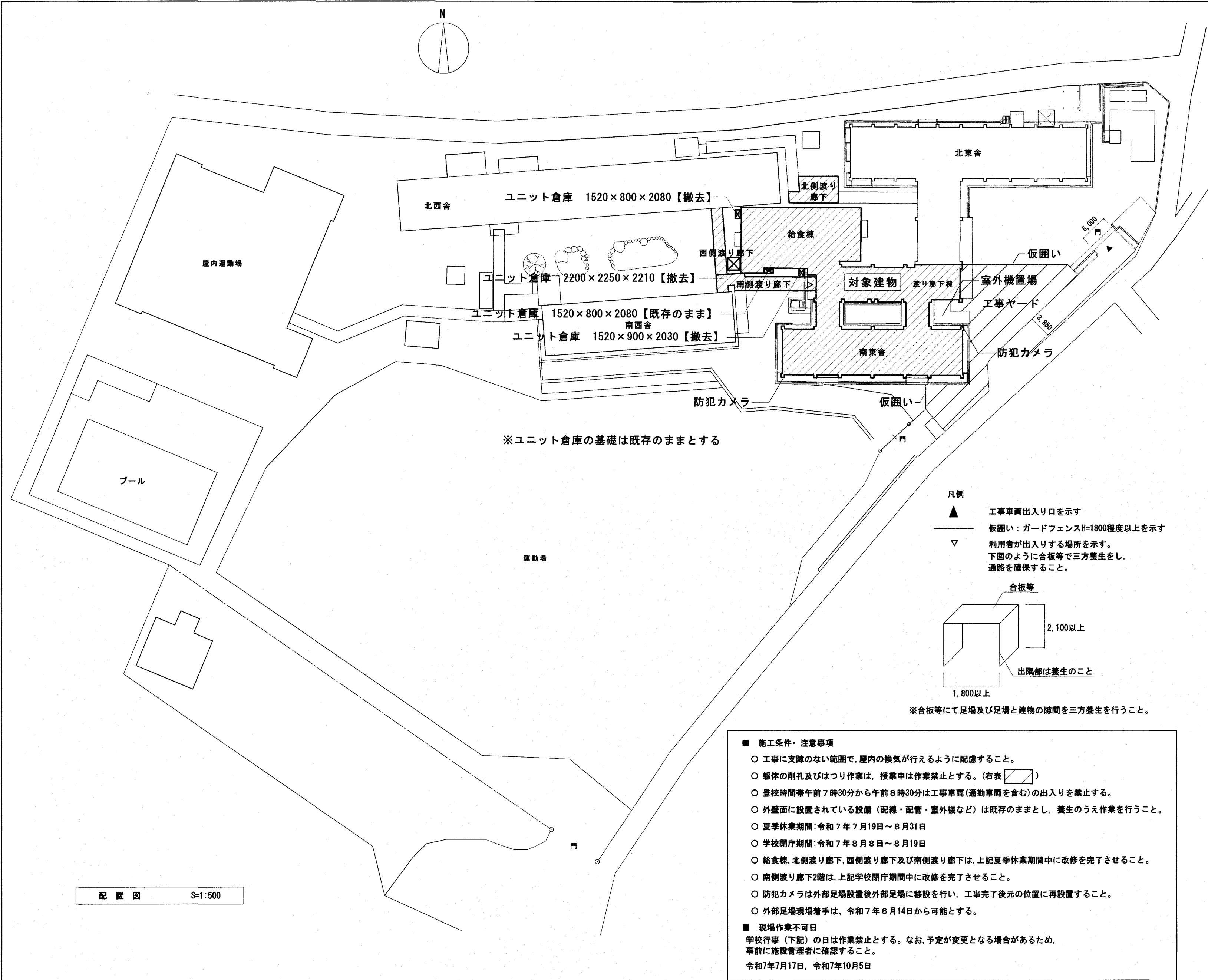
◎モルタル塗り仕上げ外壁の場合



・タイル張り仕上げ外壁の場合



(注1) ひび割れ幅(mm)が、A)0.2以上1.0以下、B)0.2以上0.3未満、C)0.3以上0.5未満、D)0.5以上1.0以下を示す
A)は自動式低圧エポキシ樹脂注入工法を示し、
B)・C)・D)は手動式エポキシ樹脂注入工法、機械式エポキシ樹脂注入工法を示す。



校時表

月	火	水	木	金
8:20	ストレッチ	(移動)	ストレッチ	8:20
8:25	開校タイム	全校朝会(第1週)	算数タイム	8:25
8:35	朝の会	学年集会(第2週)	朝の会	8:35
8:45		音楽会(第3週)		8:45
9:30	1校時	移動・準備	1校時	9:30
9:40	2校時	移動・準備	2校時	9:40
10:25	3校時	休み時間	3校時	10:25
10:45	4校時	移動・準備	4校時	10:45
11:30	給食	給食	給食	11:30
11:40	5校時	移動・準備	5校時	11:40
12:25	6校時	移動・準備	6校時	12:25
13:05	7校時	移動・準備	7校時	13:05
13:30	8校時	移動・準備	8校時	13:30
13:45	9校時	移動・準備	9校時	13:45
13:55	10校時	移動・準備	10校時	13:55
14:40	11校時	移動・準備	11校時	14:40
14:45	12校時	移動・準備	12校時	14:45
15:30	13校時	移動・準備	13校時	15:30
16:20	下校	下校	下校	16:20

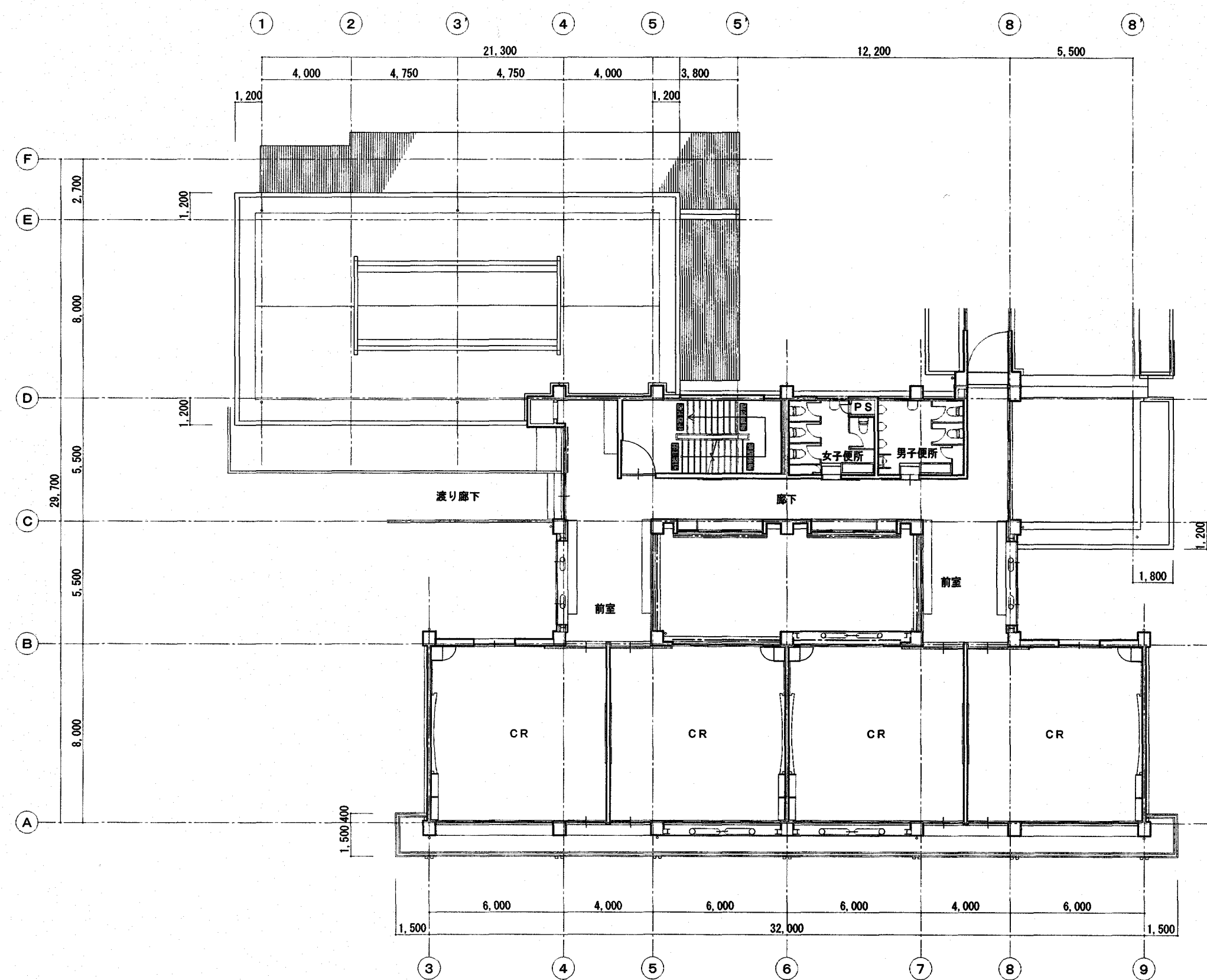
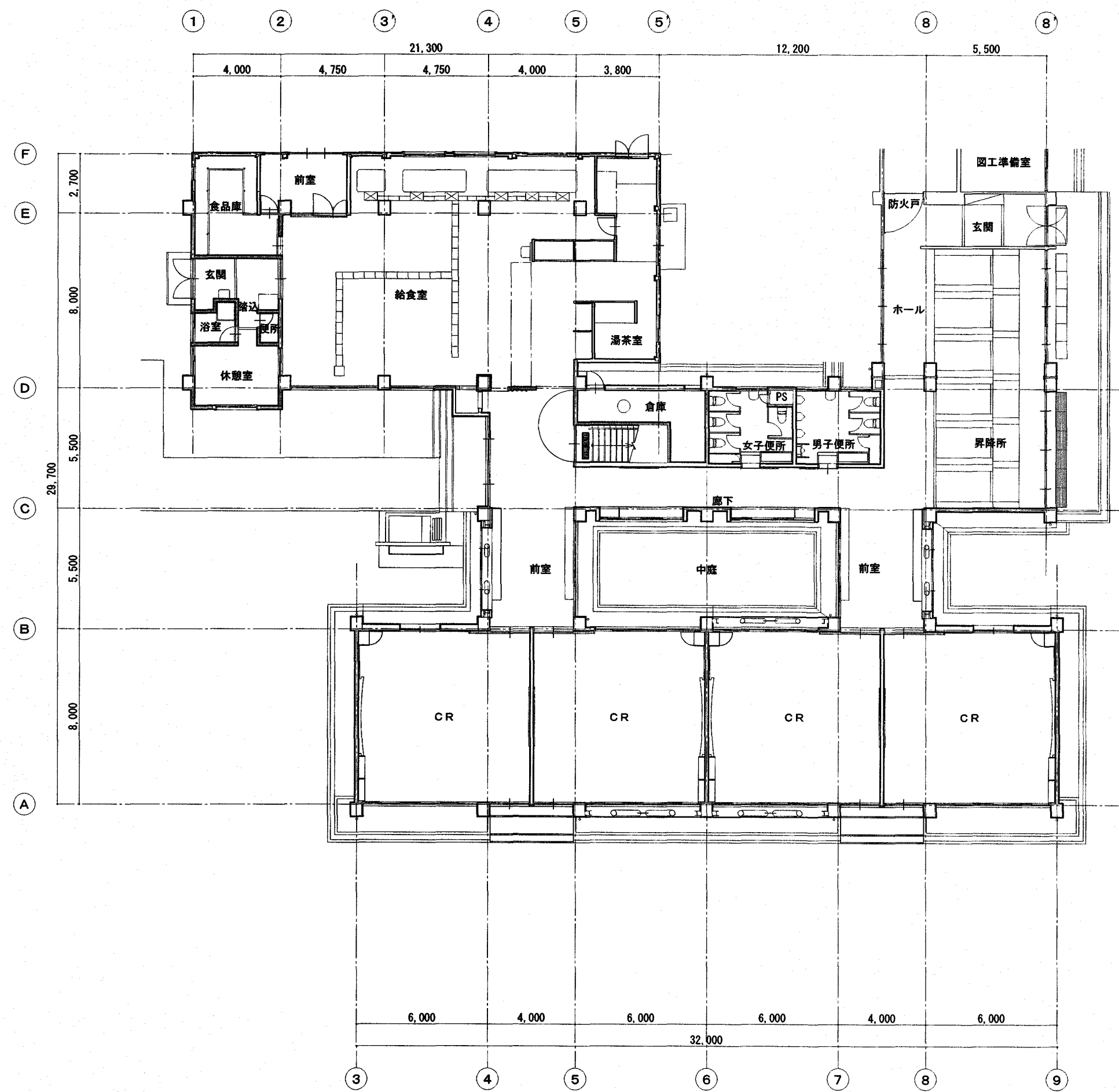
■ 施工条件・注意事項

- 工事に支障のない範囲で、屋内の換気が行えるように配慮すること。
- 躯体の削孔及びはり作業は、授業中は作業禁止とする。(右表参照)
- 登校時間帯午前7時30分から午前8時30分は工事車両(通勤車両を含む)の出入りを禁止する。
- 外壁面に設置されている設備(配線・配管・室外機など)は既存のままとし、養生のうえ作業を行うこと。
- 夏季休業期間:令和7年7月19日～8月31日
- 学校閉庁期間:令和7年8月8日～8月19日
- 給食棟、北側渡り廊下、西側渡り廊下及び南側渡り廊下は、上記夏季休業期間中に改修を完了させること。
- 南側渡り廊下2階は、上記学校閉庁期間中に改修を完了させること。
- 防犯カメラは外部足場設置後外部足場に移動を行い、工事完了後元の位置に再設置すること。
- 外部足場現場着手は、令和7年6月14日から可能とする。

■ 現場作業不可日

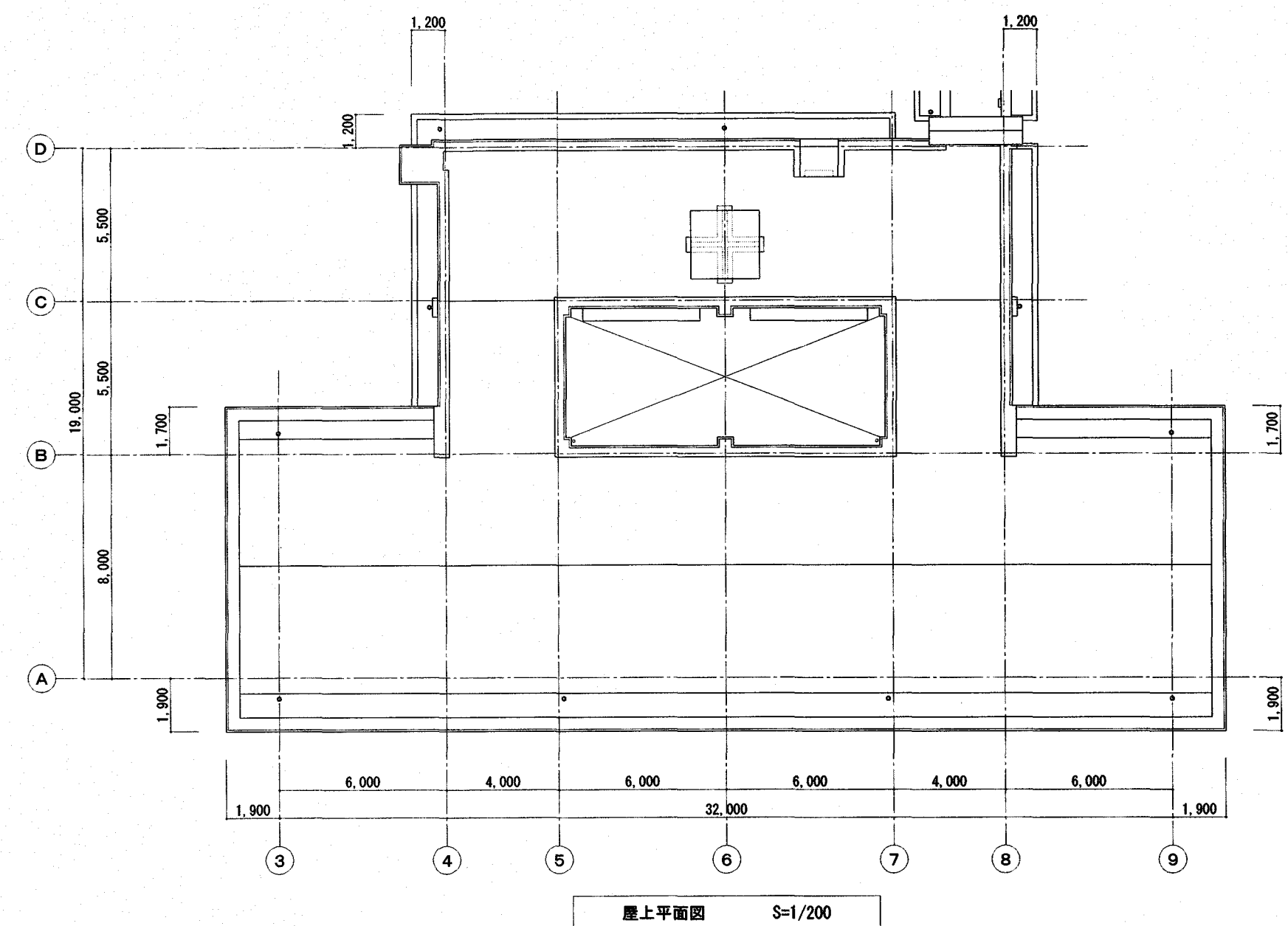
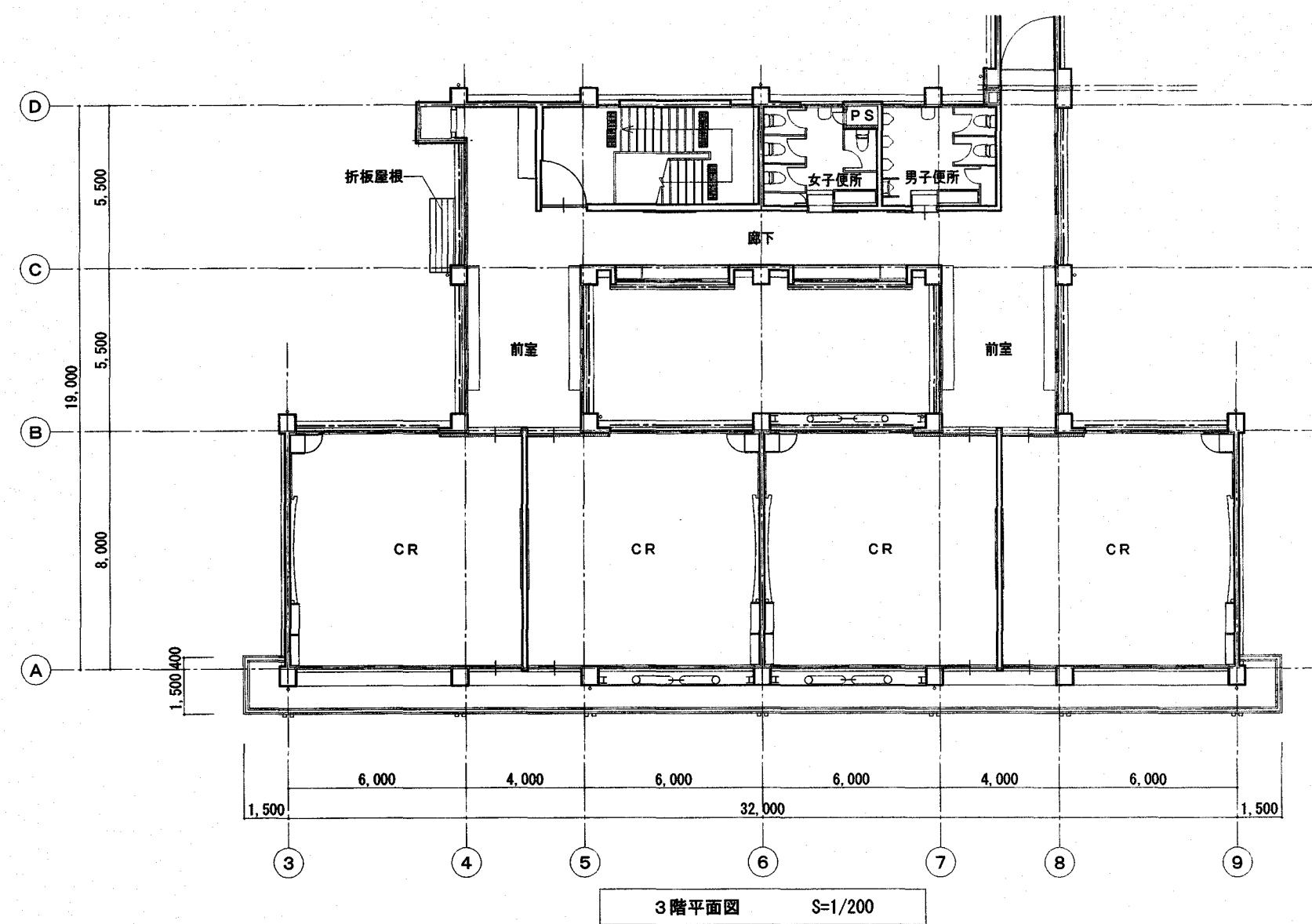
学校行事(下記)の日は作業禁止とする。なお、予定が変更となる場合があるため、事前に施設管理者に確認すること。

令和7年7月17日、令和7年10月5日



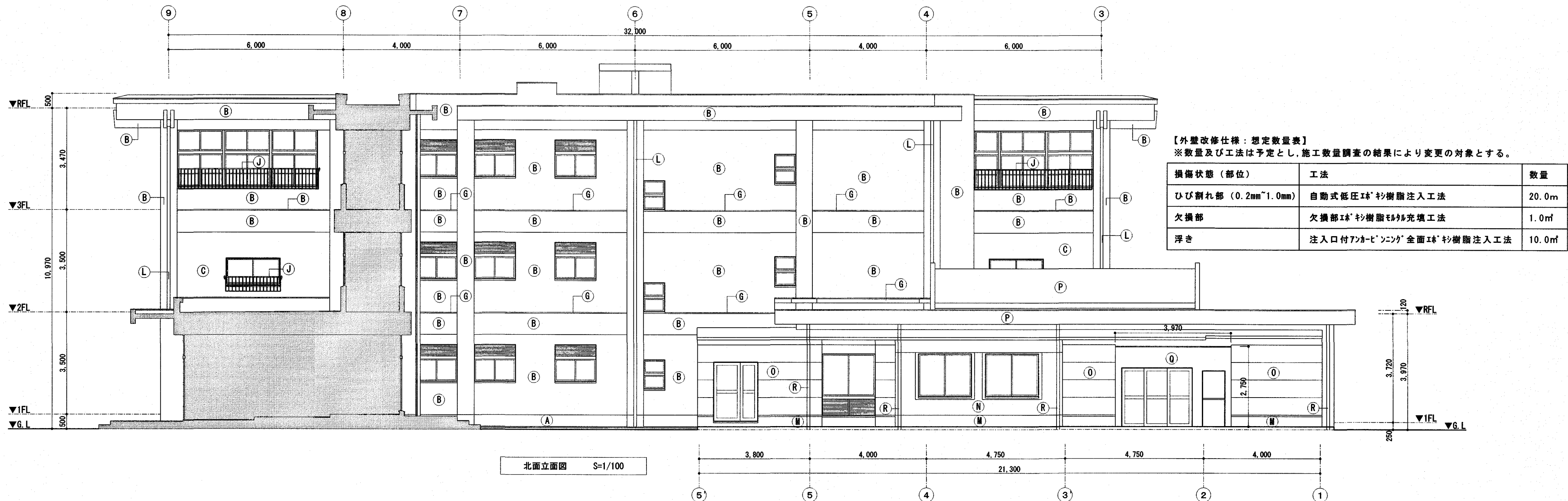
【参考図】

		高知市 都市建設部 公共建築課	工 事 名	係	係 長	課長補佐	課 長	図面番号	
			大津小学校南東舎外壁改修工事					A-7	
			図 面 名 1階平面図,2階平面図【参考図】 縮 尺 1 /200	作 図	令和	年	月		日



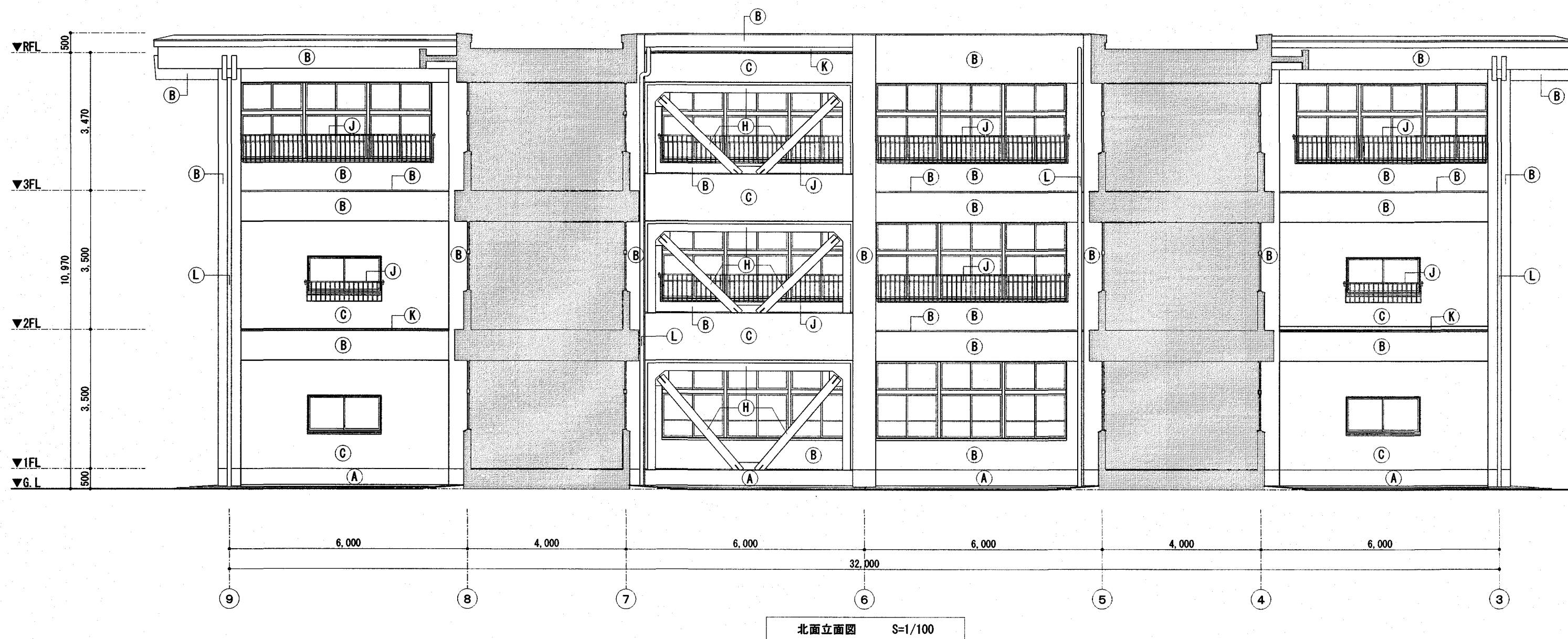
【参考図】

		高知市 都市建設部 公共建築課	工 事 名		係	係 長	課長補佐	課 長	図面番号
			大津小学校南東舎外壁改修工事						A-8
			図 面 3階平面図、屋上平面図【参考図】 縮 尺 1 / 200		作 図 令和 年 月 日				



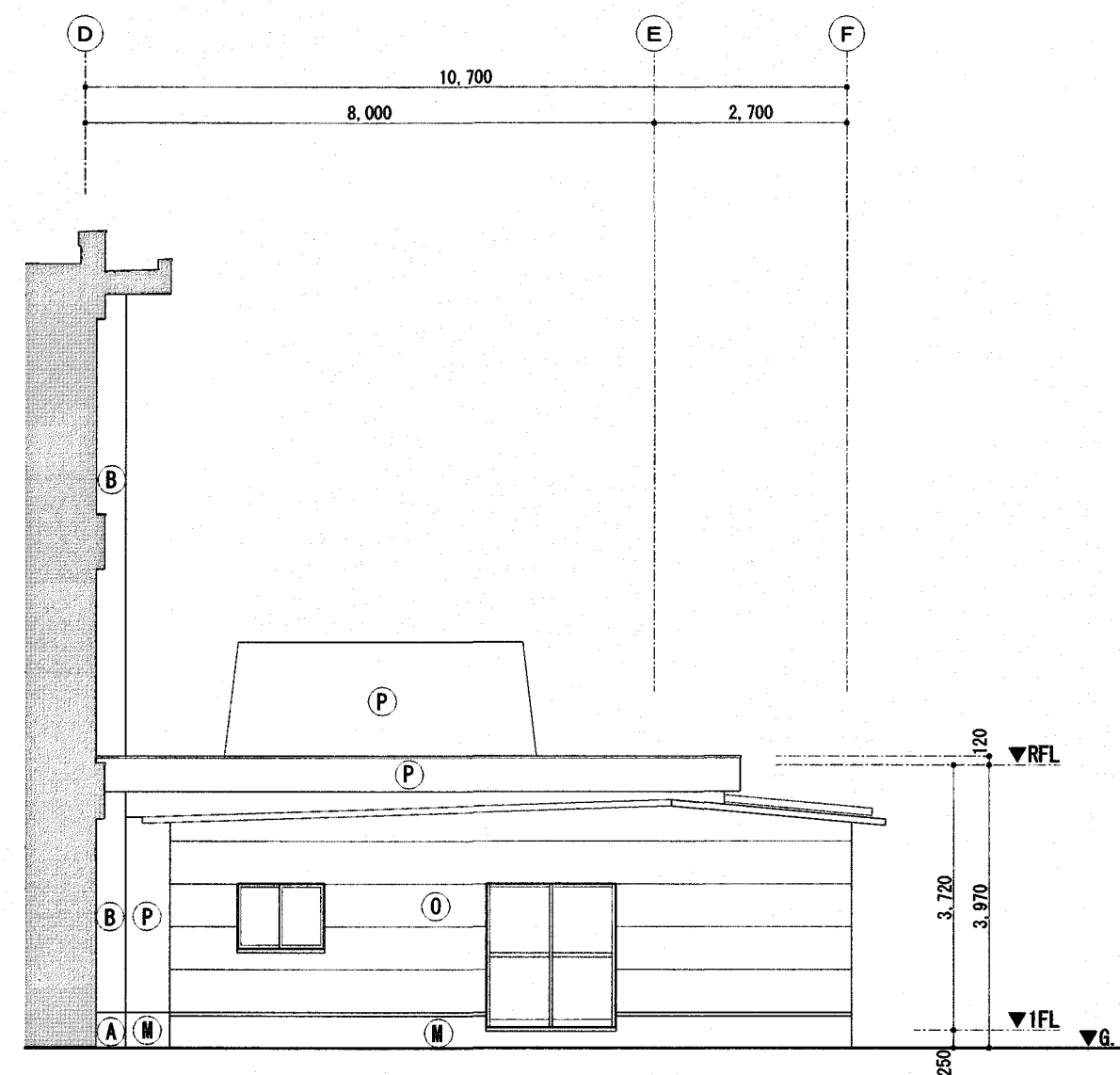
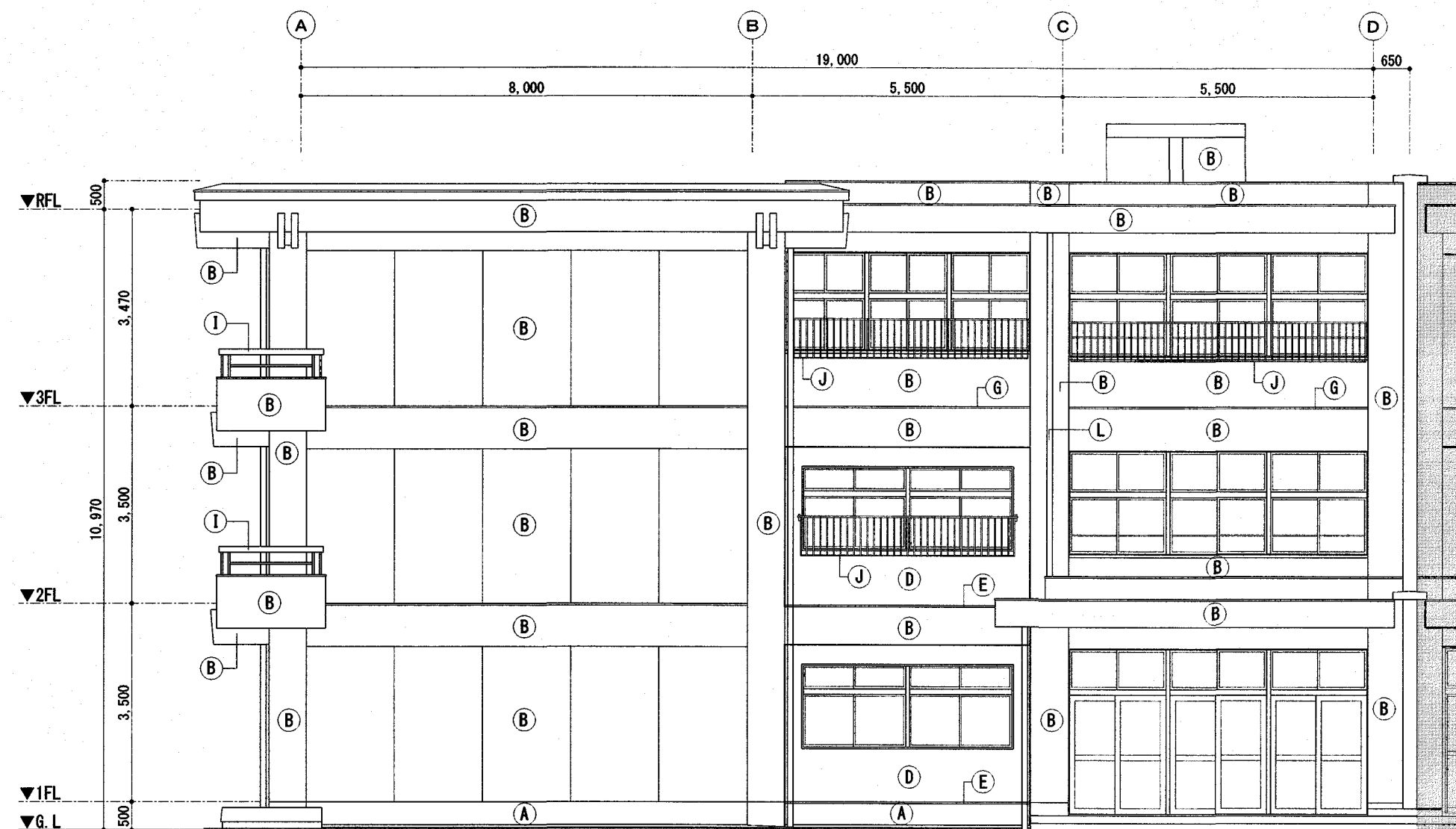
【外壁改修仕様：想定数量表】
※数量及び工法は予定とし、施工数量調査の結果により変更の対象とする。

損傷状態（部位）	工法	数量
ひび割れ部（0.2mm～1.0mm）	自動式低圧珪酸樹脂注入工法	20.0m
欠損部	欠損部珪酸樹脂モルタル充填工法	1.0㎡
浮き	注入口付70kg/ビニール全面珪酸樹脂注入工法	10.0㎡

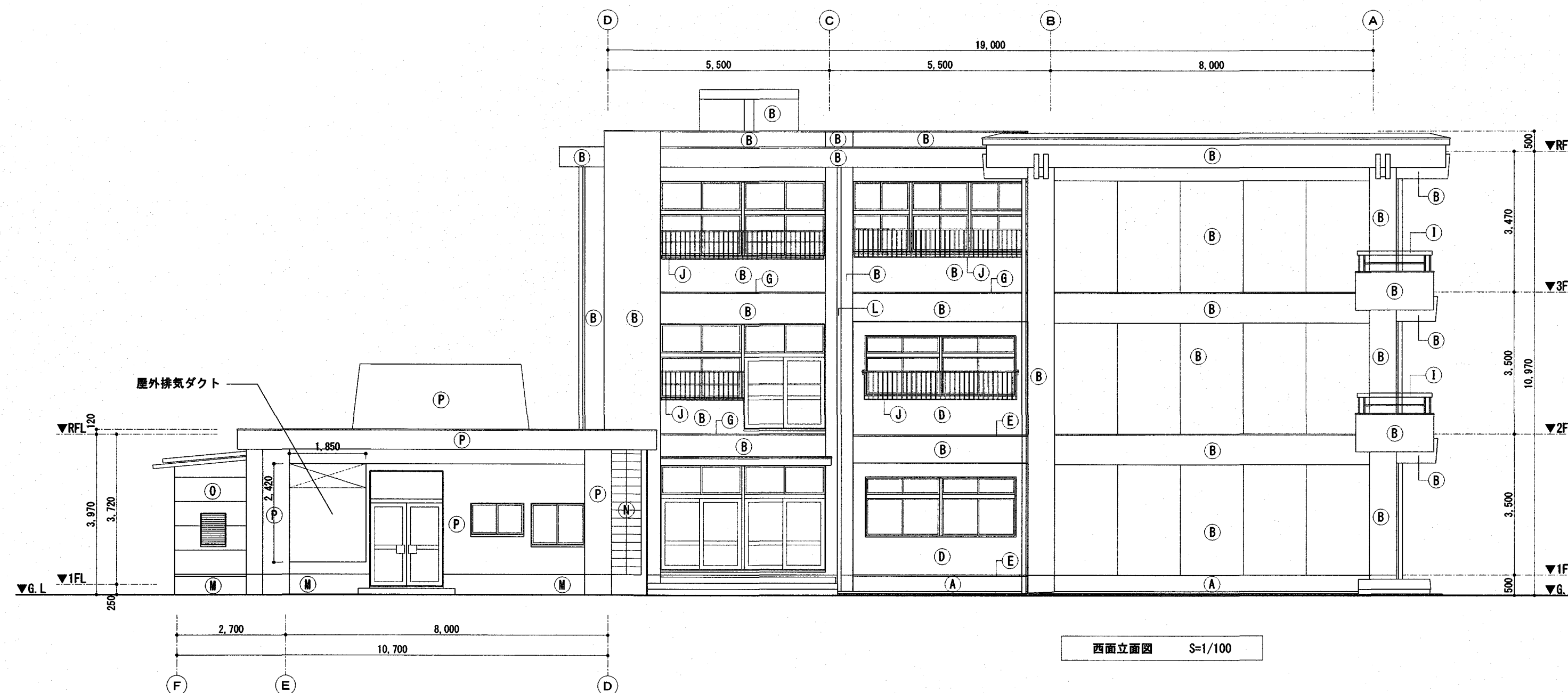
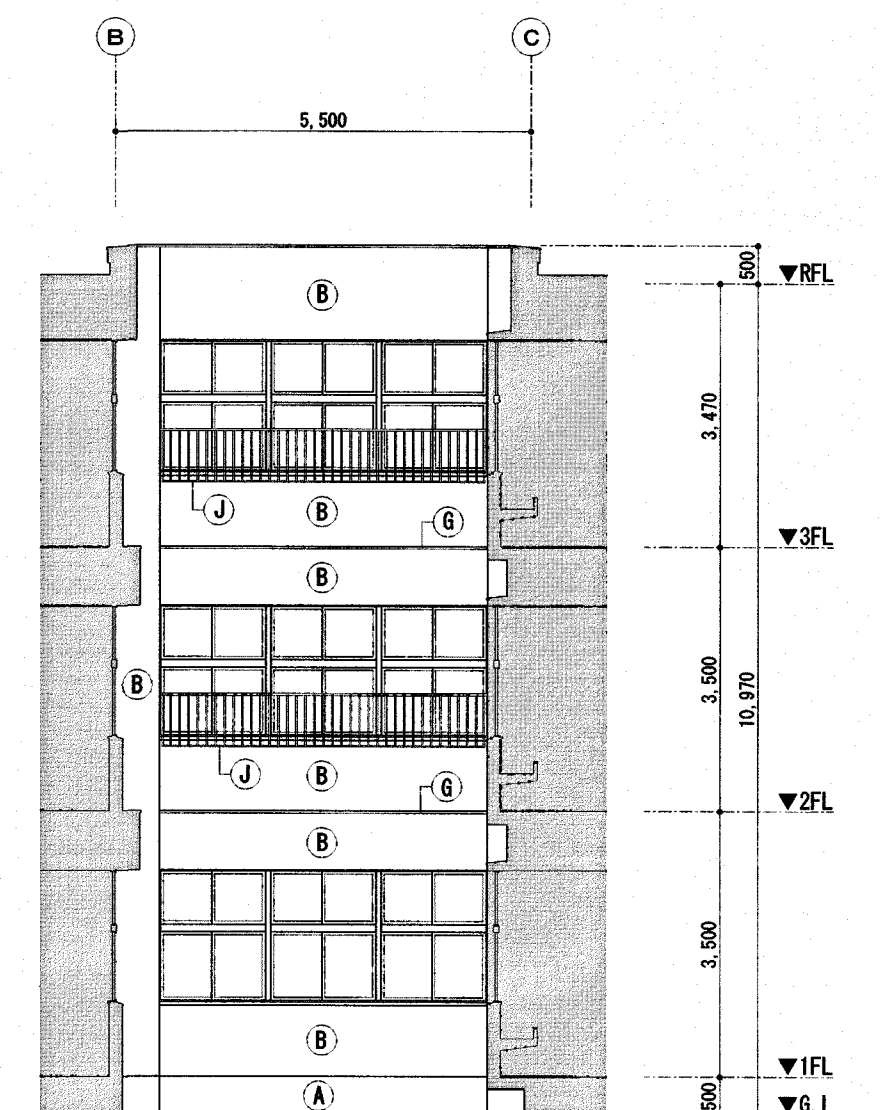


南東舎・渡り廊下棟		
記号	改修前	改修後
①	珪酸樹脂毛引	水洗い+劣化改修【改修】
②	珪酸樹脂毛引下地 複層塗材E	水洗い+劣化改修+複層塗材E【改修】
③	コンクリート下地 複層塗材E	水洗い+劣化改修+複層塗材E【改修】
④	耐火断熱壁パネル	水洗い【改修】
⑤	耐火断熱壁パネル専用木切	水洗い【改修】
⑥	防水珪酸樹脂下地 塗膜防水	水洗い+塗膜防水【改修】
⑦	防水珪酸樹脂下地 複層塗材E	水洗い+劣化改修+複層塗材E【改修】
⑧	鉄骨ブレース部分：亜鉛溶射 DP塗	水洗い【改修】
⑨	鋼製手摺 100×100×60×30 DP塗	下地調整の上、DP塗【改修】
⑩	70kg/ビニール製転落防止手摺	【既存のまま】
⑪	70kg/木切	水洗い【改修】
⑫	堅橋 珪酸樹脂管100	【既存のまま】
給食棟		
⑬	コンクリート打放し	水洗い+劣化改修【改修】
⑭	CB下地 複層塗材E	水洗い+劣化改修+複層塗材E【改修】
⑮	押出成形セメント板 複層塗材E	水洗い+複層塗材E【改修】
⑯	珪酸樹脂下地 複層塗材E	水洗い+劣化改修+複層塗材E【改修】
⑰	珪酸樹脂下地 珪酸樹脂鋼板	水洗い【改修】
⑱	堅橋 珪酸樹脂管100φ	【既存のまま】
南東舎・渡り廊下棟・給食棟		
⑳	コンクリート打放し 外装薄塗材E	水洗い+劣化改修+外装薄塗材E【改修】
㉑	珪酸樹脂下地 複層塗材E	水洗い+劣化改修+複層塗材E【改修】

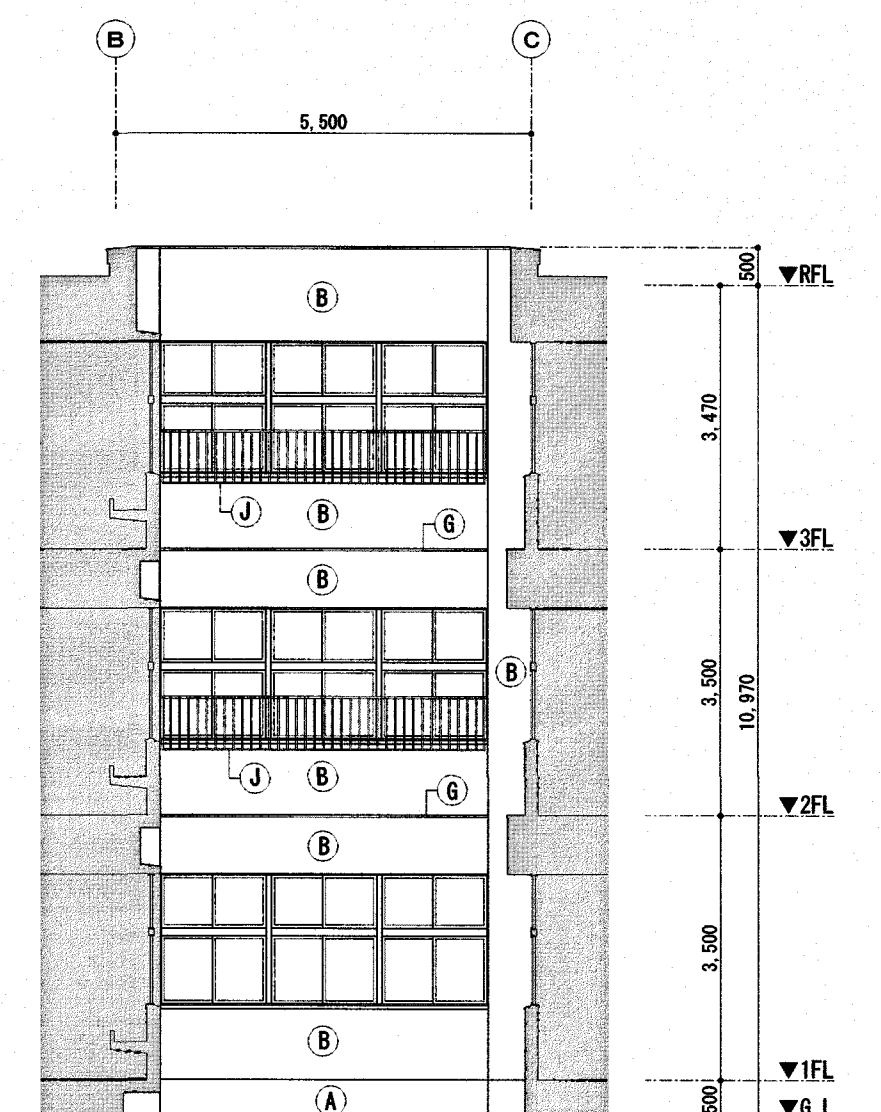
南東舎・渡り廊下棟：特記なき外部建具及び建具周リシーリング、耐震ブレース取り付け目地シーリング、化粧目地シーリングはMS-2 15×10とする。
珪酸樹脂下地シーリングはMS-2 30×10とする。
給食棟：特記なき外部建具及び建具周リシーリング MS-2 10×10とする。



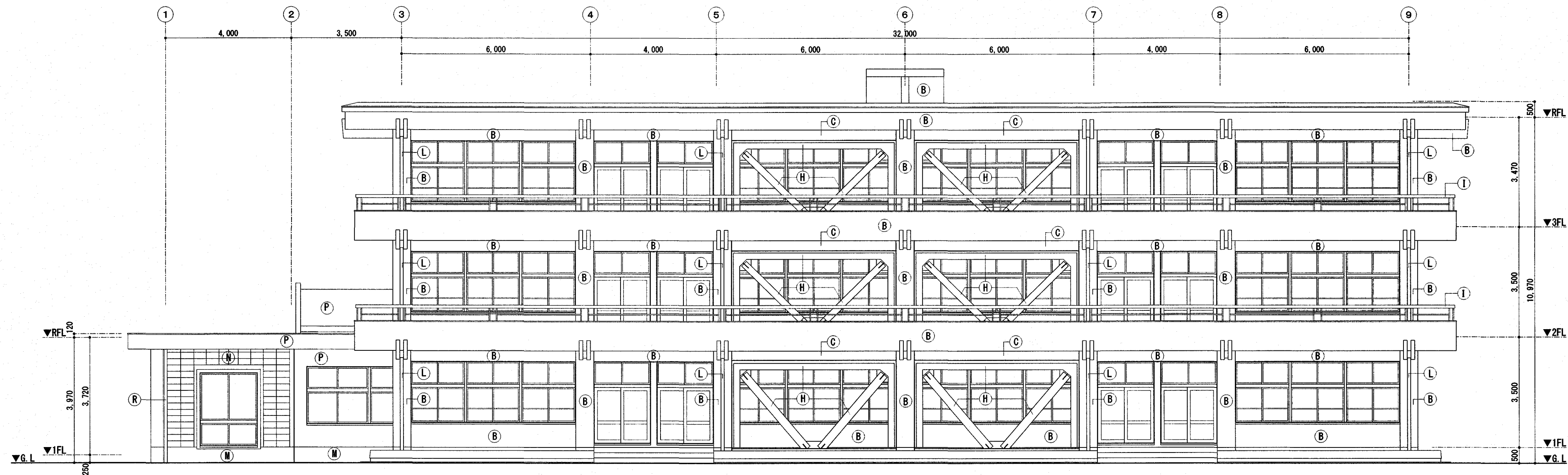
東面立面図 S=1/100



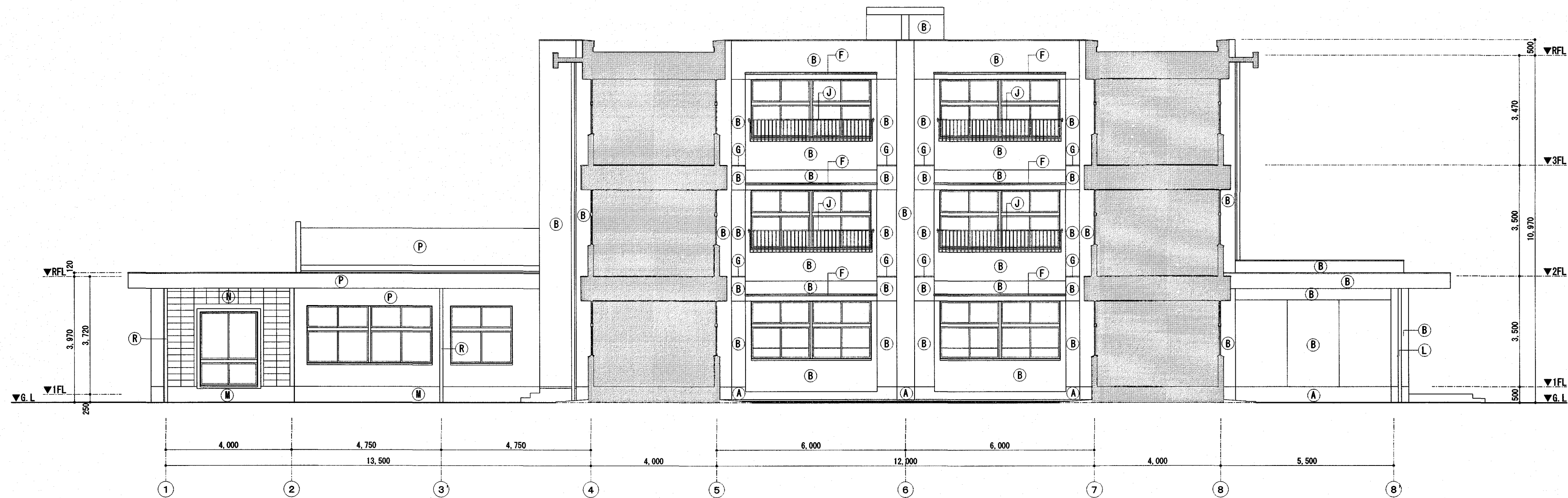
西面立面図 S=1/100



				高知市 都市建設部 公共建築課				工事名	大津小学校南東舎外壁改修工事	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
								図面名	東面立面図, 西面立面図	縮尺	1/100	作図	令和 年 月 日	A-10

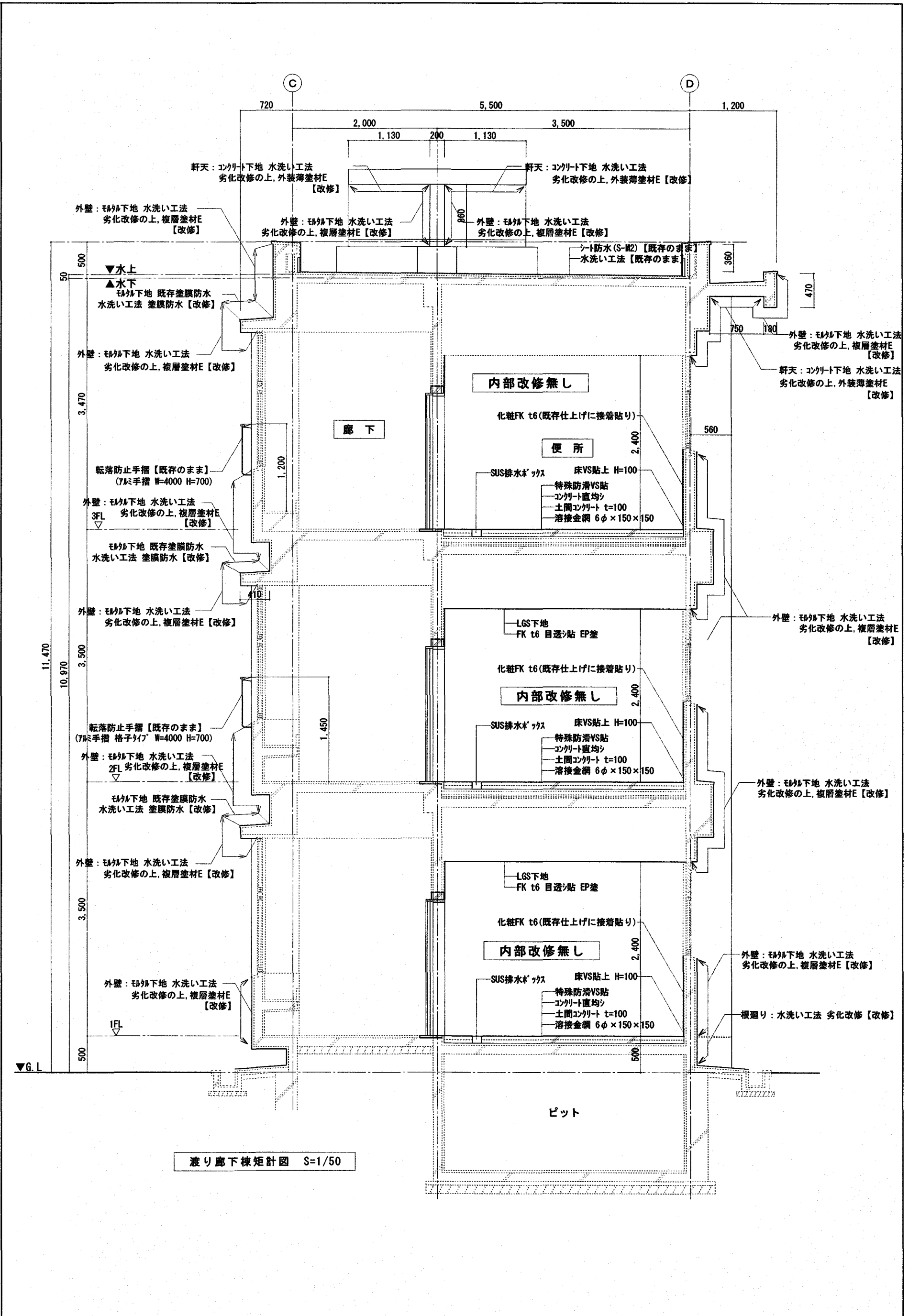
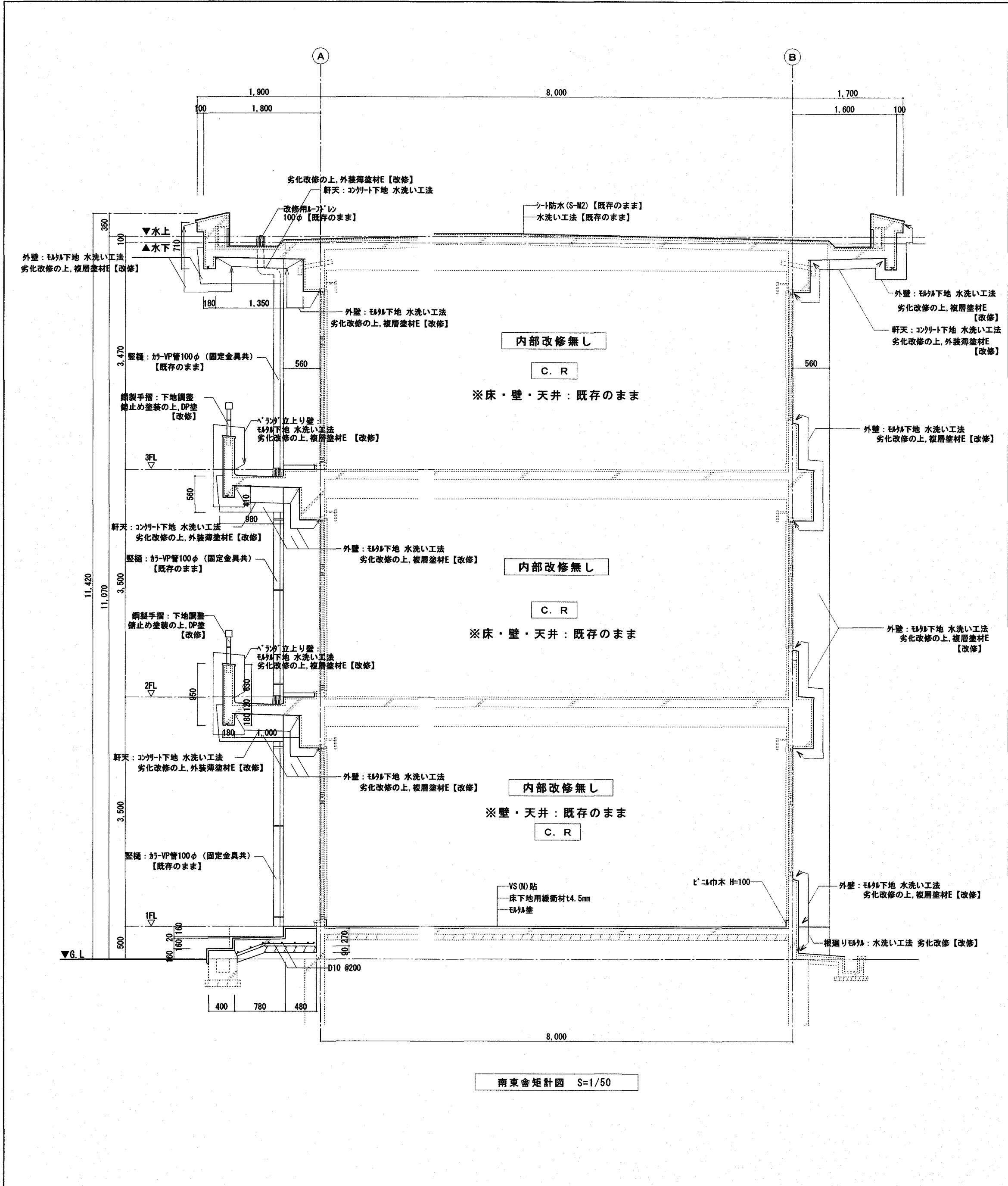


南面立面図 S=1/100



南面立面図 S=1/100

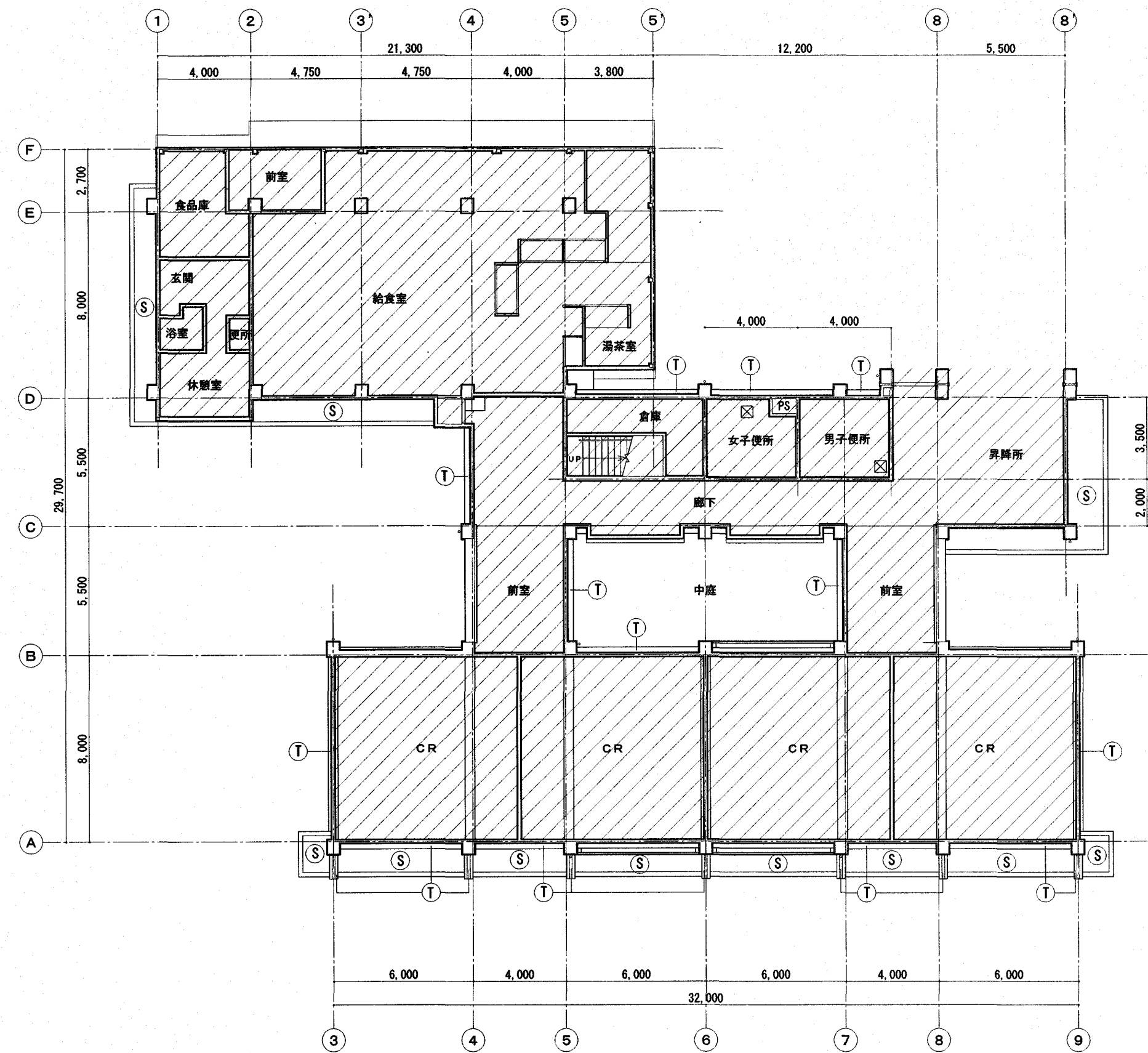
		高知市 都市建設部 公共建築課	工 事 名	係	係 長	課長補佐	課 長	図面番号	
			大津小学校南東舎外壁改修工事					A-11	
			図 面 名	縮 尺		作 図			
			南面立面図	1 / 100		令和 年 月 日			



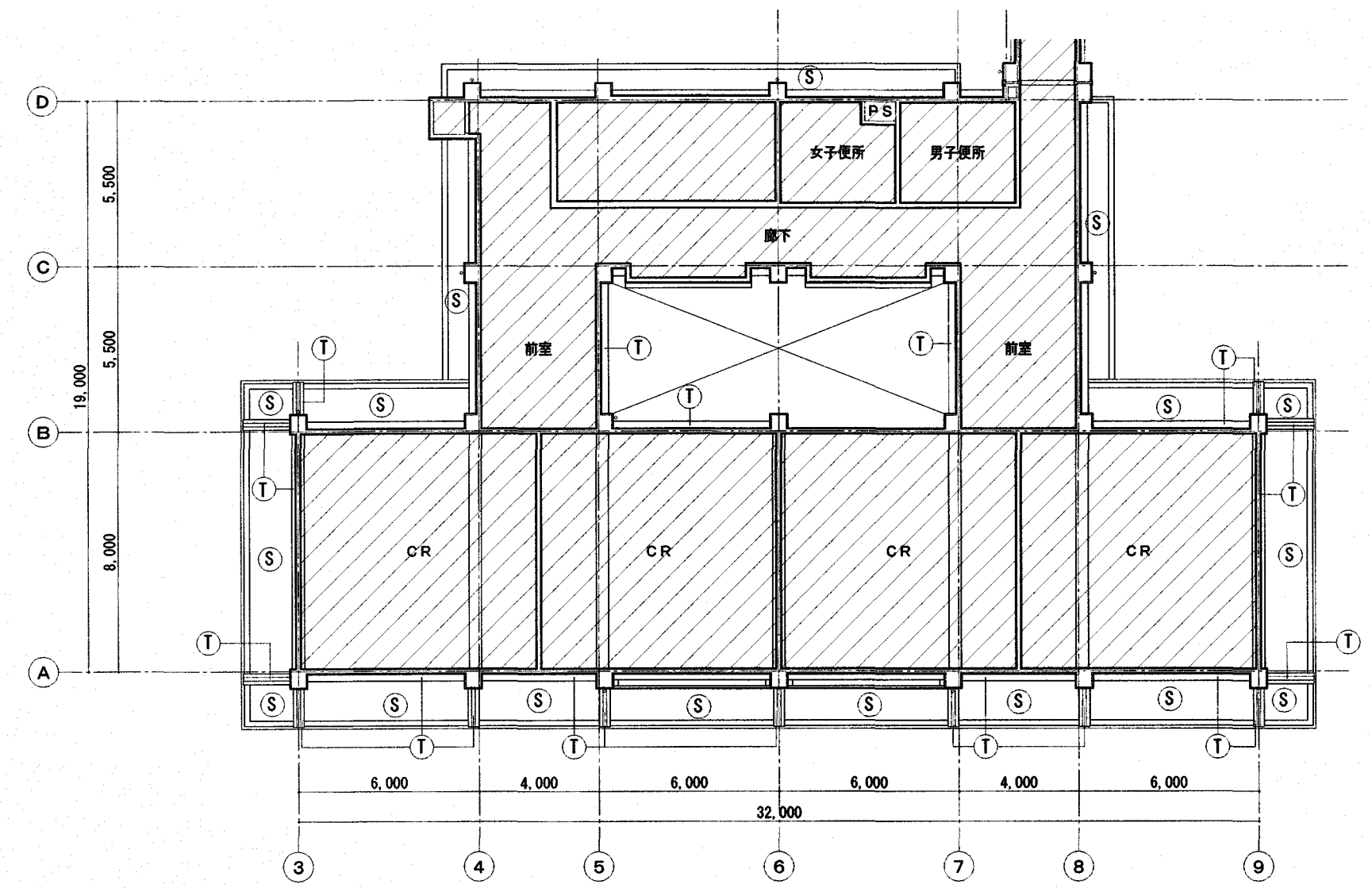
【】無きものは既存のままとする				高知市 都市建設部 公共建築課	工 事 名				係	係 長	課長補佐	課 長	図面番号
					大津小学校南東舎外壁改修工事								A-12
					図 面 名 矩計図 (1) 縮 尺 1 / 100				作 図 令和 年 月 日				

記号	既 存	改 修
(S)	コンクリート打放し 外装薄塗材E	水洗い+劣化改修+外装薄塗材E【改修】
(T)	モルタル下地 複層塗材E	水洗い+劣化改修+複層塗材E【改修】

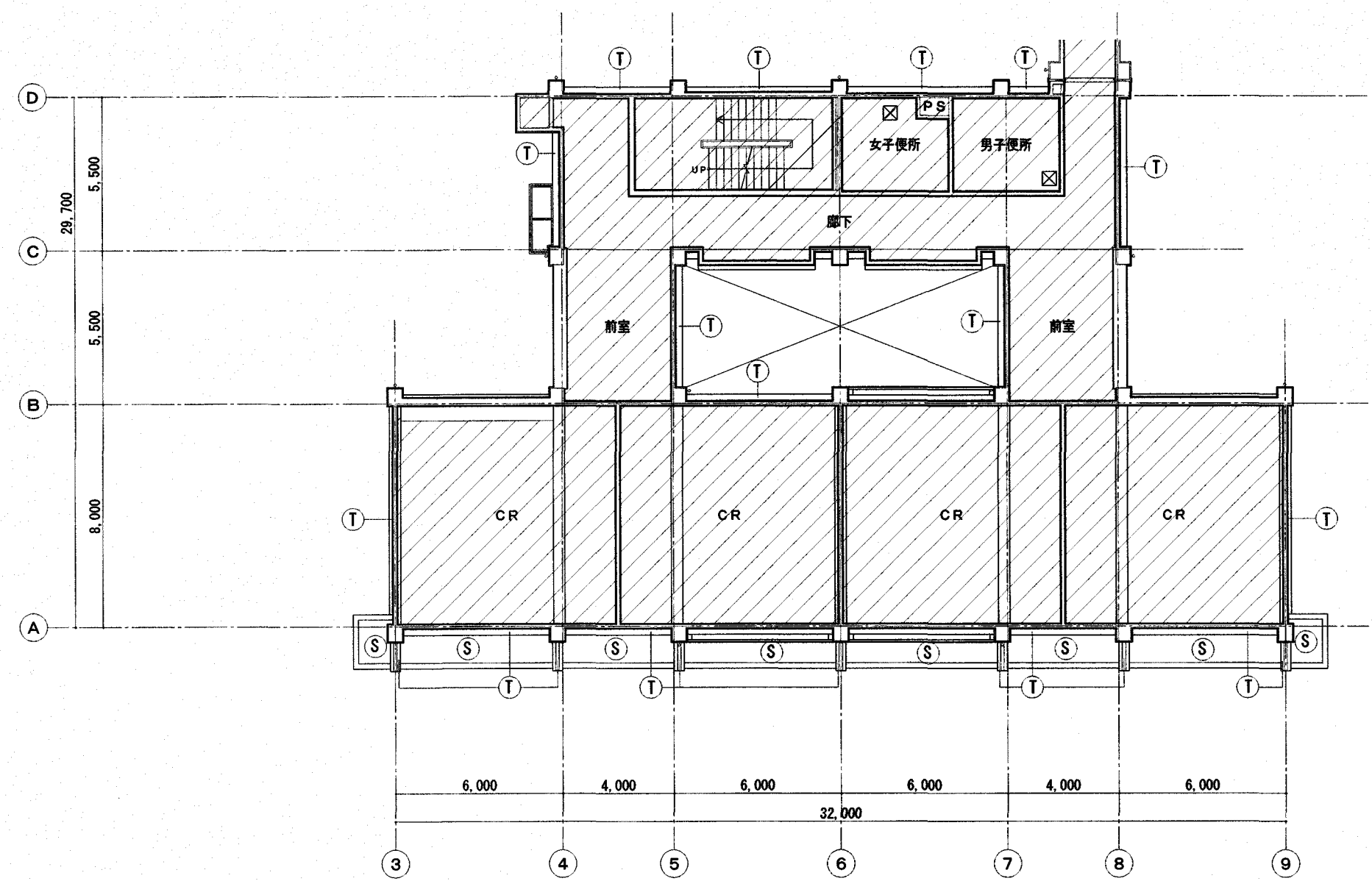
---工事範囲対象外



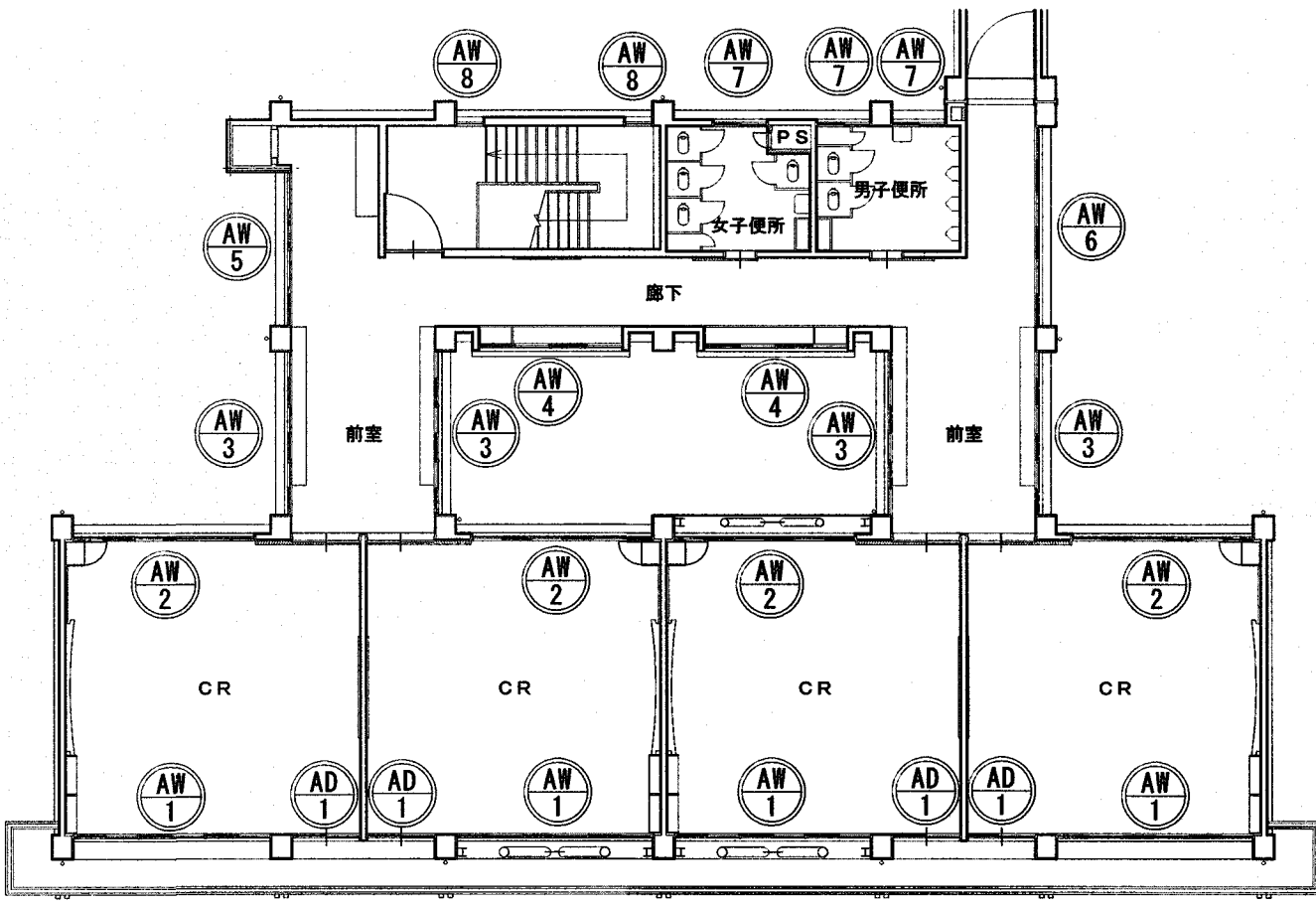
1階平面図 S=1/200



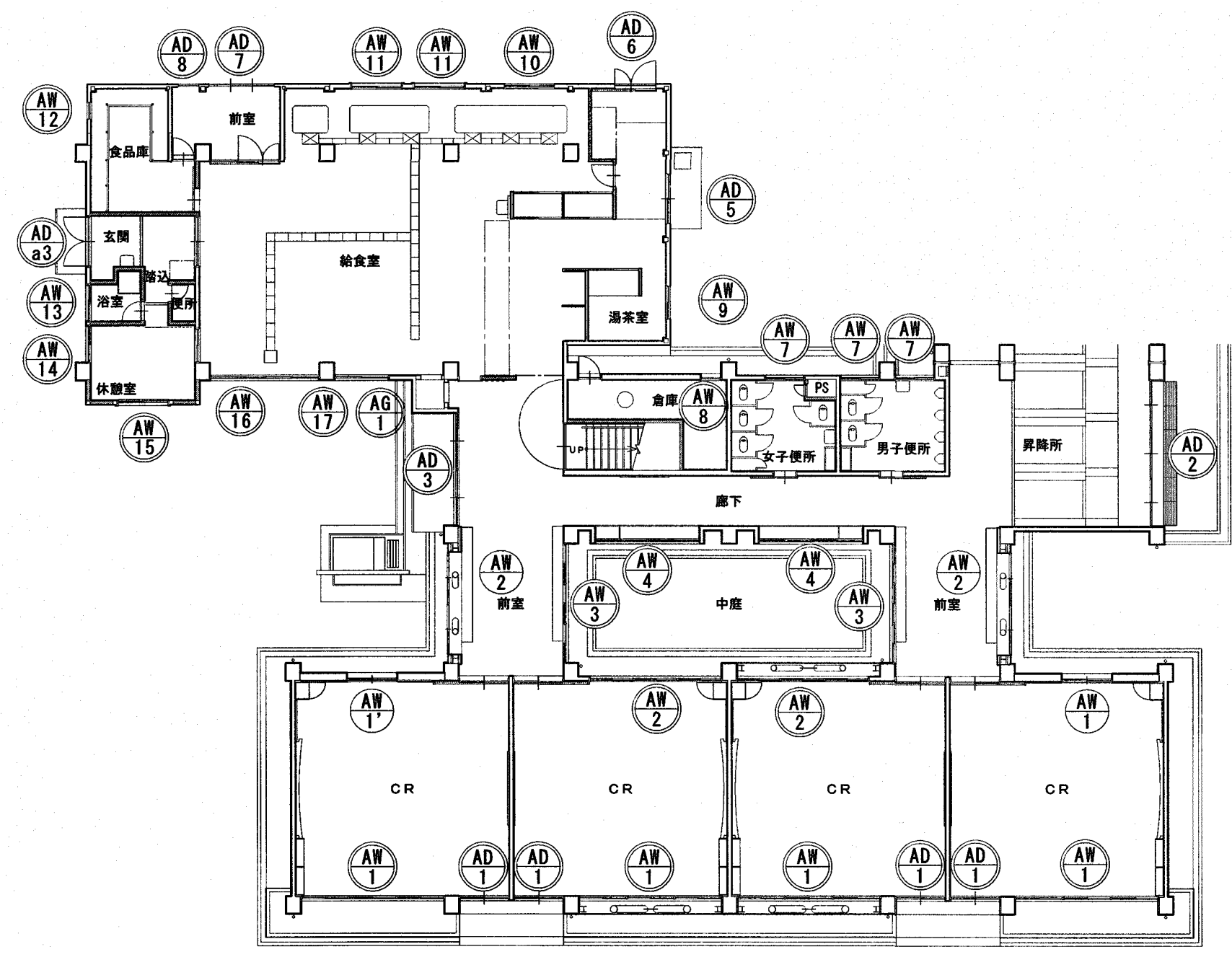
3階平面図 S=1/200



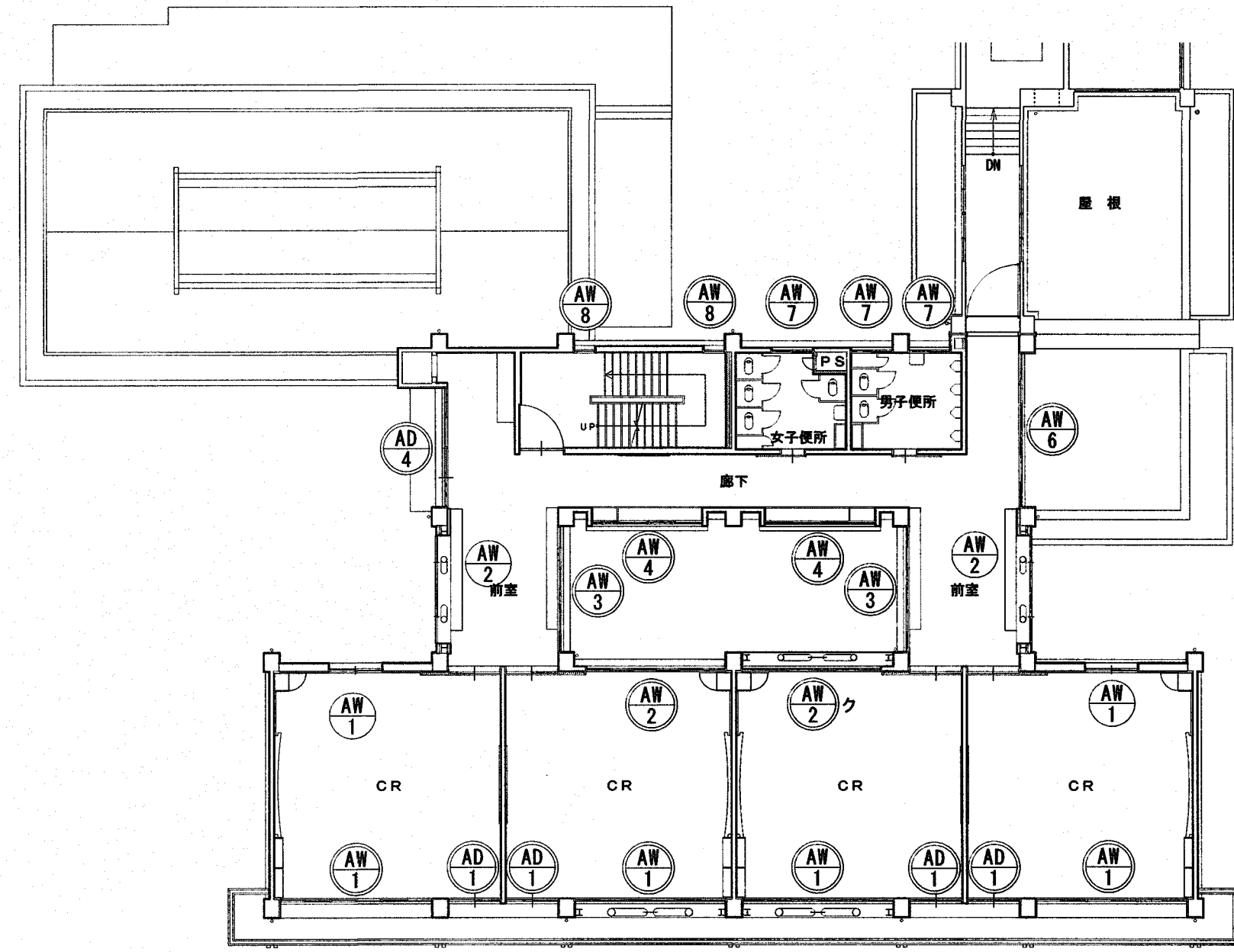
2階平面図 S=1/200



※外部建具廻りシーリング打替
3階平面図 S=1/200



※外部建具廻りシーリング打替
1階平面図 S=1/200



※外部建具廻りシーリング打替
2階平面図 S=1/200

高知市 都市建設部 公共建築課				工事名	大津小学校南東舎外壁改修工事	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
				図面名	建具配置図	縮尺	1/200	作図	令和 年 月 日	A-15

記号 番号	室名	数量	AD 1	C. R	1 F	4 F	2 F	4 F	3 F	4 F	合計	12	AD 2	昇降所	1 F	1 F	2 F	-	3 F	-	合計	1	AD 3	廊下	1 F	1 F	2 F	-	3 F	-	合計	1	AD 4	廊下	1 F	-	2 F	1 F	3 F	-	合計	1																																										
形状																																																																																				
材種	見込	アルミ欄間付引違い戸												アルミ欄間付3連引違い戸												アルミ欄間付2連引違い戸												アルミ欄間付2連引違い戸																																														
金物	クレセント												クレセント												クレセント												クレセント																																															
改修内容	改修前												改修後												改修前												改修後												改修前												改修後																							
	【ガラス撤去】												【ガラス新設】												【ガラス撤去】												【ガラス新設】												【ガラス撤去】												【ガラス新設】																							
	FL t=5.0、3.0 t=6.8部分が「スリット」撤去												T t=4.0 t=6.8部分が「スリット」新設												FL t=5.0 T t=4.0 t=6.8部分が「スリット」撤去												T t=4.0 t=6.8部分が「スリット」新設												PW t=6.8 一部撤去 PW t=6.8 撤去部分新設												FL t=5.0、3.0 T t=4.0																							
記号 番号	室名	数量	AW 1	C. R	1 F	4 F	2 F	4 F	3 F	4 F	合計	12	AW 2	C. R	1 F	2 F	2 F	2 F	3 F	4 F	合計	8	AW 3	前室	1 F	2 F	2 F	2 F	3 F	4 F	合計	8	AW 4	廊下	1 F	2 F	2 F	2 F	3 F	2 F	合計	6																																										
形状																																																																																				
材種	見込	アルミ欄間付3連引違い窓												アルミ欄間付3連引違い窓												アルミ欄間付3連引違い窓												アルミ欄間付2連引違い窓																																														
金物	クレセント												クレセント												クレセント												クレセント																																															
改修内容	改修前												改修後												改修前												改修後												改修前												改修後																							
	【ガラス撤去】												【ガラス新設】												【ガラス撤去】												【ガラス新設】												【ガラス撤去】												【ガラス新設】																							
	FL t=3.0												T t=4.0												FL t=3.0												T t=4.0												FL t=3.0												T t=4.0																							
記号 番号	室名	数量	AW 5	廊下	1 F	-	2 F	-	3 F	1 F	合計	1	AW 6	廊下	1 F	-	2 F	1 F	3 F	1 F	合計	2	AW 7	便所	1 F	3 F	2 F	2 F	3 F	3 F	合計	9	AW 8	倉庫・階段室	1 F	1 F	2 F	2 F	3 F	2 F	合計	5																																										
形状																																																																																				
材種	見込	アルミ欄間付2連引違い窓												アルミ欄間付3連引違い窓												アルミ欄間付2連引違い窓												アルミ2段スベリ出し窓																																														
金物	クレセント												クレセント												クレセント												クレセント																																															
改修内容	改修前												改修後												改修前												改修後												改修前												改修後																							
	【ガラス撤去】												【ガラス新設】												【ガラス撤去】												【ガラス新設】												【ガラス撤去】												【ガラス新設】																							
	FL t=3.0												T t=4.0												FL t=3.0 四方木製額縁 撤去												T t=4.0 四方木製額縁 (25×40 UC塗) 新設												F t=4.0												TF t=4.0																							
建具符号	SD 鋼製戸 SW 鋼製窓 LSD 鋼製軽量戸 AD アルミ戸 AW アルミ窓 WD 木製戸 WW 木製窓 F ふすま S 障子 TB トイレブース PT パーティション SS シャッター OS オーバースライダー												防火戸種別 特 特定防火設備 防 防火設備 常閉 常時閉鎖式 ヒューズ 温度ヒューズ連動 煙感 煙感知器連動 進 非常用進入口 排煙 排煙窓												枠の形状 A B C D E F G H I J												柵の形状 A B C D E F G H I J												ガラの形状 A B C D E F G H I J												ガラス略号 FL フロートガラス F 型板ガラス FW 網入り型板ガラス PW 網入り磨き板ガラス L 合わせガラス T 学校用強化ガラス TF 学校用型板強化ガラス HFL 熱線吸収フロート板ガラス HPW 熱線吸収網入り磨き板ガラス AP アルミパネル												※建具金物 DC ドアークローザー FH フロアヒンジ DT 押引手 CB シリンダー錠 C ステンレスT番 O フランス落とし PH ビボットヒンジ L レバーハンドル LA レバーハンドル錠 T 戸当り											
高知市 都市建設部 公共建築課												工事名 大津小学校南東舎外壁改修工事												保 係長 課長補佐 課長 図面番号 A-16																																																												
図面名 建具リスト (1) 【参考図】												縮尺 1/50												作図 年 月 日																																																												

【参考図】

記号 番号	室名	数量	WD 1	C. R	1 F	4 F	2 F	4 F	3 F	4 F	合計	12	AD 5	給食受取口	合計	1	AD 6	給食受取口	合計	1	AW 9	湯茶室	合計	1																																																																																				
形 状																																																																																																												
材 種	見 込	欄間付引違い戸												70	腰アルミパネル付引違い戸												70	腰アルミパネル付親子ドア												70	引違い戸												70																																																							
金 物	クレセント																																																																																																											
改 修 内 容	改 修 前												改 修 後																																																																																															
	【ガラス撤去】 FL t=2.0												【ガラス新設】 T t=4.0 ガラス押入新設																																																																																															
記号 番号	室名	数量	AW 10	給食室	合計	1	AW 11	給食室	合計	2	AW 12	食品庫	合計	1	AW 13	給食室風呂	合計	1	AW 14	給食休憩室	合計	1																																																																																						
形 状																																																																																																												
材 種	見 込	下段可動ガラリ付き引違い窓												70	引違い窓												70	ガラスルーバーサッシ												70	引違いガラス窓												70	引違いガラス窓												70																																										
金 物	クレセント、戸車、内部アルミ額縁四方、外部アルミ水切プレート四方																																																																																																											
改 修 内 容	改 修 前												改 修 後												改 修 前												改 修 後												改 修 前												改 修 後												改 修 前												改 修 後																							
記号 番号	室名	数量	AW 15	浴室	合計	1	AW 16	給食室	合計	1	AW 17	給食室	合計	1	AG 1	給食室	合計	1																																																																																										
形 状																																																																																																												
材 種	見 込	引違い窓												70	2段引違い2連窓												70	2段引違い窓												70	可動ガラリ												70																																																							
金 物	付属金物一式																																																																																																											
改 修 内 容	改 修 前												改 修 後												改 修 前												改 修 後												改 修 前												改 修 後																																															

建具符号

SD 鋼製戸
LSD 鋼製軽量戸
AD アルミ戸
WD 木製戸
F ふすま
S 障子
TB トイレブース
PT パーティション
SS シャッター
OS オーバースライダー

SW 鋼製窓
AW アルミ窓
WW 木製窓

防火戸種別

特 特定防火設備
防 防火設備

常閉 常時閉鎖式
ヒューズ 温度ヒューズ連動
煙感 煙感知器連動

進 非常用進入口
排煙 排煙窓

枠の形状

A B C
D E
F G H
I J

杓摺の形状

A B C
D F

ガラリの形状

A B
C

ガラス略号

FL フロートガラス
F 型板ガラス
FW 網入り型板ガラス
PW 網入り磨き板ガラス
L 合わせガラス
T 学校用強化ガラス
TF 学校用型板強化ガラス
HFL 熱線吸収フロート板ガラス
HPW 熱線吸収網入り磨板ガラス
AP アルミパネル

※建具金物

DC ドアクローザー
FH フロアヒンジ
DT 押引手
CB シリンダー錠
C ステンレス丁番
O フランス落とし
PH ピボットヒンジ
L レバーハンドル
LA レバーハンドル錠
T 戸当り

【参考図】

工事名
大津小学校南東舎外壁改修工事

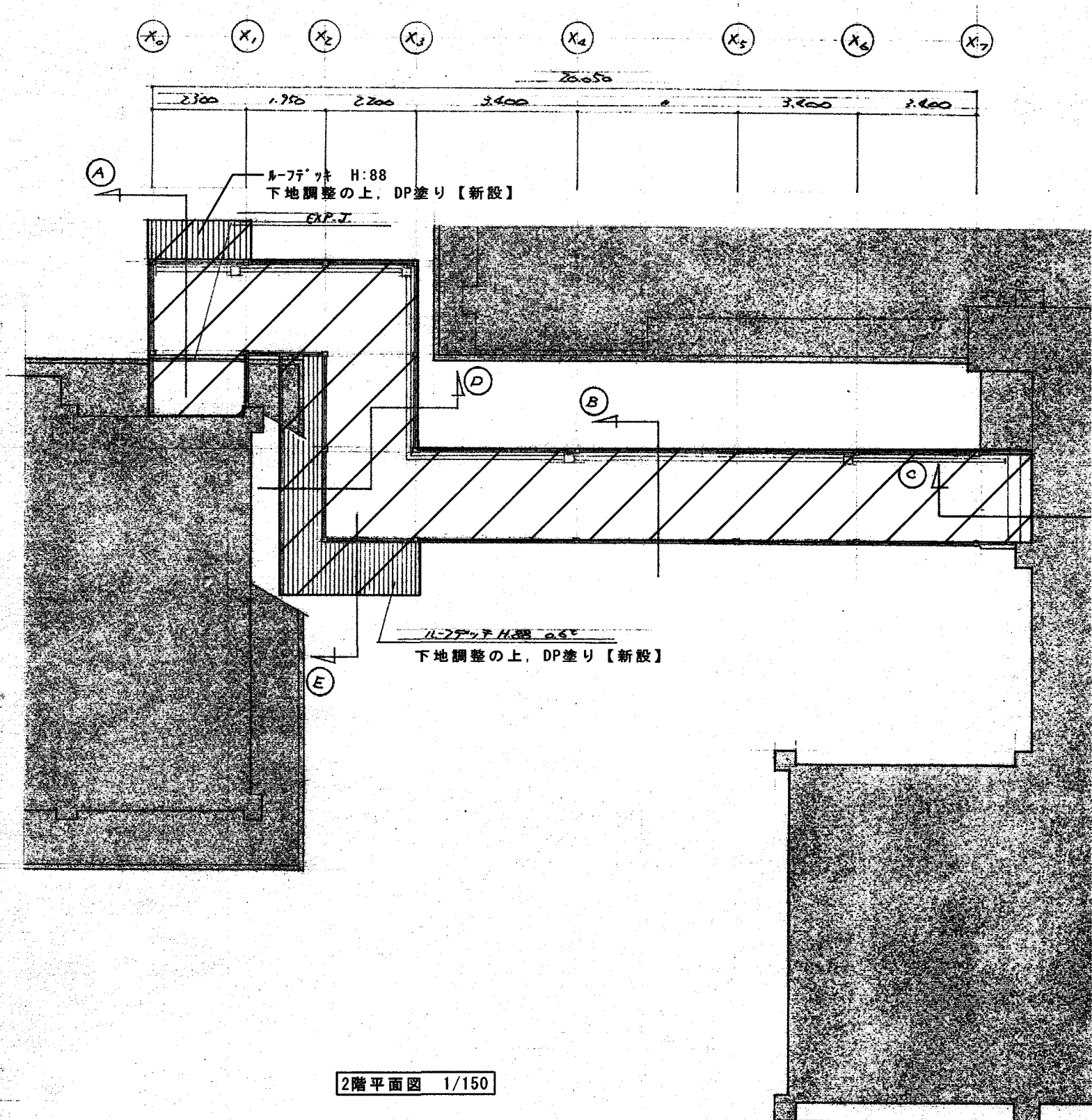
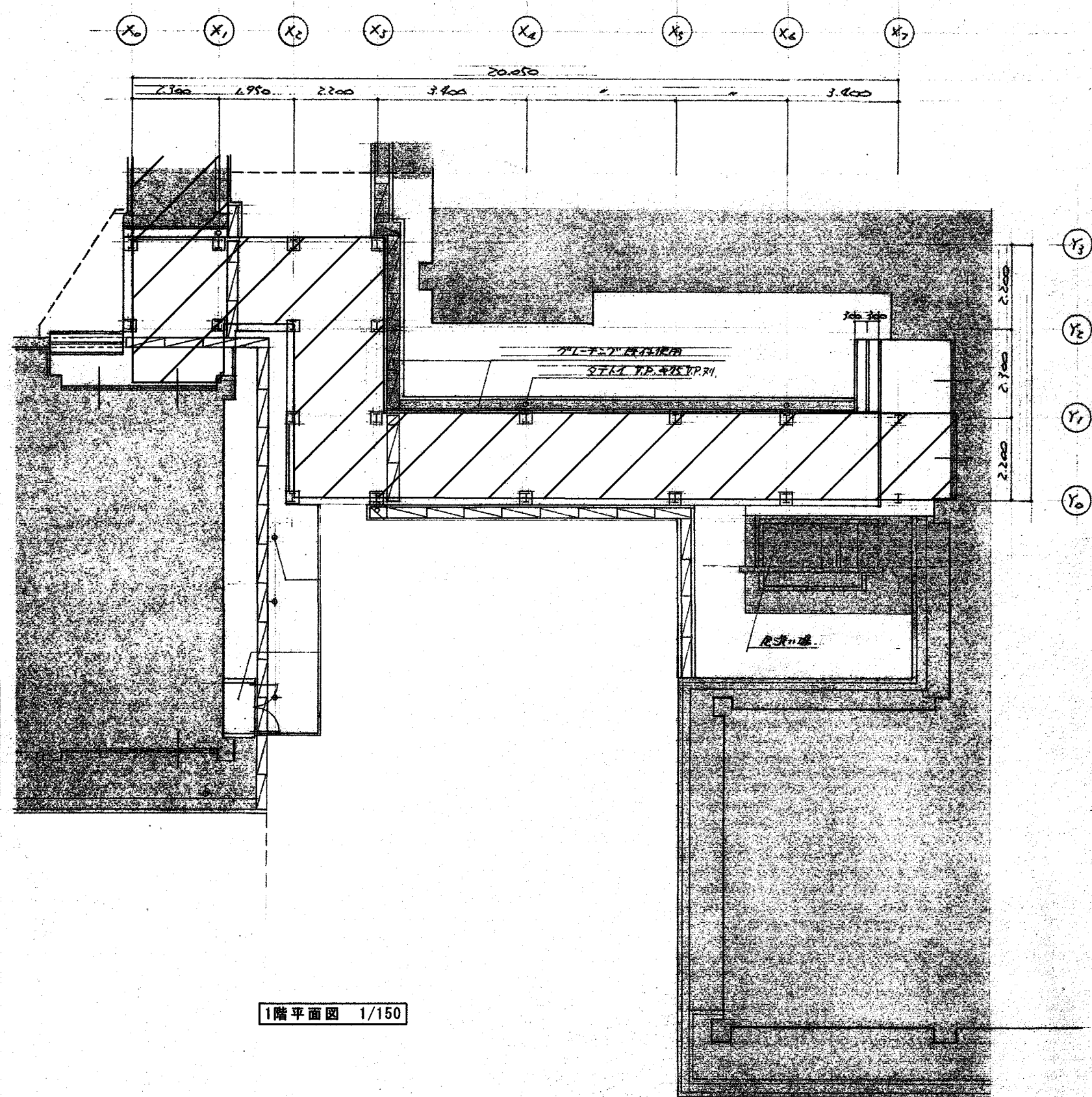
図面名
建具リスト(2)【参考図】

縮尺
1/50

作図
年 月 日

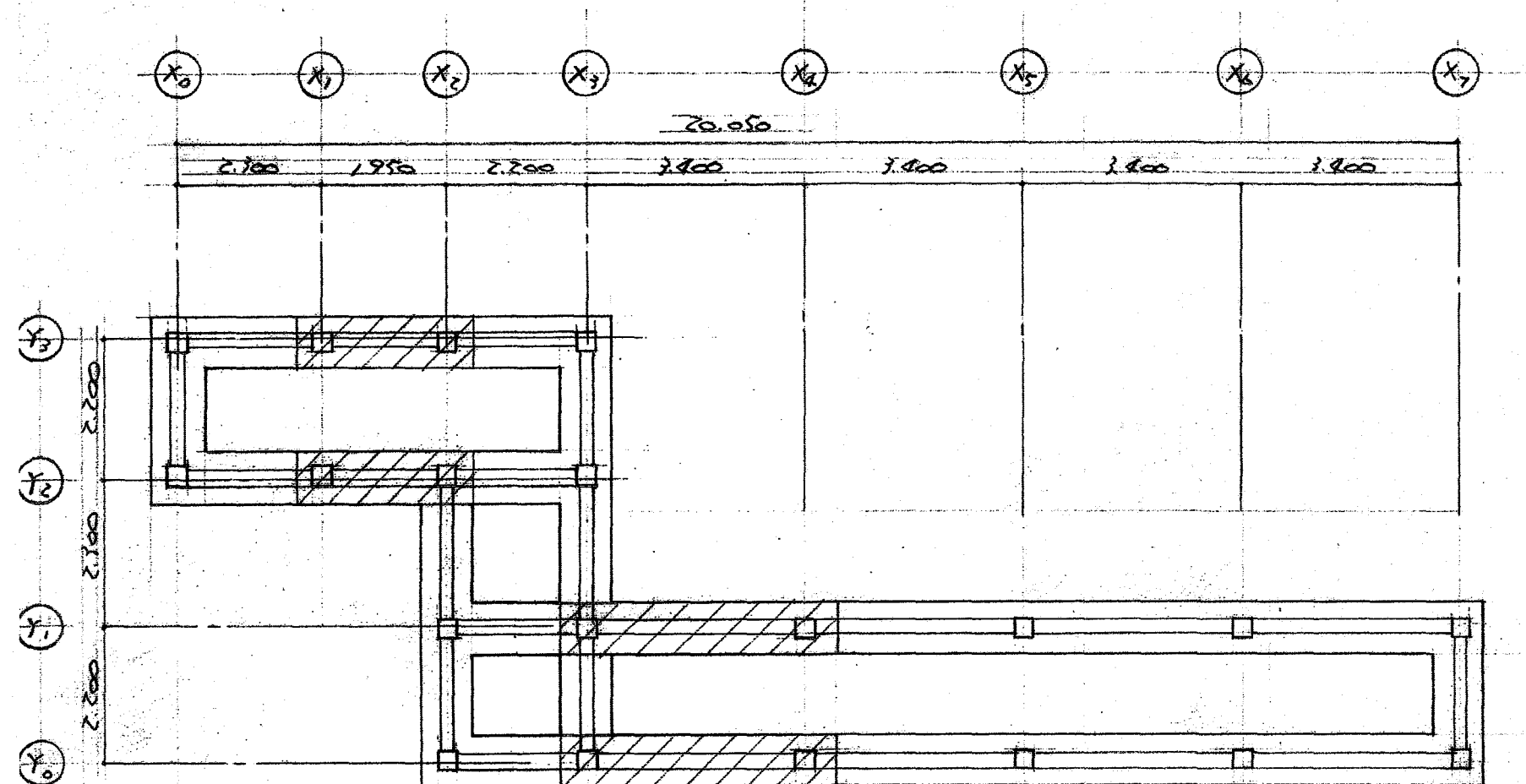
関係者
係 係長 課長補佐 課長
図面番号
A-17

[illegible]

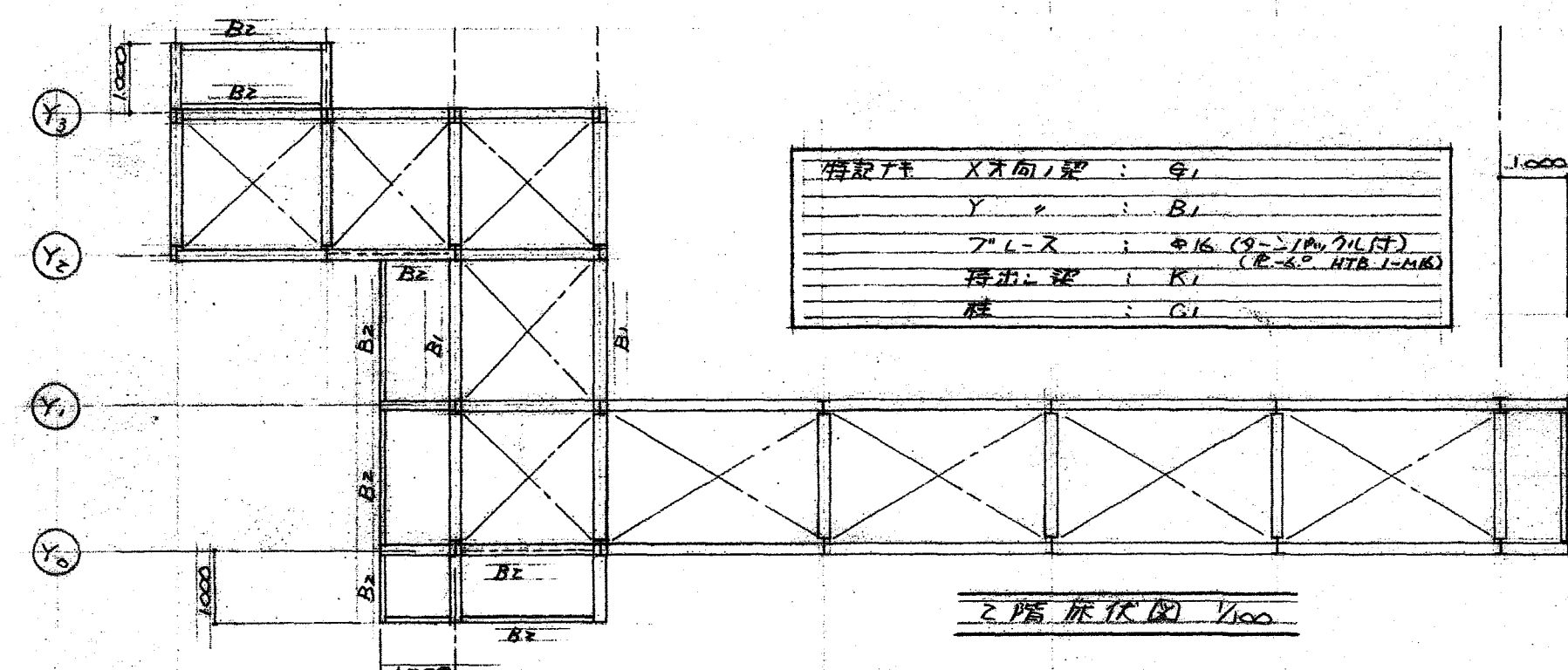


...渡り廊下改修範囲

【】 無きものは既存のままとする		高知市 都市建設部 公共建築課	工 事 名		係	係 長	課長補佐	課 長	図面番号
鉄骨部全て下地調整の上, DP塗り【新設】			大津小学校南東舎外壁改修工事						A-20
			図 面 名 南側渡り廊下平面図 縮 尺 1 /150		作 図 令 和 年 月 日				

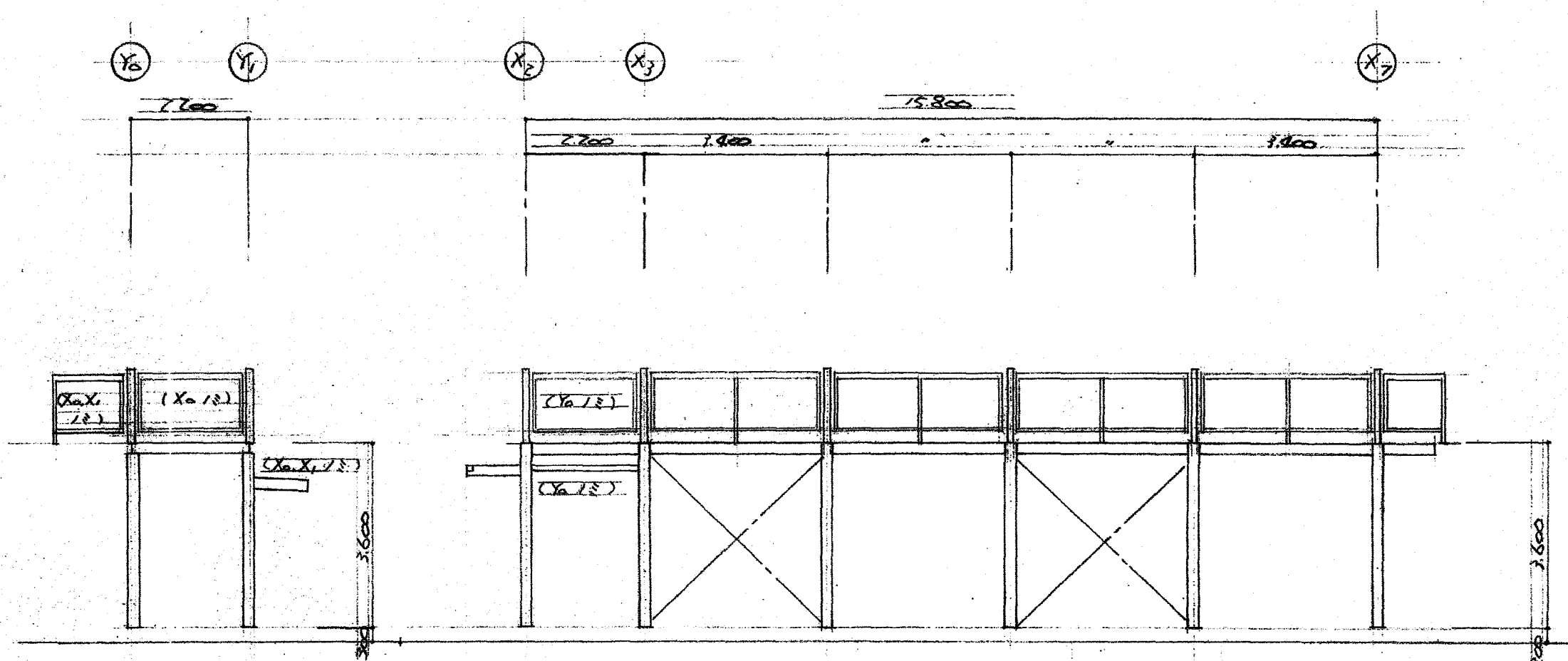


基礎伏図 Y100



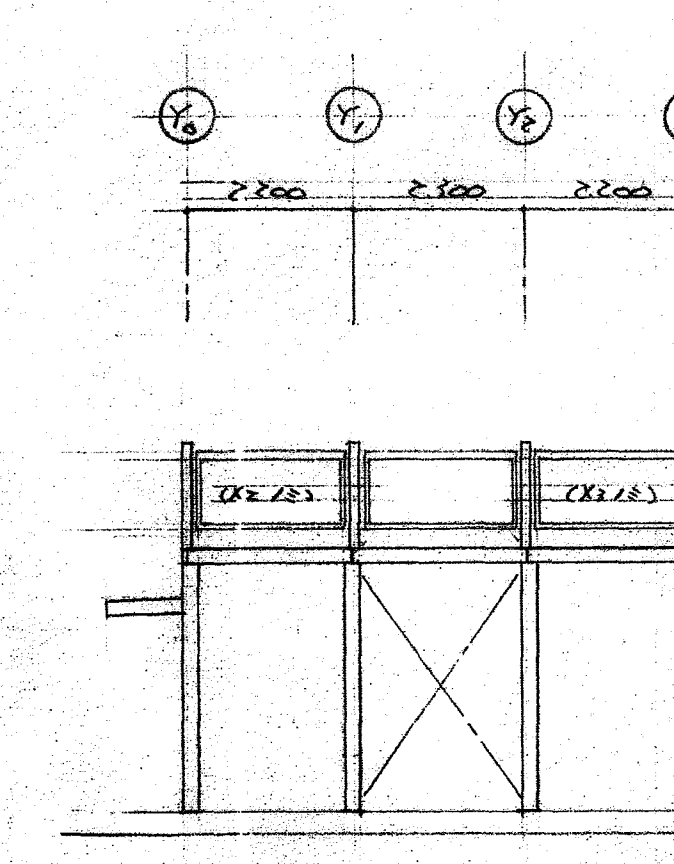
2階床伏図 Y100

特記	X方向/梁	G1
	Y方向/梁	B1
	アールス	φ16 (9-1/2" x 1/2")
	持ち出し梁	K1 (E-60 HTB 1-MK)
	柱	C1

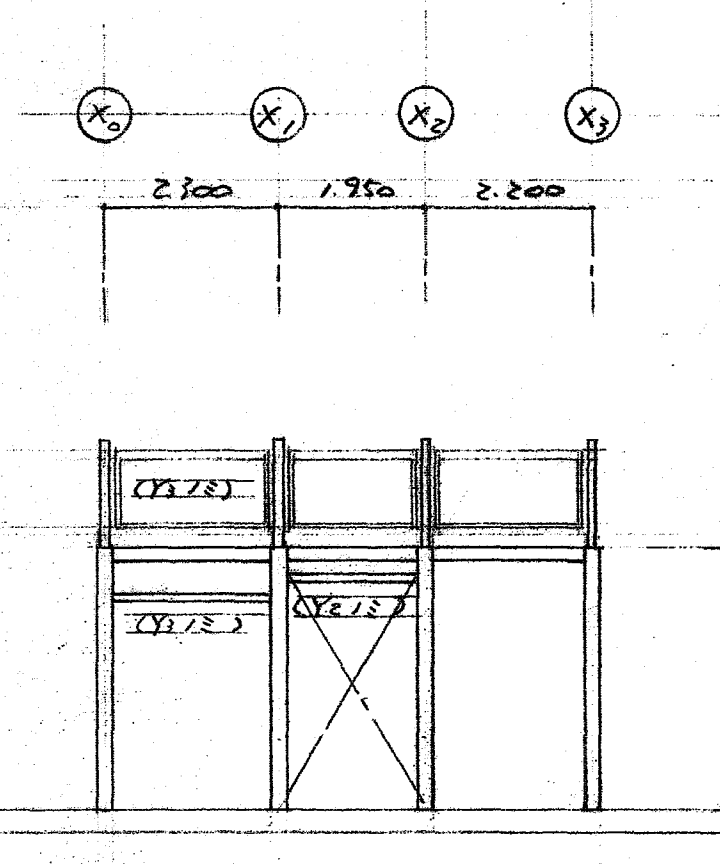


基礎伏図 Y100

基礎伏図 Y100



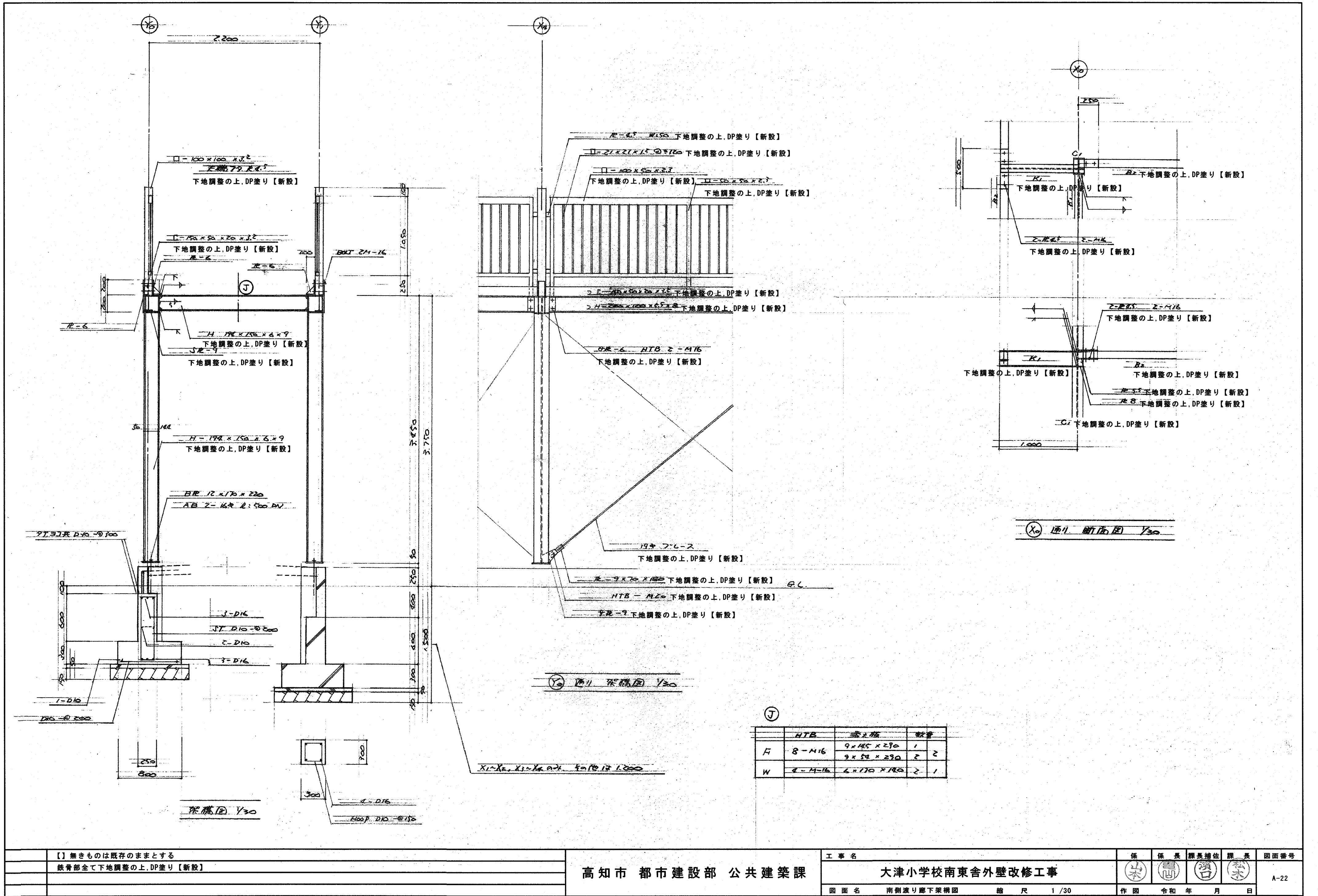
2階床伏図 Y100

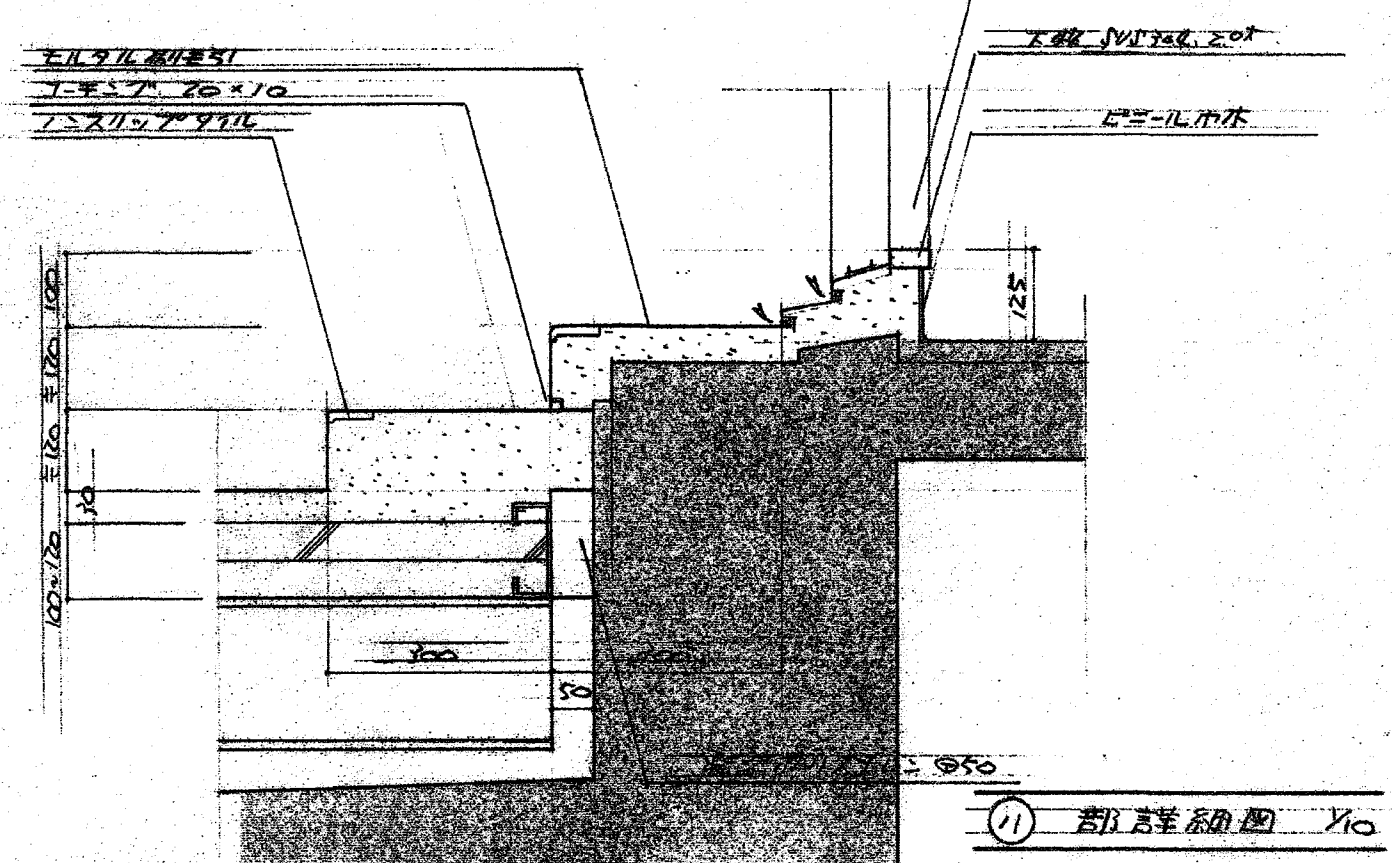
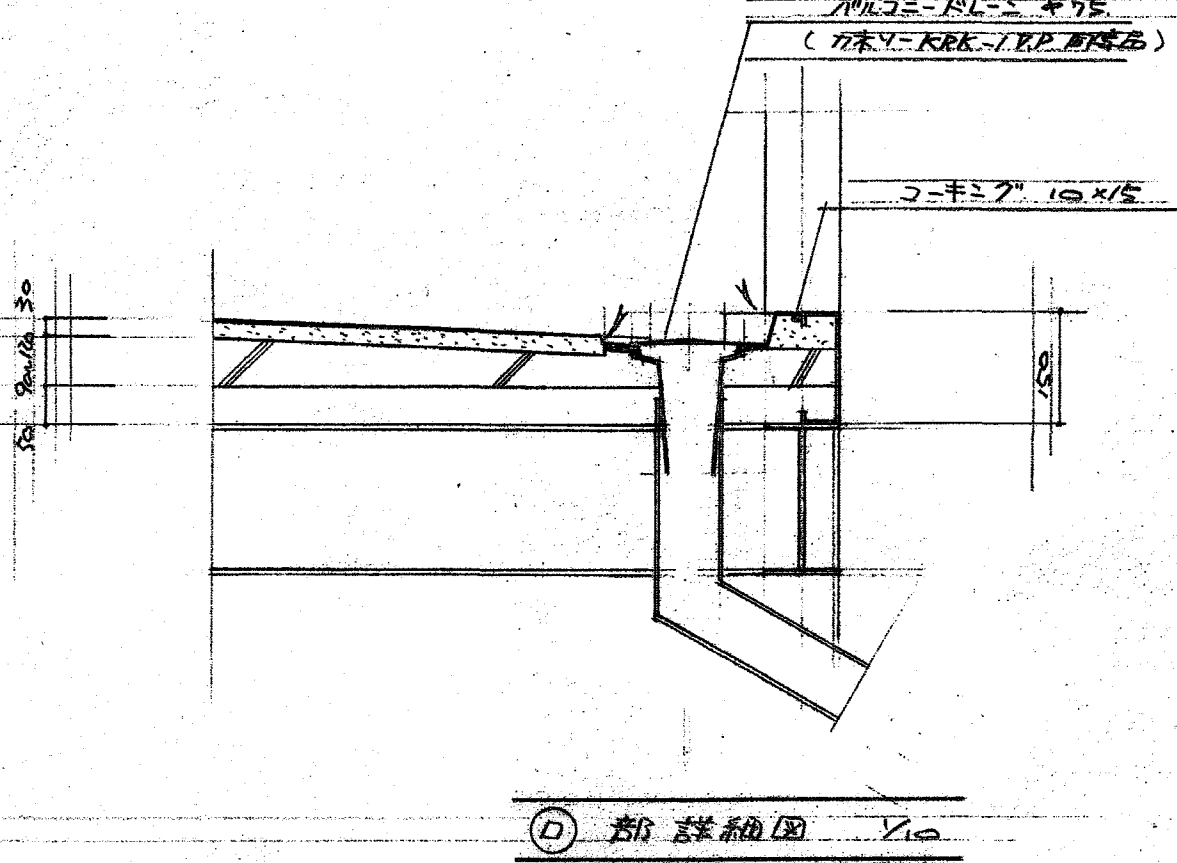
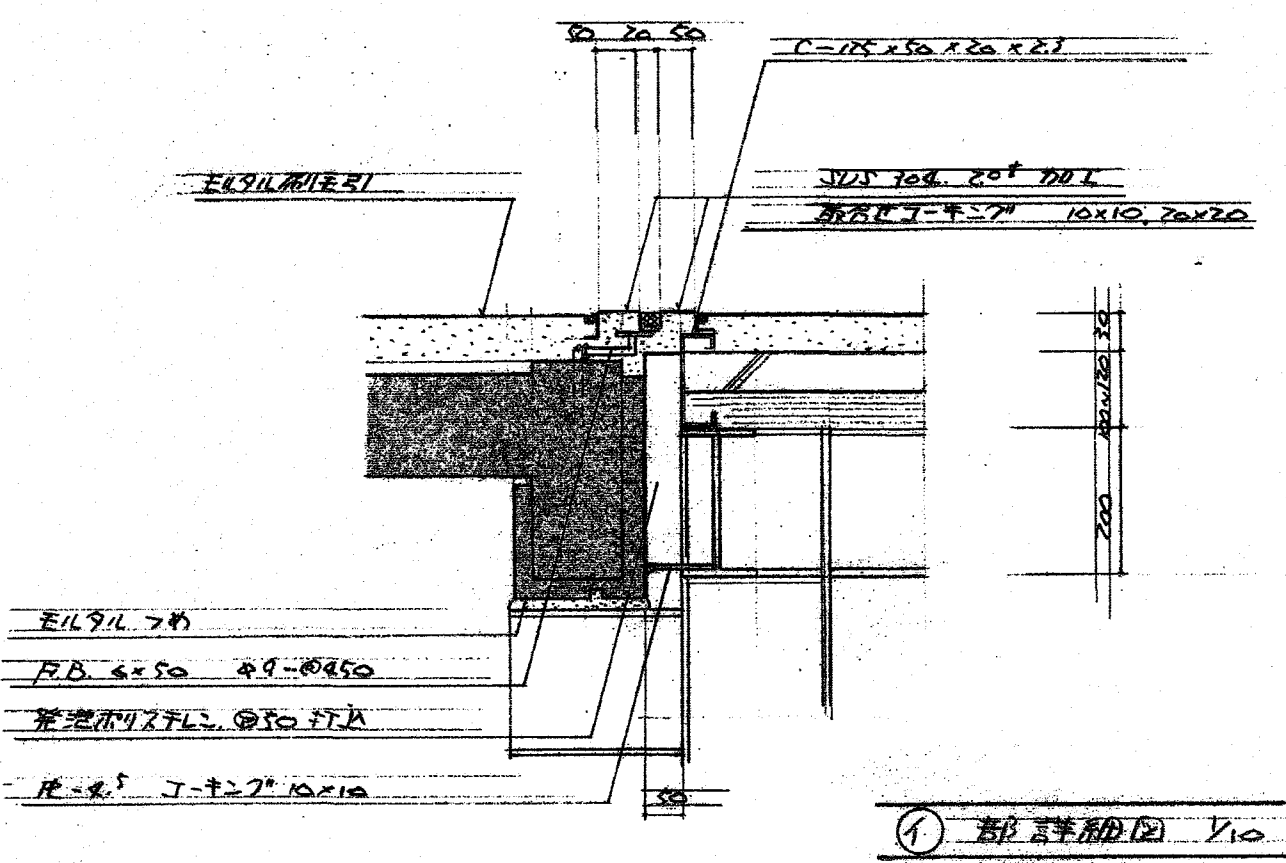
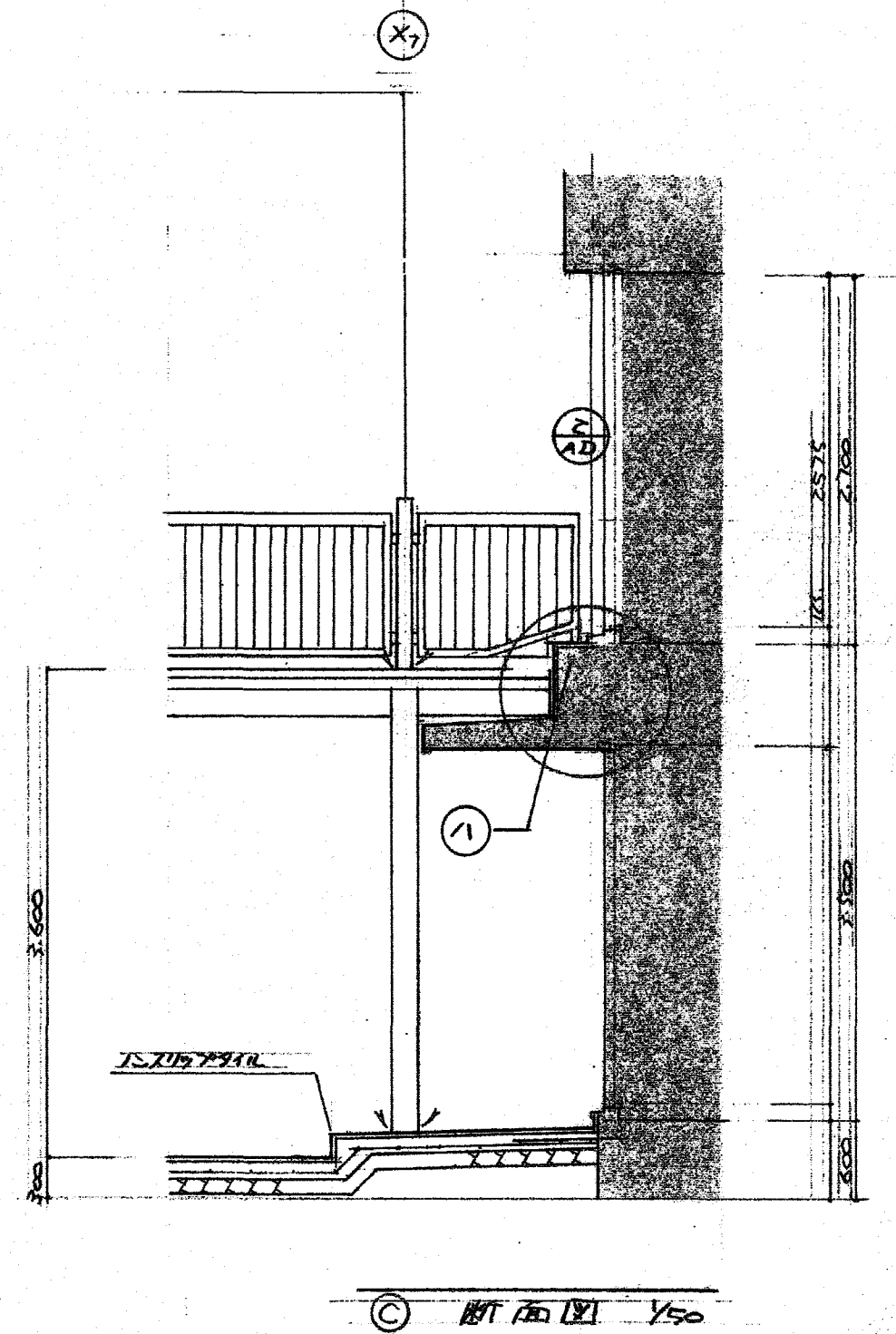
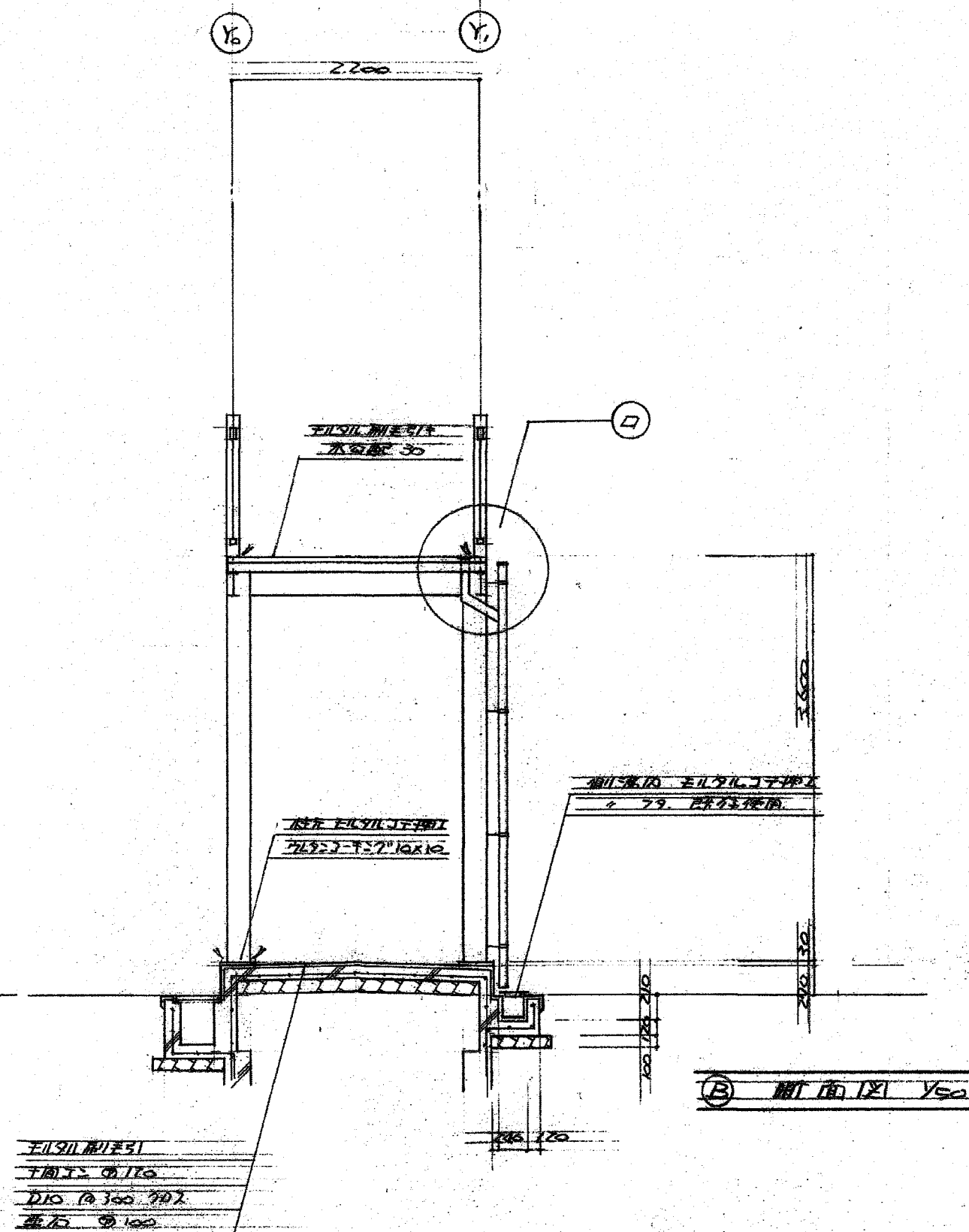
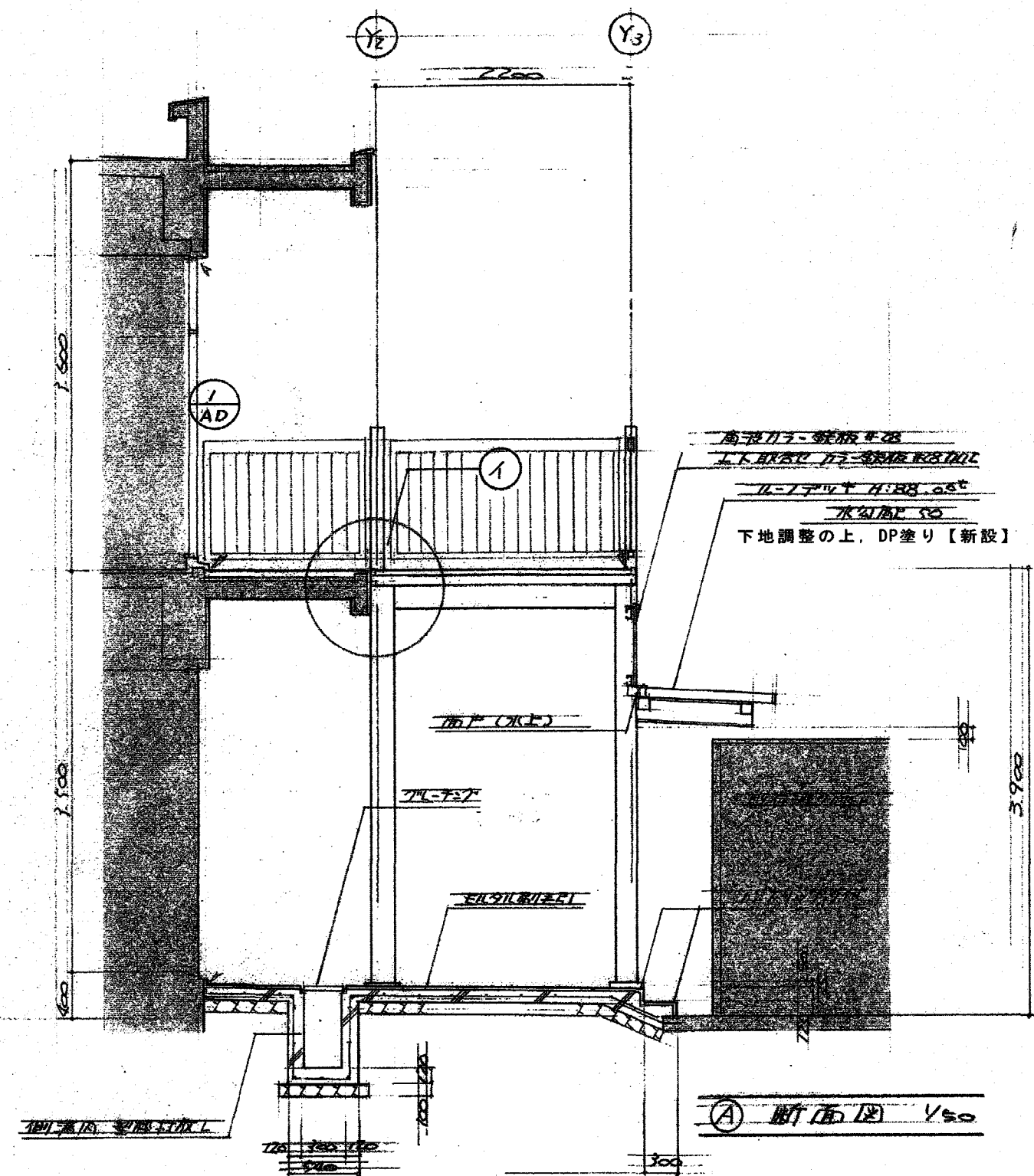


2階床伏図 Y100

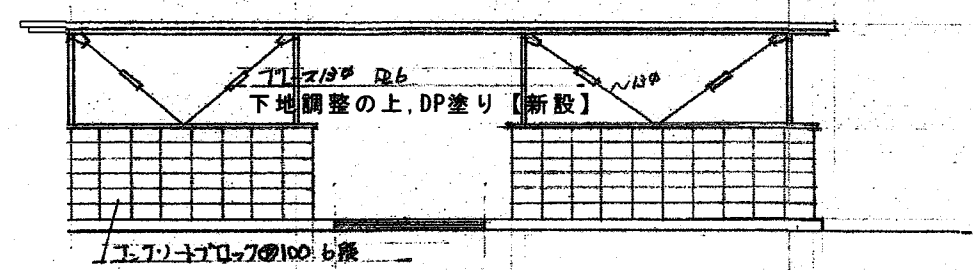
1階 軸組	アールス	φ19 (9-1/2" x 1/2")
		下地調整の上, DP塗り【新設】

記号	柱梁リスト
C1	H-194×150×6×9 下地調整の上, DP塗り【新設】
G1	H-194×150×6×9 下地調整の上, DP塗り【新設】
B1	H-200×100×5.5×8 下地調整の上, DP塗り【新設】
B2	□-100×100×3.2 下地調整の上, DP塗り【新設】
K1	H-200×100×5.5×8 下地調整の上, DP塗り【新設】

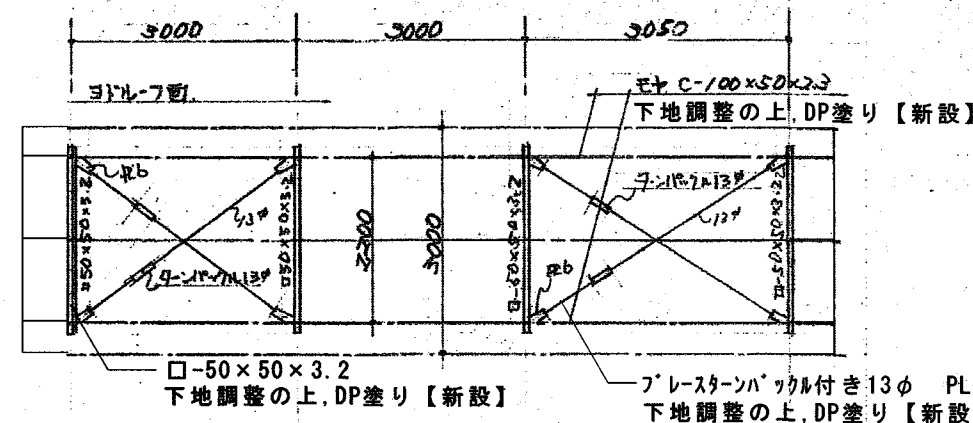




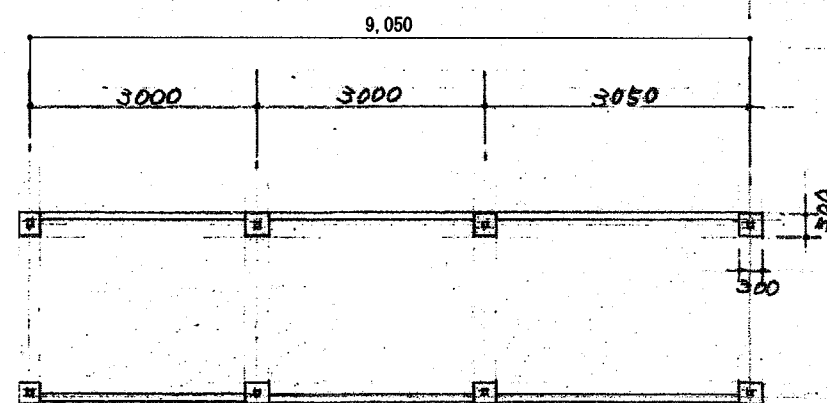
【】無きものは既存のままとする				工事名				係	係長	課長補佐	課長	図面番号
鉄骨部全て下地調整の上、DP塗り【新設】				高知市 都市建設部 公共建築課				大津小学校南東舎外壁改修工事	令和	年	月	日
				図面名				南側渡り廊下断面図 (1)				
				縮尺				1/10, 50				A-23



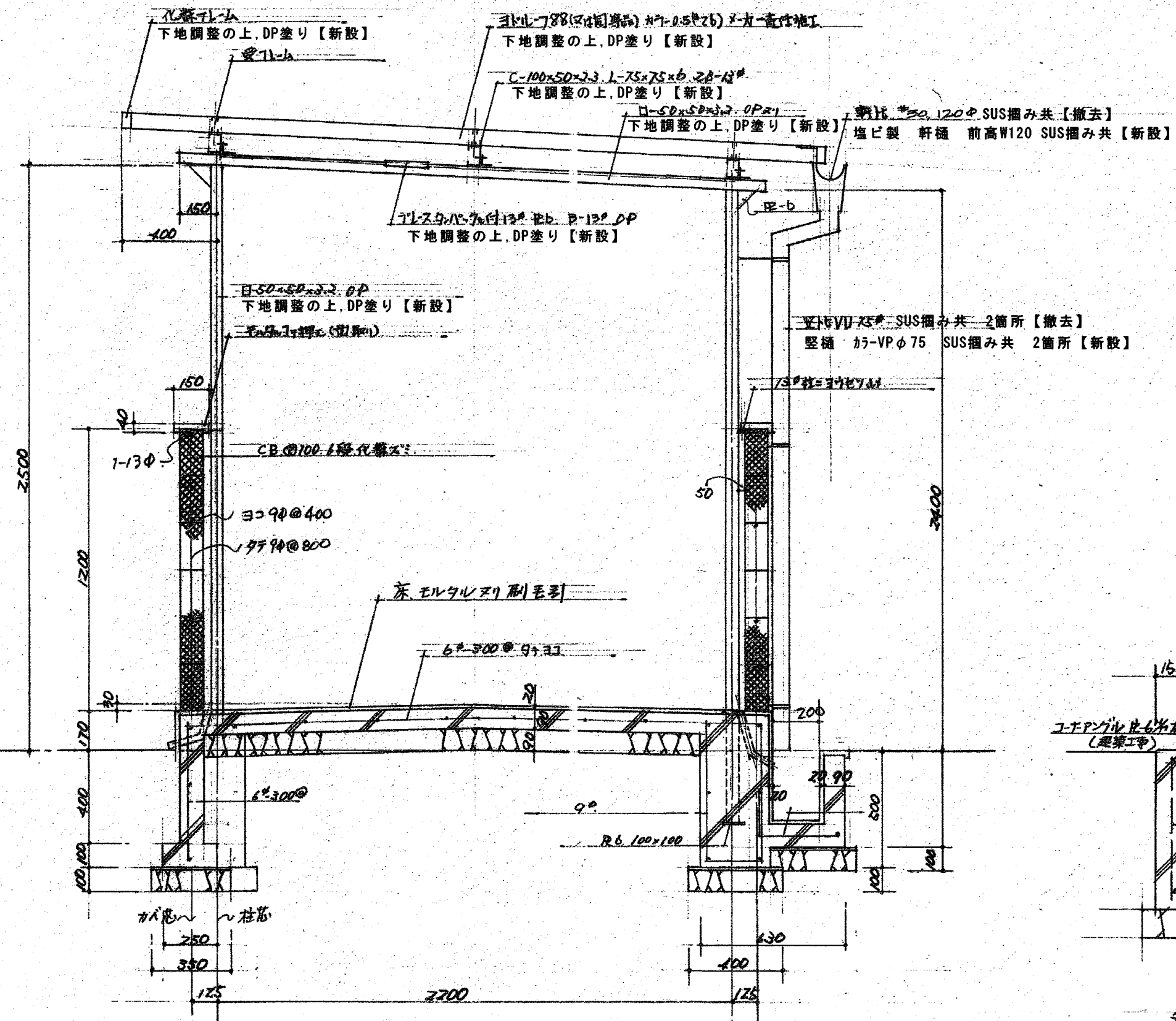
窓図 1/100



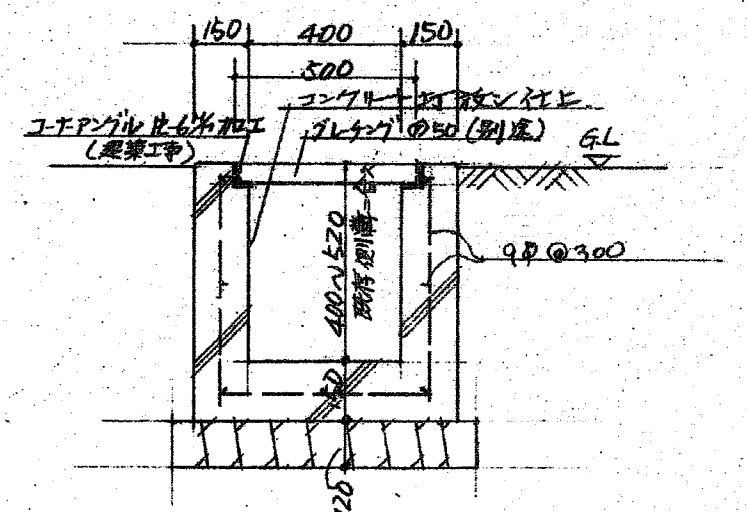
小屋伏図 1/100



基礎伏図 1/100

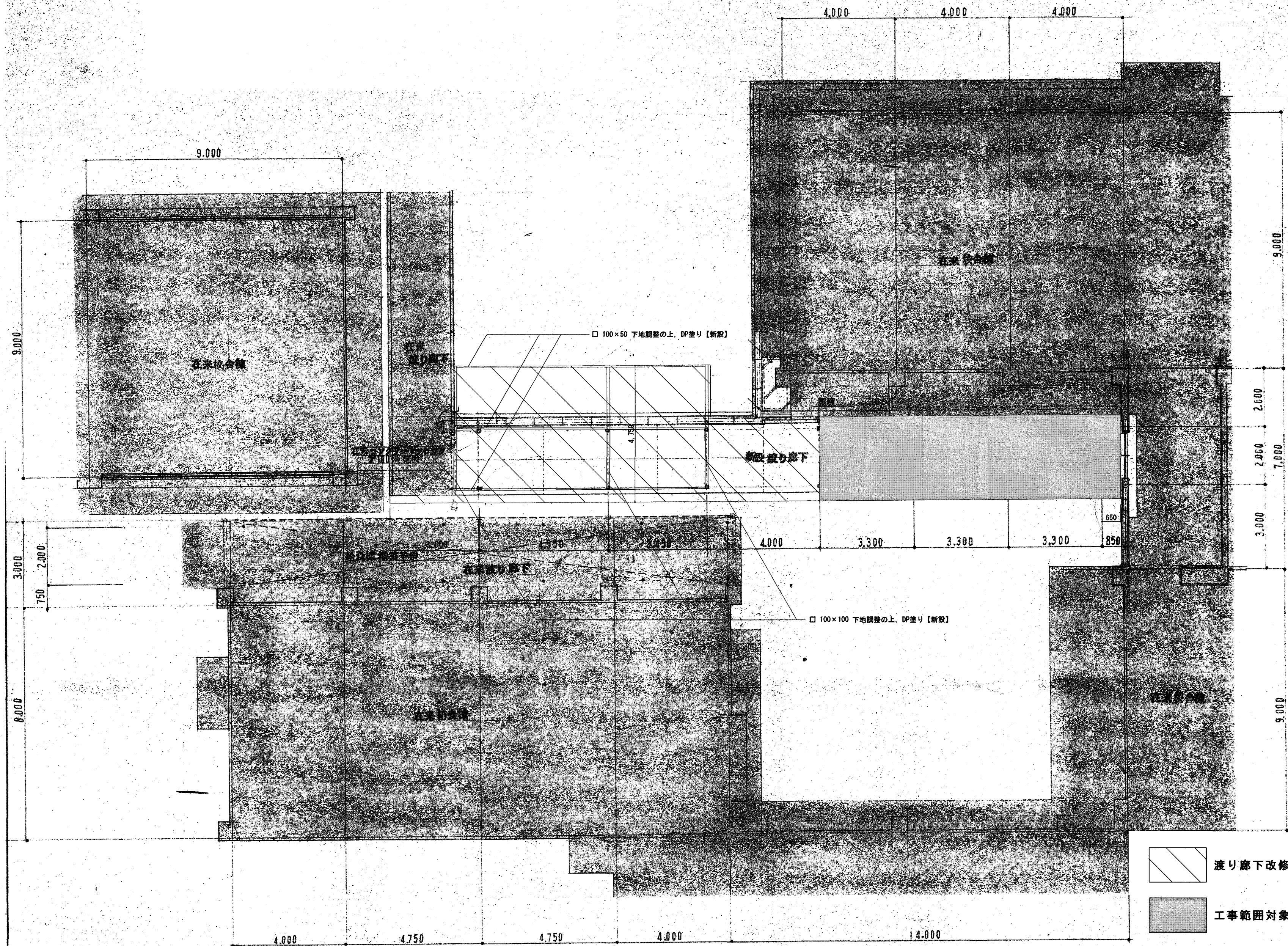


詳細図矩計 1/20



外構詳細 1/20
(延: 95m)

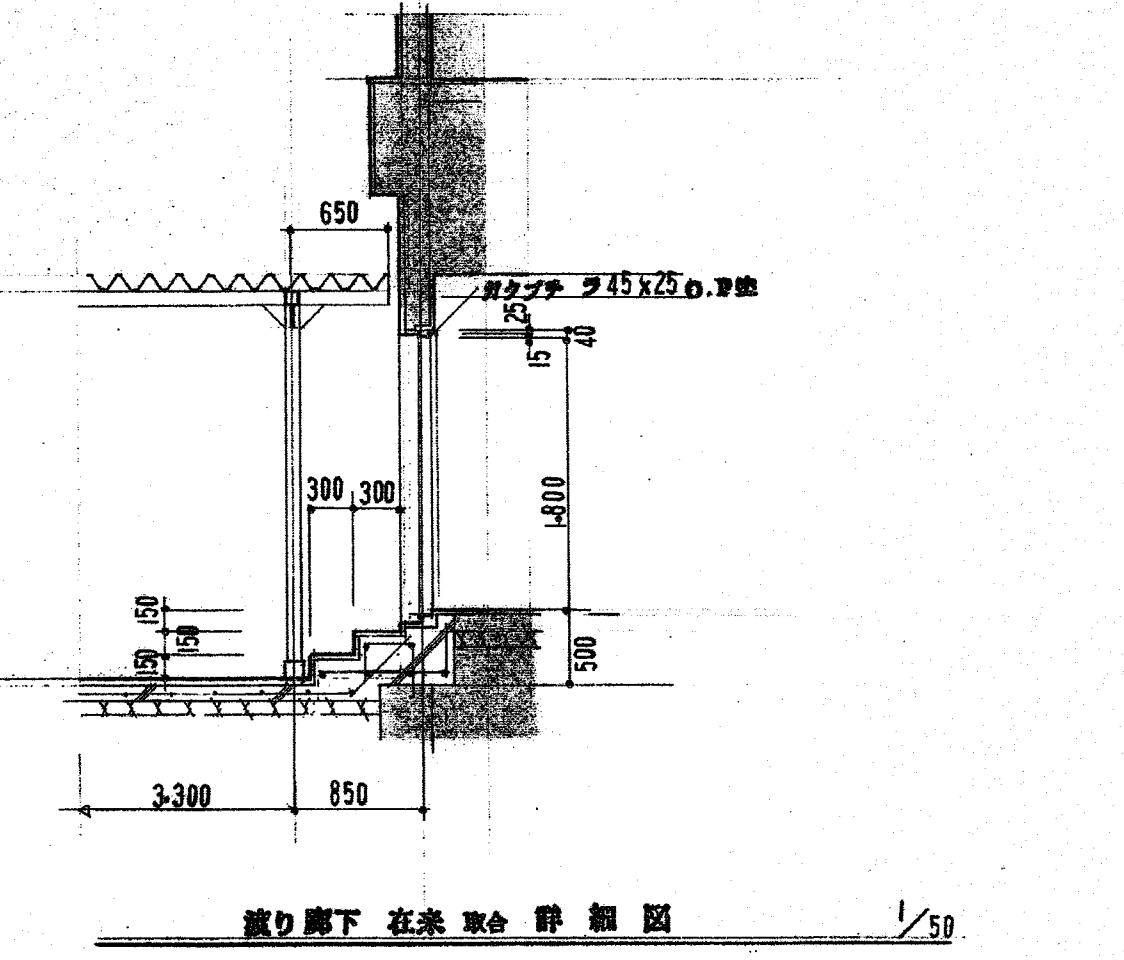
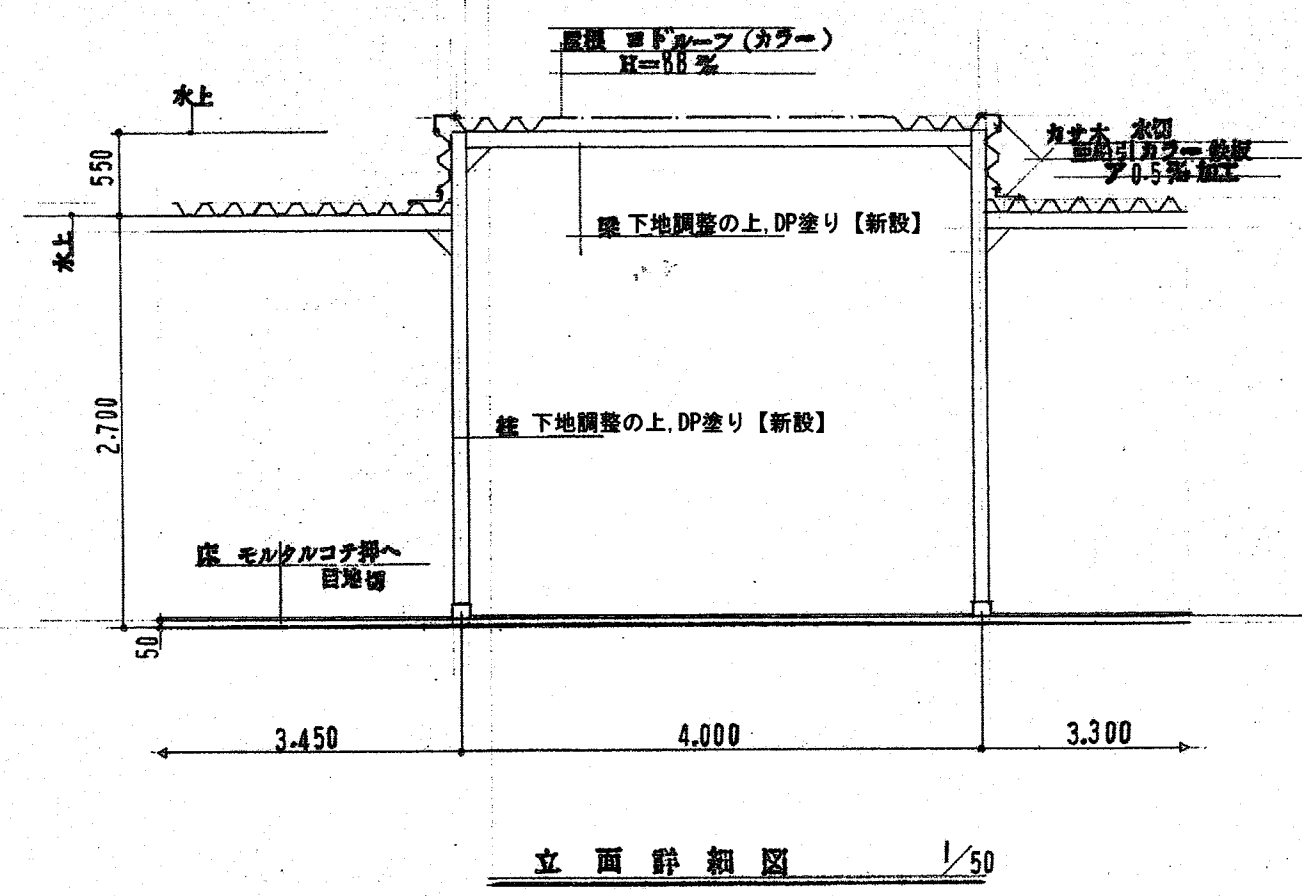
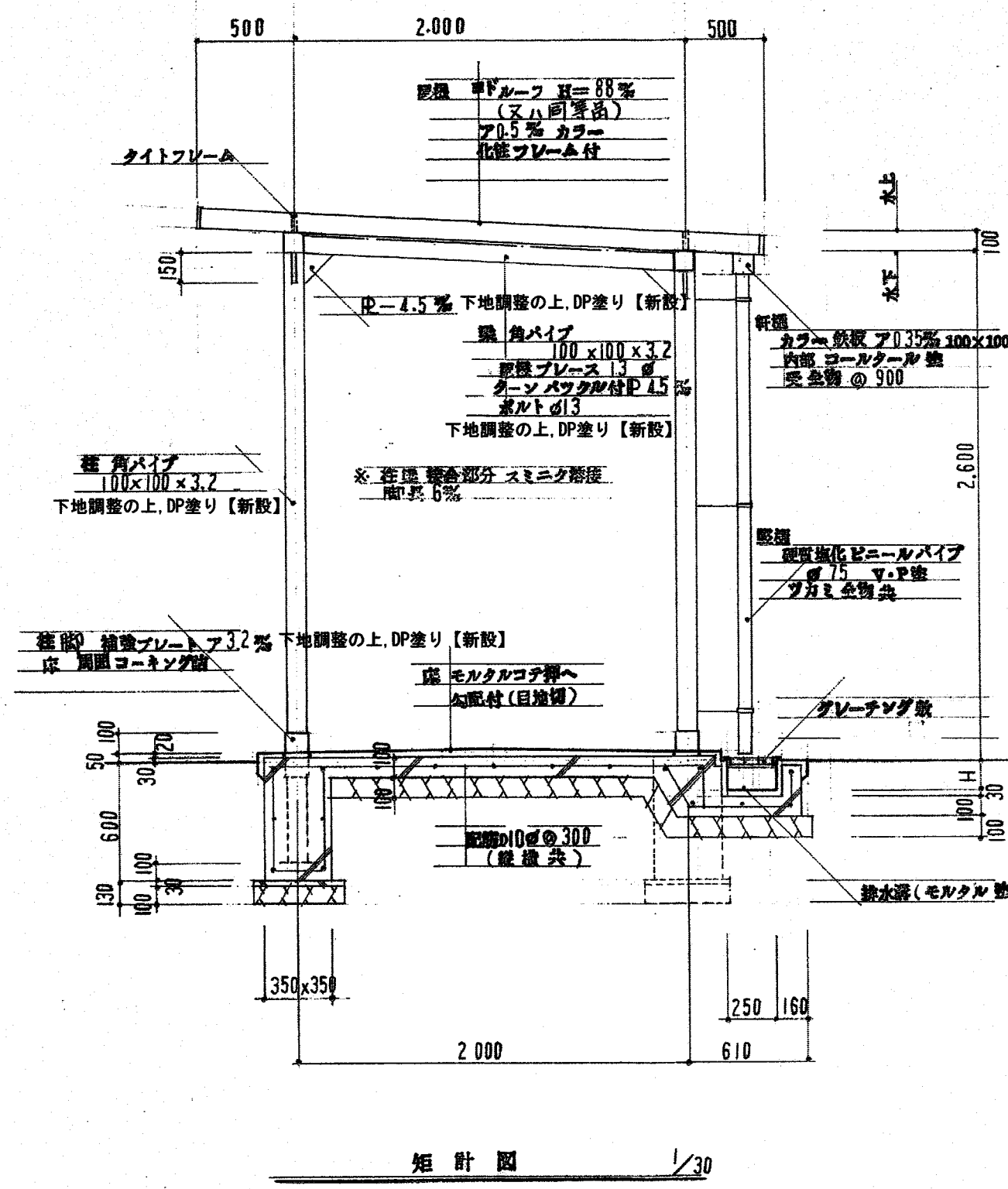
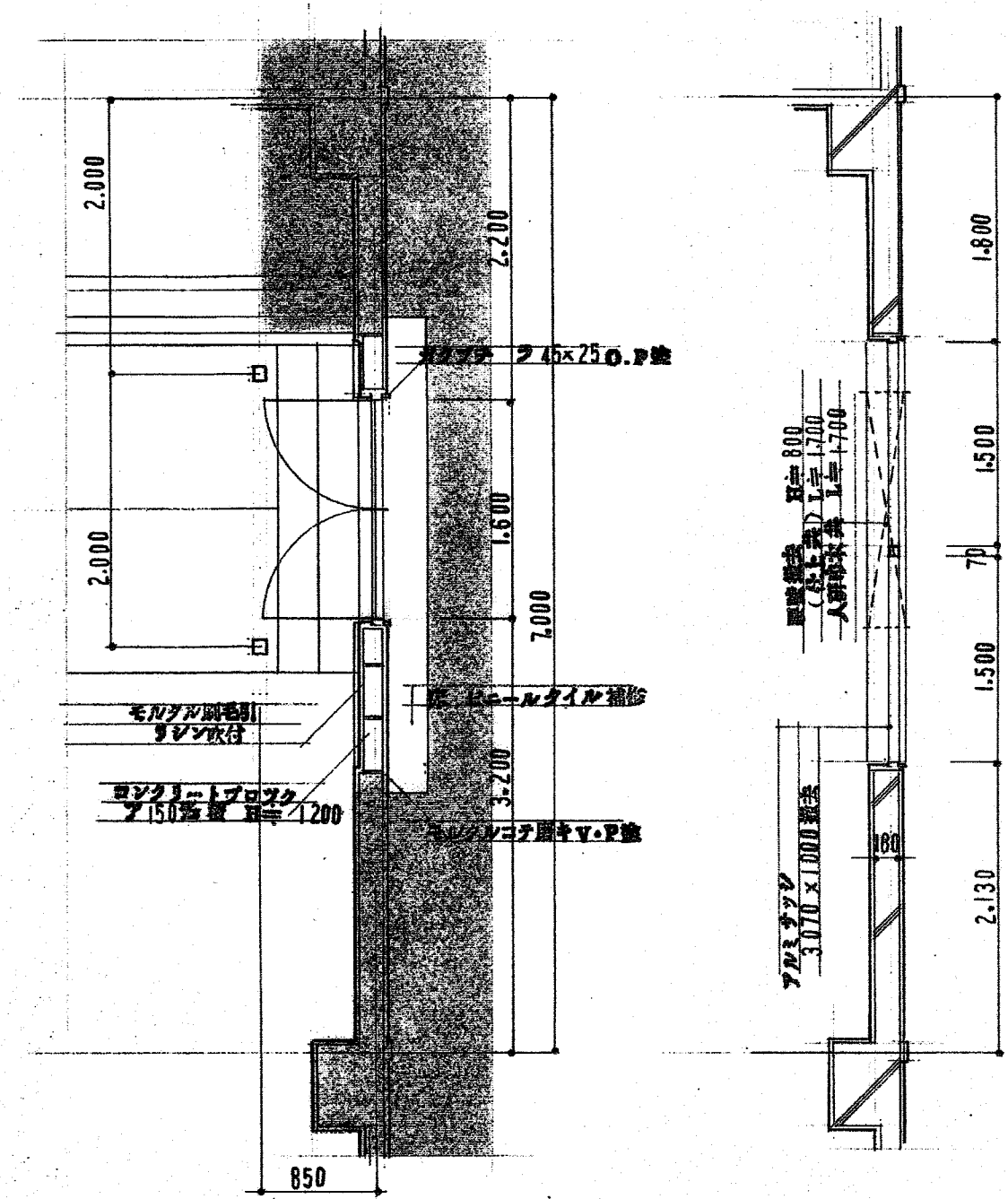
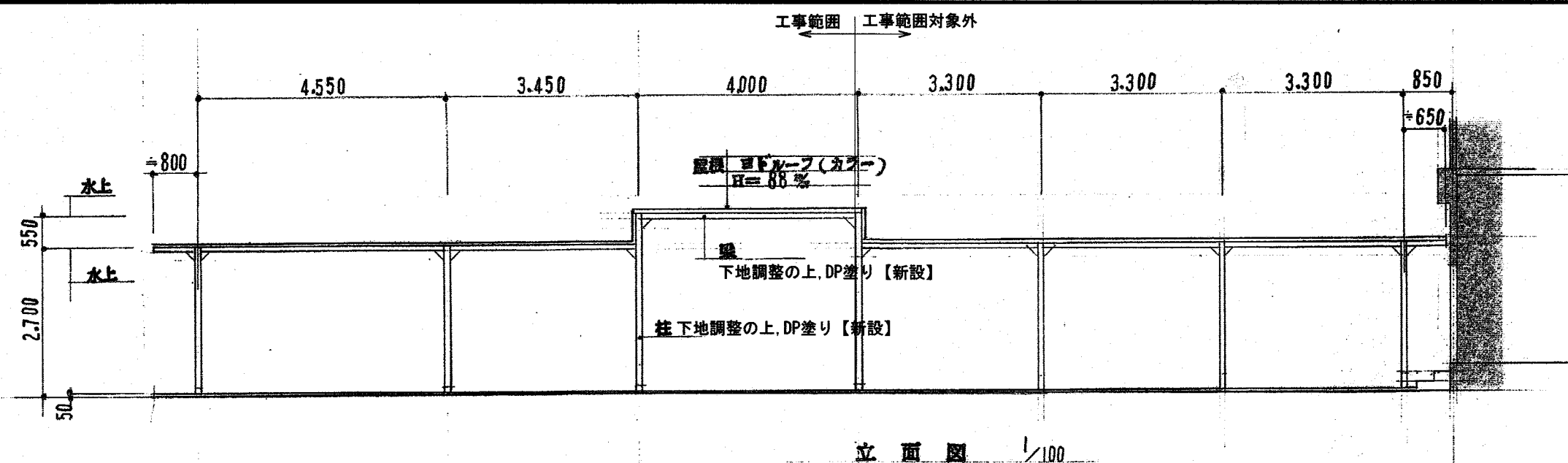
【】無きものは既存のままとする		高知市 都市建設部 公共建築課	工 事 名		保	保 長	課長補佐	課 長	図面番号
鉄骨部全て下地調整の上, DP塗り【新設】			大津小学校南東舎外壁改修工事						A-25
			図 面 名		西側渡り廊下矩計図, 小屋伏図		縮 尺		1 / 20, 100
			作 図		令和 年 月 日				



【】 無きものは既存のままとする。
鉄骨部全て下地調整の上、DP塗り【新設】

高知市 都市建設部 公共建築課

工事名		係	係長	課長補佐	課長	図面番号
大津小学校南東舎外壁改修工事		松本	田中	吉田	松本	A-26
図面名	北側渡り廊下平面図	縮尺	1/100	作図	年 月 日	

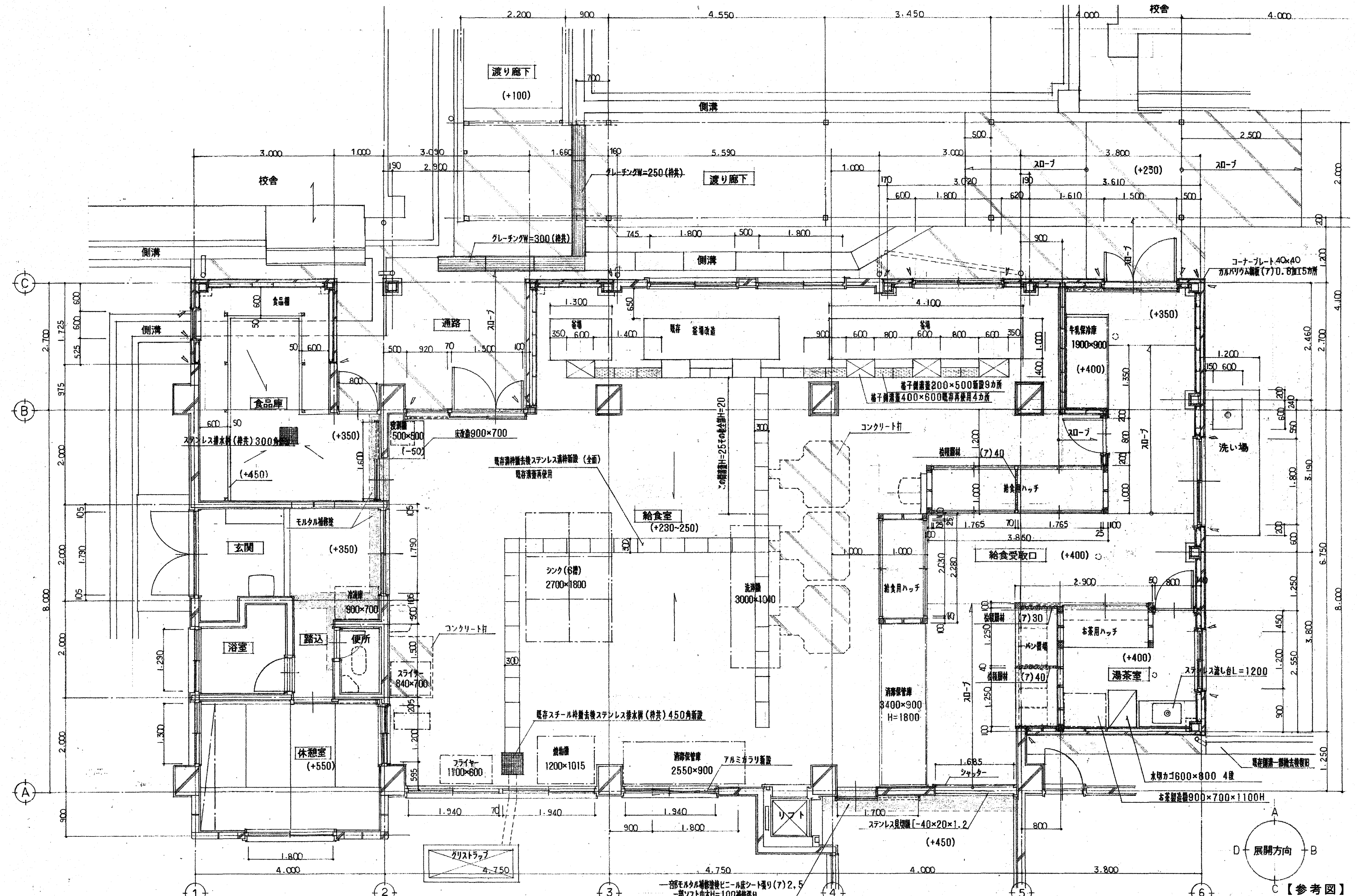


短計図 1/30

立面詳細図 1/50

渡り廊下 在来取合 詳細図 1/50

【】 無きものは既存のままとする。	高知市 都市建設部 公共建築課	工事名 大津小学校南東舎外壁改修工事	係 係長 課長補佐 課長 図面番号 A-27
鉄骨部全て下地調整の上、DP塗り【新設】		図面名 北側渡り廊下断面図 縮尺 1/100	作図 年 月 日



高知市 都市建設部 公共建築課		工事名 大津小学校南東舎外壁改修工事		係 係長 課長補佐 課長 図面番号 A-29
図面名 給食棟平面図【参考図】		縮尺 1/100	作図 年 月 日	